

( 2 - 2 )

『日本語二年級教材 第一課至十課』

北京大学東語系

1960 年



## 第一課 教育を生産労働とむすびつける

### 〔詞 匯〕

一貫(いっかん)して=一貫、向來  
まっとう=正面  
対立する(たいりつする)  
独裁(どくさい) =専制  
あい容(い) れない=不相容 手段(しゅだん)  
あからさまに=公開的 言い出す(いいだす) =提出  
やむなく=不得已  
ごまかし=騙人的話  
言い張る(いいはる)=提出、硬説  
史的唯物論(してきゆいぶつろん) =历史唯物主义  
上部構造(じょうぶこうぞう) =上层建筑  
土台(どだい) =基礎  
適應する(てきおうする)  
集中的(しゅうちゅうてき) な  
表現(ひょうげん)  
イデオロギ=意識形態  
範疇(はんちゅう)  
属(ぞく) する  
奴隷主(どれいしゅ)  
それぞれ=各別, 各自  
共通(きょうつう) する=共同  
蔑視(べっし) =藐視  
一挙(いっきょ) に=一挙, 一下子  
うちやぶる(打破る)=打破  
のこりかす=残余  
一掃する(いっそうする) =肃清  
これに反して=与此相比  
ひきはなす(引離す)=使……分離  
みすてる(見捨てる)=  
政治がすべてをリードする=政治掛帥  
関係者=……工作者, 有关的人  
のこらず=全部。

### 〔課 文〕

中国共産党の教育方針では、一貫して、教育は労働者階級の政治に奉仕するもの、生産労働とむすびつけられるものとなっている。この方針を実現するためには、教育は必ず共産党によって指導されなければならない。この方針はブルジョアジーの教育方針とまっとうから対立している。ブルジョア教育は、ブルジョア政治家の指導をうけるもの、ブルジョア政治つまりブルジョア独裁に奉仕するものであって、プロレタリアート独裁とはあい

容れない。社会主義制度のもとでは、ブルジョアジーも、教育はブルジョア政治家の指導をうけ、プロレタリアート独裁反対の手段にならなければならぬというようなことを直接あからさまに言い出すことができない。そこでかれらは、やむなく「教育は専門家が指導すべきだ」とか「教育のための教育」などといったごまかしを言い張ることによって、教育をプロレタリアート独裁に奉仕させまいとする目的をとげようとしているのである。したがってわれわれの社会主義国では、ブルジョアジー教育方針は、教育のための教育、頭脳労働と肉体労働の分離、教育は専門家の指導をうけるなどといった形であらわれている。

マルクス主義の史的唯物論は、上部構造は経済的土台に適應するものであることをわれわれに教えている。政治制度は上部構造であって、経済の集中的な表現である。教育はイデオロギーの範疇に属するものであり、やはり上部構造であって、政治に奉仕するものである。過去数千年にわたる階級社会は、奴隷主の所有制、地主の所有制、ブルジョアジーの所有制をその経済的土台とするものであった。これらの所有制に適應する政治制度は、それぞれに奴隷主階級の独裁、地主階級の独裁、ブルジョアジーであった。これらの独裁に奉仕する教育は、奴隷主階級の教育であり、地主階級の教育であり、ブルジョアジーの教育であった。そしてこれらの教育のあいだにはそれぞれ区別はあるが、ひとつの共通した特徴がある。それは教育と生産労働と肉体労働の分離はすべての搾取階級に必要なものであり、ブルジョアジーにも（数字判読不能）必要なものである。われわれの社会は、社会主義の所有制を経済的土台としている。社会主義の所有制に適應する政治制度はプロレタリアート独裁に奉仕するものである。したがって、われわれの教育は過去数千年らしい古い傳統を一举にうちやぶって、教育を生産労働とむすびつける方針をとり。頭脳労働と肉体労働のあいだの差別をなくさなければならないのであって、これはまた、過去のすべての搾取制度ののこりかすを一掃し、人類を共産主義社会にみちびくものである。教育を生産労働とむすびつける方針は、労働者階級とすべての勤労人民が必要としている。この方針は人民の希望に合っているのでかならず勝利をおさめるであろう。これに反して、頭脳労働と肉体労働をひきはなす方針は、社会主義の経済的土台に適應せず、人民の要求にあわないので、数千年の傳統はもっていても、おそかれ早かれいつかは人民に見すてられるであろう。政治かすべてをリードするようにし、共産党の指導のもとに全党の團結を固め、團結できるすべてのための教育関係者と團結して、ブルジョアジーの教育方針に反対し、共産党の教育方針実現のためにたたかえば、われわれは我が国の文化革命を実現し、我が国の六億の人民をのこらず、生産もすれば、学習もし、勤労者でもあれば知識人でもある新しい型の人間にかえることができるのである。

## 労働の教育

### (詞匯)

向上（こうじょう）＝提高

もはや＝早已经

源泉（げんせん）

名誉（めいよ）＝荣誉

働かざるものは食うべからず＝不劳动者不得食

明記（めいき）する＝明文規定

ゆえに＝因此

分析 (ぶんせき) する  
親 (おや) = 父母  
価値 (かち) 未来 (みらい)  
富 (とみ) = 财富  
習慣 (しゅうかん) をつける = 养成-----习惯  
なにより (何より) = 比任何事物都-----  
課題 (かだい) = 任务  
みいだす (見出す) = 发现, 感到  
理解 (りかい) する = 了解  
個性 (こせい)  
才能 (さいのう)  
形 (かたち) = 形态, 外形  
いと (厭) う = 厭, 烦  
一足とび (いっそく飛び) に = 一下子就-----  
終 (おわ) りにする = 结束  
ねが (願) う =  
不可能 (ふかのう)  
逃 (に) げる = 逃避  
結果 (けっか) = 果实  
不道德 (ふどうとく)  
逆 (ぎゃく) に = 相反  
ささえあう (支え合う) = 互相支持  
きずきあ (築き上) げる = 建成, 树立起  
怠け者 (なまけもの) = 懒汉  
がまんする = 容忍  
肉親 (にくしん) = 骨肉至亲  
筋肉 (きんにく)  
外面的 (がいめんてき) な = 表面的, 外表的  
さわる (触る) = 用手摸  
成長 (せいちょう) する  
大事 (だいじ) な = 主要的, 要紧的  
要素 (ようそ) = 因素  
精神的 (せいしんてき) な = 精神上的  
切 (きり) はな (離) す = 分开  
調和 (ちょうわ) のとれた = 均衡的, 适当的  
特長 (とくちょう) = 特点, 特征  
認 (みと) める = 看到, 承认  
な (無) くす = 消灭  
レンガ (れんが) = 磚  
手車 (てぐるま) = 手推的车  
はこ (運) ぶ = 搬运  
巨大 (きょだい) な = 庞大的

支配者（しはいしゃ）＝統治者，支配着  
管理（かんり）する  
能力（のうりょく）  
めんみつ（綿密）さ＝細致的注意力  
予測（よそく）する＝预见，预见性  
発明的（はつめいてき）＝创造性的  
臨機应变（りんきおうへん）  
おさ（収）める＝取得  
差別（さべつ）  
大切（たいせつ）な＝重要的。

### （課文）

ソヴェトの正しい教育について、労働的教育でないものは考えられません。労働はつねに、人間の生活を向上させ、それをゆたかにし。文化をつくる基礎となるのです。わが国の労働はもはや搾取の源泉ではなくなり、名誉と光栄の英雄的なものとなりました。わが国は労働者の国であり、わが憲法には

『働かざるものは食うべからず』

と明記されています。ゆえに教育にとっても、労働は、もっとも重要なソヴェトの目的の一つにならねばなりません。

そこで今日は、それをもっとくわしく、家庭での労働の教育の内容を、その意味と意義を分析してみようと思います。

まず第一に、とくに親がおぼえておくべきことは、つぎのことです。みなさんのこどもは、労働社会の一人になるのであって、したがって、この社会での彼の意義、その市民としての彼の価値は、彼が、どれほど社会的労働に参加して、どれほどその労働が準備されているかによるということです。

したがって、労働への準備、すなわち、人間の労働的能力の教育は、未来のよい市民をつくるか、悪い市民を作るかであり、またそれを準備するわけです。しかも、それだけではなくて、その人の未来の生活水準と豊かさをも教育することにもなるわけです。

第二は、どんな労働であろうと、創造的でなければなりません。なぜなら、それはすべて社会的な富と文化を創造するためのものだからです。ですから、創造的労働をする習慣をつけることは教育のなにより大切な課題なのです。

人間がしごとを愛し、それによるこびをみだし、労働の価値と必要を理解し、それが人間の個性と才能を示すおもな形になってこそ、初めて、創造的労働があらわれるのです。労働に対するこのような自覚は、労働の努力にたいするふかい習慣ができていて、しかも、どんなしごともいとわず。またそのしごとに意味をみいだせるようになっていて、はじめてあらわれるものです。

創造的労働は、労働をおそれる人、汗をおそれる人、また労働の努力をおそれる人、一足とびに、はやくこんなんを終わりにして、なにかおもしろいことをしたいとねがう人などには、まったく不可能です。しかもこんな人たちにとっては、労働いがいのことでも、ただそれをやりはじめるまでおもしろいと思っているだけです。

第三には、この労働の努力によって、労働への準備が教育されるだけではなく。友人も準備されます。いつも仕事から逃げようとしている人、他人の働くのをみているだけの人

と。他人の労働の結果を利用している人は、ソヴェト社会では、もっとも不道德な人間です。逆に、協同労働の努力、つまり、お互いに労働によって助けあい、ささえあうことだけが、人間と人間の正しい関係をきずきあげるのです。この正しい関係は、ある人が他人に、おなじことを要求することです。自分のそばにいる怠け者をがまんすることではなくて、人間は集団的労働に参加することによって、はじめて他の人に対する正しい道徳的関係をつくり、すべての勤労者に対する肉親のような愛情と友情をもつことができるのです。

第四に、労働の教育は、ただ筋肉または外面的なもの、つまり、見ることさわること、手や足の運動が教育されるということではありません。もちろん、労働のために、肉体の成長は大きな意義があり、必要な、しかも大事な要素です。しかし人間にとって、労働の重要な利益は、精神的発展と切りはなすことはできません。調和のとれた労働から生まれる精神的発展は、階級のない社会の市民と、階級社会の市民とを区別する。大きな人間的特長とならなければなりません。

みなさん、今まで申し上げた四つのことを、よく考えてください。じぶんたちの生活や友人の生活の中に、みなさんは、労働的教育の大きな意義を、おみとめになるでしょう。親は、わが子の教育のしごとに、この労働の原則をわすれてはなりません。

また、同時に親は、私たちが労働というとき、それが筋肉労働の意味だと思っただけではありません。機械による生産が発達し、生産における人間の筋肉労働は、もうむかしのように、重要でなくなってきました。ソヴェト国家は、苦しい筋肉労働を、完全になくそうとしています。私たちは、家を建てるとき、もうレンガが手車ではこぼれずに、きかいではこぼれ、工場のなかでも。特に革命後にできた工場では、完全に苦しい筋肉労働はなくなったことを知っています。人間は、ますます組織された巨大な機械力の支配者となり、労働はますます肉体的なものから、頭腦的なものが必要となります。すなわち管理する能力、めんみつさ、予測、発明的な、または臨機应变の能力をもたねばならなくなります。親は、このことを、いつもおぼえておくべきです。家庭でも、ただの力仕事の教育でなく、社会主義的労働と、社会主義的成功をおさめる人を教育せねばならないのです。

ですから私たちは、ソヴェト教育において、肉体労働と頭腦労働の間に、なんら基本的な差別をみとめないのです。そのどちらにせよ、たいせつことは、労働の組織と、労働する人です。

### 【句形の説明】

教育を生産労働と結びつける

(一) ……よう (助動詞)

①未来 ②推量 ③意志

①明日の会議にはどう発言しようかと考えています。

②もうすぐ夏休みです、家では私の帰るのを皆が待ってよう。

③ここにはり出されている壁新聞をのこらず見ようと思っているのです。

(二) ……よう (様、名詞)

①日本語科の学生は、読む、書く、聞く、話す、譯すの五つがみなできるようにならなければなりません。

②人民公社では文盲を一掃するようにしたので今、中国で字の讀めない人は、ほとんどないでしょう。

(三) ……もすれば……もし、 ……でもあれば……でもある。

①北京大学の学生は学習もすれば労働もします。ですから共産主義大学の学生でもあれば新しい時代の青年労働社でもあるといえます。

②楊同士は労働もすれば、学習もスポーツもし、どれもみな優秀な成績をおさめています。だから学習模範でもあればスポーツマンでもある新しい型の青年です。

#### 労働の教育

(一) .....は考えられない

①解放前では貧農の息子たちが大学へ入ったり、人民公社の生産隊長になったりすることなど考えられませんでした。

②日本では失業の不安のない労働者というものは考えられません。

(二) .....て、.....して《みようと思う》

①社会主義国の建設についてももう少し研究してみようと思う。

②高橋さんは病気だそうだ、行ってみようと思う。

(三) .....なくなってきた

①北京の交通は発展したので、電車はいらなくなってきた。

②社会主義国では就職、教育、住宅などはもう個人の心配する問題でなくなってきた。

(四) ねばならなくなる

①中国の社会主義建設がこういう速度で発展しているのだから、私たち青年は広い知識とめんみつな研究心をもたなければならなくなります。

②息子や孫たちが社会主義建設に寝食を忘れて働いているのをみれば、母親たちも家庭の生活について考えねばならなくなるでしょう。

(五) ならなければなりません

①貴方がたは将来言学の専門家にならなければなりません。

②日本語の学生たちは、日中両国の重要なかけ橋とならなければならない。

(六) .....でなければならない

①共産党員は、党の統一を守り、党の団結をかため、党にたいして、誠実でなければならない。

②どんな仕事であろうと、真剣にとりくみ、研究的創造的な態度でなければならない。

#### (練習)

##### 造句:

(一) 造句

1. みすてる
2. のこらず
3. それぞれ
4. 言い張る
5. 言い出す
6. 一足とび
7. まったく
8. なにより
9. 習慣をつける
10. 終る(終った)
11. 終りにする

12. 始まる
13. はじめる
14. 切りはなす
15. みとめる
16. めんみつさ
17. おさめる

(二) 次の句型を使って二つずつ作りなさい

1. .....は考えられません
  2. .....してみようと思う
  3. ねばならなくなる
  4. .....にせよ
  5. ことにもなる
  6. でなければならぬ
  7. ならなければなりません
  8. .....なくなってきた
  9. .....よう
  10. .....もすれば.....もする
  11. .....でもあれば.....もある
  12. .....ようとしている  
     .....ようとう考えている  
     .....ようとう思っている
- (どれもよい)

(三) 次の短句を日本語に譯しなさい

1. 今年暑假我們應該貫徹黨的指示，保證充分的休息。
2. 所謂知識，可以分成社會科學學和自然科學兩大類，都是在實踐的基礎上產生的。
3. 我國的經濟還很落後，生產力的水平還很低，所以建設共產主義社會是一個長期而艱巨的任務。
4. 我們學校已進入一個新的歷史時期，所以對我們每個人的要求更高了。
5. 國家需要成千上萬的又紅又專的幹部。
6. 集體主義的思想引導我們向正確的方向前進。
7. 現在我國已經基本上消滅了失業的現象。而這在資本主義社會是不可能想像的事。
8. 在共產主義社會，階級已經死滅，但是剝削階級思想的參與還會存在。
9. 在西藏任命的支援下，我人民解放軍一下子就平定了叛亂。
10. 所有的反動派迟早都要被消滅的。
11. 在科學大躍進的時候，因為我們政治掛了帥，所以在短期內取得了很大的成就。
12. 由於蘇聯一貫的怒力，美國不得不同意召開四大國外長會議。
13. 資產階級的思想是和社會主義經濟基礎不相容的。
14. 中國人民經過一百年來的鬥爭，終於推翻了三大敵人，取得了徹底的解放。
15. 社會主義建設的根本目的是為了提高人民的物質和文化生活。
16. 掃除文盲在舊中國是不可想像的事。
17. 對知識分子來說，改造思想是一個長期的任務。
18. 我們衷心希望日本人民能早日推翻美日反動派的統治獲得解放。

19. 我只是想怎样能使自己学得更好来满足党和人民的要求。  
20. 我们要掌握一门专门知识, 而且不仅如此, 还要具有广泛的知识。

(四) 次の短句を中国語に譯しなさい。

1. いままで仕事が大変忙しかったのであまり勉強しなかった。いま、党は学習の時間をたっぷり保証してくれた。私は一生懸命に勉強しなければならなくなった。
2. 共産黨員というのはけだかい共産主義の思想をもった人でなければならない。
3. 私たちは必ず国家の満足するような立派な翻譯幹部にならなければならない。
4. 彼は会議のとき活発に発言していた。ところがこのごろあまり話さなくなって来た。
5. 私は夏休み家へかえってから、母さんのてつだいをしなければならぬ。

### (閲 読)

労働の教育

詞匯：

手段＝

..... (てもよい) ＝

.....でもよい＝

できばえ＝

.....としたら＝如果说

ホーキ＝

こうせい＝こうしてなさい・こうしろ

ああせい＝ああしなさい ・ああしろ

.....方がよい＝最好的.....

課題＝

.....にすぎない＝不过たし方＝

..... (ば.....ほど) .....＝

.....といけません＝おもちゃ＝

ちらかす＝

.....ぐらい＝至于.....之類的事

.....かぎり＝在范围内

修ぜん＝

道具＝

(.....につれて) ＝

切りはなす＝

以上＝在限度以上

かくだん＝

.....てこまる＝

非常.....

課節する＝

軽くみる＝轻视

.....ようではいけません＝ことはできない

ようなことがあってはなりません

危険＝  
無視する＝  
ふんいき＝  
さまざま＝  
.....とされる＝といわれている  
無経験＝  
判断力＝  
ならない＝  
注意ぶかい＝多加注意  
たちむかう＝  
ただし＝  
つかいすぎる＝  
一目みる＝  
たいくつな＝  
しつける＝  
がまんずよい＝  
不平をいう＝发牢骚  
気にいる＝  
価値＝  
一言＝  
きびしい＝  
.....だけ＝  
ちゃんと＝  
それかといって＝それだからといって＝尽管如此，然而……  
下手だ＝  
.....だからといって＝それだからといって  
はずかしめる＝  
おちつく＝  
やりなおす＝  
つけ加える＝  
とうてい＝  
情報＝  
力におよばない＝力不能及  
罰＝  
かくべつ＝  
.....ようではなくてはなりません＝ようにしなければなりません  
でなければなりません＝一定要  
上でき＝  
実行する＝  
(.....ならば)＝

労働教育には、つぎのことが大切です。子どもには、いろんな労働的な手段で解決しな

ければならぬ問題が必要だということ。この問題は、みじかい期間、つまり一日か二日であつてもよいが、長い期間。つまり、週とか月とかにわたるものでもよい。そのとき大事なことは、子どもが、自分でいろんな方法をえらぶある手程度の自由を与えることです。そして子どもは、その仕事のできばえ(質)について、やはりある程度の責任を感じなければなりません。もしみなさんが、こんなふうに言うとしたら、それはあまりよいことではありません。

『サア、ホーキをもって、部屋を掃いて』

そして、こうせい、ああせいというのはいけません。それよりは、あるきまった期間、きまった部屋を、きちんと掃除する責任をもたせるほうほうがよい。子どもがそれをどうやるかは、こどもにかませるのです。前のようなやり方では、みなさんは子どもに、ただ肉体的労働の課題をだしたにすぎない。あとの方こそが、さいしょから高い、子どものためになる問題のしかたです。したがってこの労働の課題が、ふくざつであればあるほど、また子どもが、自分でやればやるほど、教育的に高いのです。

家庭での、子どもの労働への参加は、小さいときからはじめないといけません。それは、あそびからはじまるのです。たとえば、おもちゃは壊れないように、そして、いつもきまった場所にきちんと、きれいにしておいてあるようにせねばなりません。この仕事は、子どもにちゃんとしておくべきです。

『ここはきれいでなくてははいけません。ちらかさぬように、おもちゃにほこりがついてはいけません』と。

もちろん、掃除のしかたくらいは、やってみせてもよいが、もっとよいのは、子どもがすすんで、もっときれいなフキンでなくてはならないと考へ、それをお母さんに要求するように、さらにまた、もっと衛生的になり、もっときれいなフキンを下さいというようになれば、さらによいことです。また、こわれておもちゃの修ぜんも、子どもにできるかぎりは、まかせねばなりません。必要なら、材料や道具をあたえることです。

子どもが大きくなるにつれて、労働的仕事はだんだんふくざつに、そしてあそびから切りはなされなければなりません。もちろん、子どもにやれる以上の仕事をやらせてはいけません。しかし、親と子の仕事の量が、かくだんにちがわないう程度には、やらせなくてははいけません。家庭で、父や母の仕事の多くてこまるときは、てつだわせるべきです。また、女中のいる家庭では、子どもはその人がなんでもやってくれるのになれて、自分でできることまで彼女にやらせるようになります。親は、いつもよくしらべて、子どもにできることはできるだけ多くやらせるようにしなければなりません。

これからのことで、私たちが考へなければならぬのは、子どもが学校と家庭での課題が多くなると、それをどう調節するかということです。もちろん、学校で与えられる課題は第一です。子どもの学習は、子どもの個人的責任だけではなく、社会的責任です。子どもたちは学習の責任を親に対して負うだけでなく、国家にたいして果たしているのだということを、理解していなくてはなりません。しかしまた、子どもが勉強だけが大事だと思つて、そのほかの労働的な仕事を軽くみるようでははいけません。学校というものは、そんなふうにとくべつなものともみるのは、危険です。そんな考へを持つと、子どもは自分の家庭集団の仕事と生活を、無視するようになります。家庭では、つねに集団的なふんいきがあつて、おたがいに、できるだけ多く助けあうことが、何より大切です。

問題になるのはどんな方法で、子どもに労働的な努力や、その他の努力をさせるようにするか、またはさせねばならぬかです。その方法はさまざまですし、子どもが小さいとき

に、いろんなことをはなしてきかせねばなりません。一般に理想的だとされているのは、まず子どもがじぶんで、仕事の必要なことに気がつき、父や母がいそがしいときには、自分で考え、家庭を助けることです。

時々、子どもは、じぶんの無経験と判断力のたりなさのために、仕事や、何が必要かが、みつけれないことがあります。そんなとき親は、注意深く、この問題にたちむかう子どもの態度と、その解決の方法を見つけ、見つけてやらねばなりません。時々、それにいちばん役立つことは、仕事の技術的な面白さを利用することです。ただし、これは、つかいすぎてはいけません。子どもは、とくべつおもしろくないしごとか、一目見て、たいくつそうな仕事でもやれるようにしつけなくてはなりません。一般にいつて、子どもは、労働の努力のおもしろさでしごとをするのではなく、その仕事の必要さ、その仕事の意味を考えてするように。教育せねばなりません。親は子どものがまらずよき、不平をいわぬこと、気にいらぬ仕事でもやれるような能力を高めてやらねばなりません。そののち、子どもが大きくなるにつれて、もっといやなしごとでも、そのしごとの社会的価値を認めたならば、よろこびを持ってやれるように教育せねばなりません。

ここで一言、労働の『質』について申し上げます。労働の『質』は、いつでも、決定的な意義をもつものです。「質の高さ」は、常に、もっとも厳しく要求されねばならぬものです。もちろん子どもは、まだ経験をもたず、すべての点で、理想的にしごとをするだけの、能力をもっていません。だからここでは、子どもの力にちゃんとあった質的な高さが要求されます。

それかといつて、しごとが下手だからといつて、子どもをはずかしめてはいけません。しずかに、おちついた態度で、『お前のしごとはよくできない。もう一度やり直すか、付け加えるかしなければならぬ』と、いいきかせるのです。そのとき、親が自分でやってはいけません。ただ、ごく例外として、こどもにはどうていできないといわわっているときだけ、子どもの力におよばない部分はやってもよいのです。

つぎに、しごとにたいして、私たちは、ぜつたいに報酬または罰をやらぬように、おすすめします。与えなしごととそれをりつぱにやることが、子どもの心をまんぞくさせ、よろこばせるようではなくてはなりません。しごとがよくできたといわれるが、子どもにとって、労働にたいするなによりのほうびでなければなりません。「かくべつ上できだ」、「うまいやり方だとほめることが、もっともよいほうびです。しかし、これもまた、つかいすぎてはいけません。とくに、友人または知りあいの前で、しごとをはめてはなりません。

また、まずいしごとや、ときにはまったくやらなかつた場合にも、子どもを罰してはなりません。そのときでも、なにより大切なことは、そのしごとが、かならず実行されなければならぬということです。そのために、どうするかは、親の正しい、おちついたやり方ひとつにあるわけです。

労働鍛錬から帰って

詞匯：

お忙しいところ（表時間）＝在您忙的时候

体験（たいけん）

.....なり .....なり（表）＝とか .....とか

どんなことからでも＝从那谈起都好

結構（けっこう）＝

どなたからでもどうぞ＝谁先谈都好  
来たわけですから＝  
座りつきり（すわりつきり）＝老坐着  
二ユースとり＝  
バタバタする＝  
結局（けっきょく）＝  
急行列車で花見をするようなもんです（ ..... ようなものです）＝走马看花  
全然（ぜんぜん）＝  
.....だって（＝でも）＝  
ないよりましです＝比没有强  
めったにないんだ＝不多.....， 不常.....  
申し込む（もおしこむ）＝  
許可（きょか）＝  
幸いなことに＝  
多いはず＝  
いったとおりに＝如.....所说  
じっくり＝  
腰をおちつける＝  
飛び上るほど喜ぶ＝  
披瀝（ひれき）する＝  
洞簫を横に吹く（どうしょうをよこにふく）＝  
盗（と）る＝  
とりあつかう（取り扱う）＝  
.....つもりだ＝以为.....  
いざ .....なってみたら .....＝一旦.....  
撮影（さつえい）＝  
演技（えんぎ）＝  
空（から）まわり＝  
だもんですから（＝だものですから）＝因为是如此  
どうしても .....もらいたい＝一定想.....  
しつこい（形）＝  
やっとな（副）＝  
盛大（せうだい）（形・名）＝  
歓送（かんそう）＝  
ずらっと・ずらり（副）＝  
廊下（ろうか）＝  
造花（ぞうか）＝  
抱（だ）きあう＝  
激励（げきれい）＝  
興奮（こうふん）がさめず（さめる→さめない）＝  
ボーツとしてしまう＝出神， 呆在那儿  
通化（つうか）＝

ぎっしり (副) =  
黒山 (くろやま) =  
.....かしら (.....かしらないてき省略) =  
数えきれない =  
夜中 (よなか) =  
つめかける =  
霜 (しも) =  
爆竹 (ばくちく) =  
紙吹雪 (かみふぶき) =  
どっか → どこかへ =  
ふっとんじやった → ふきとんでしまった  
すごく (副) =  
跳 (は) ねる =  
.....いるかと思うと..... = 剛以为是.....就.....  
嬉し泣き (うれ・し・な・き) =  
いたれり、つくせり = 无微不至  
塗りがえる =  
がんがん燃える =  
湯沸し (ゆわかし) の人 =  
くむ (組む) =  
もてなし =  
面喰う =  
.....程です (面喰った程度です) = 表示程度  
南方育ち (なんぼうそだち) = 生长在南方  
スキー場 (じょう) =  
大がかり (おおがかり) =  
演出家 (えんしゅつか) =  
.....とか.....といった =  
俳優 (はいゆう) =  
編集者 (へんしゅうしゃ) =  
文物関係 (ぶんぶつかんけい) =  
.....といえば =  
「四体勤めず、五穀分かつたず」 (したいつとめず、ごこくわかたず) = 穀物 (こくもつ) の  
見分けもつかぬ = 五谷不分。  
人種 (じんしゅ) =  
相場 (そうば) がきまっている =  
笑いごと =  
教え役 (おしえやく) = 教员  
手をとるようにして = 了如指掌  
ころばずにすむ = 不会跌交  
(.....ようなことはない) = 不会.....  
膝 (ひざ) =

はらう（枝をはらう）＝  
真白（まっしろ）＝  
なっちゃった → なってしまった＝  
.....のような気持ちになっちゃった＝  
ポンポン＝拟声ほうり出す＝  
たちまち＝  
ひきもどす＝  
辛抱づよい（しんぼうづよい）＝  
助手（じょしゅ）＝  
（.....ように）＝  
どんなことがあっても＝不管怎样.....  
へこたれる＝  
くいしばる＝  
まったくそのとおり＝  
足（あし）は棒（ぼう）のようになる＝累得腿发直  
はれあがる＝  
まめだらけ＝全是水泡  
薪（まき）とり＝  
はずむ＝  
共通（きょうつう）＝  
話題（わだい）＝  
みつかる＝  
仕事（しごと）を通（通）じて人柄（ひとがら）をみる＝  
腕（うで）＝ ほそ（細）い＝  
なぞ → など＝  
大したもんだ → 大したものだ＝  
えらいもんじゃなあ → えらいものだなあ＝了不起  
あんたたち → あなたたち＝  
ようやりなさる（うまくやる）＝  
一粒（ひとつぶ）＝  
（どれだけの苦勞がいるか）＝需要多少辛苦  
踏んで → 踏（ふ）む＝  
.....にも.....にも＝  
無駄（むだ）＝  
無駄には燃やすまいぜ＝不能随便烧  
薪にや → 薪には＝  
しみてる → しみている → 染む＝  
.....になる＝  
田圃（たんぼ）＝  
凍てつく（いてつく）＝  
冷（つめ）たい＝  
しびれる＝

したたる＝

「誰カ知ル盤中の餐、粒粒皆辛苦」＝谁知盘中餐，粒粒皆辛苦  
(.....たびに)＝

とりあげる＝

.....としたら＝如果说.....，要是.....

だろう➔てね＝だろうとって

恥ず 恥じる (はじる)＝

心の底＝

[ 憎む (にくむ) ] ＝  
[ 憎まずにはいられない ]

気力 (きりょく)＝

畦 (あぜ) つくる＝

薄氷 (うすこおり)＝

はだし＝

(おけにはいかない)＝不能.....

.....するわけにはいかないでしょう＝

とまどう＝

みると＝

いっちゃう➔いってしまう＝

とびこむ＝

別(べつ)に＝

感じなくなっちゃった  
かんじなくなってしまった

タイプ＝

向 (む) かう＝

目にうつる＝

いくら.....したところで＝尽管.....也.....

三面六臂 (さんめんろっぴ)＝

早バツ (かんばつ)＝

対策 (たいさく)＝

なおさらそうです＝更是如此

ああ＝呀

どんなに.....か＝

しみじみ＝

根っこ (ねっこ)＝

苦楽(くらく)＝

とも＝

.....ような気がした＝

日照り (ひでり)＝

しばむ＝

じっとしてられない＝呆不住

井戸(いど)＝

掘る（ほる）＝  
雨雲（あめくも）＝  
かけら＝  
みあげる＝  
かshれない＝  
オッヤン＝  
太陽様々（たいようさまさま）＝  
逆（ぎゃく）＝  
かけよる＝  
まるで……でみたいに＝  
生まれてこの方（かた）＝生下以后  
    眺（なが）める＝  
あたる＝  
バラバラ＝拟声  
音をたてる＝发声  
……とたん＝突然，……瞬  
グッと＝一气  
胸がこみあげてきた＝  
ウンコ＝  
大便有難い＝  
こくもつ＝  
    肥（こえ）＝  
一担（いったん）＝  
さめる＝  
肥気違（こえきちが）い＝肥料迷  
クタクタ＝疲倦の様子  
ピンピン＝拟貌，活蹦蹦跳  
平気＝  
寝起き（ねおき）＝  
朝昼晩（あさひるばん）＝  
素朴（そぼく）＝  
誠実（せいじつ）＝  
着実（ちゃくじつ）＝  
時間の都合（つごう）＝时间的关系  
打切（うちき）る＝  
……ことにしたい＝  
ご健闘（ごけんとう）＝  
いいのり → いのり＝

#### 文 章：

本誌：今日はお忙しいところをどうも有難うございました。農村での労働鍛錬の体験なり感想なりどんなことからでも結構ですから、ひとつお願いします。どなたからでもどう

ぞ。

于友：じゃあ、わたしからはじめましょうか。私は小ブル階級の出身で、これまでほとんど都市でくらしてきましたし、労働者や農民の人たちと接触する機会もなくすごしてきたわけです。仕事は新聞のほうですけれども、デスクの前に座りっきりの仕事がおおくなって、どうもニュース映画カメラマンの郝さんたちのようにしょっちゅう工場や農村に出かける機会がないもんだから……。

郝玉生：いやあ、そういっても、ぼくらがこれまで工場や農村へ出かけていったのは、ニュースとりの仕事でゆくんでね、いつもバタバタしてて、結局急行列車で花見をするようなもんですよ。

于友：急行列車の花見だって、全然ないよりましですよ。わたしたちにはそういう機会だってめったにないんだから。わたしたちの新聞は労働者や農民や兵士のための新聞です。ところがその新聞の仕事をしているわたし自身が、労働者や農民や兵士のことを知らないんじゃない、こりゃ問題ですよ。ですから、幹部が農村や工場に入って働くという政策が発表されたときには、嬉しかったな。わたしたちのところでは、年寄りや病人などをのぞいて、95%以上の方が申し込んだのですが、許可されたのはもちろんそのなかの一部の人だけ、それだけには許可されたものは大喜びですよ。わたしも幸いなことにその一人に選ばれたわけです。

郝玉生：ぼくはニュース映画のカメラマンなんて、さつきのお話のように仕事の性質からいえば、いちばん労働者、農民、兵士に近づく機会が多いはずなんです。ところが、今までは、さっきもいたとおりに、じっくり腰をおちつけて勉強するひまがなかった。だから、幹部が工場農村へ行って働くという党の政策が出たのをみて、ぼくは飛び上るほど喜んだですよ。さっそく「大字報」をかいて決心を披瀝し、ぜひいかせてくれといったのんだ。

王雲霞：各地で幹部の労働鍛錬がはじまった頃、わたしはちょうど上海で「洞簫を横に吹く」を撮ってました。こらは、あの、農民生活をとりあつかった映画で、わたし、小さい時に農村でくらしただけのことなので。農民のことならわかっているつもりだったんですけど、いざ撮影ってことになってみたら、わたしの役の村娘をいつたいどんなにやったらいいのかさっぱり見当がつかなくなって、演技が空まわりしちゃうんです。だもんですから、どうしても農村へいかせてもらいたいと何度も撮影所のほうにお願いして、しつこいほど頼んで、やっと許可してもらいました。ですから許可をもったときは、もう嬉しくて嬉しくて。

本誌：出発前の模様やむこうへつかれた時の模様は、どんなだったですか。

張緒衍：わたしたちは、社のほうからとても盛大な歓送をしてもらいました。農村へ行く同志の名前は大きな赤い紙にずらっと書かれて廊下に張り出される。歓送大会では大きな赤い造花を胸につけてもらう。あんなに大きな造花を胸につけてもらったのは生まれたはじめてでした。出発の時には、夜でしたけれども、文化部の部長、各機関の責任者、それから友人たちがみんな駅まで見送りに来て、握手をする、抱きあう、激励の言葉をおくってくれる。わたしなんか汽車がプラットホームを出てからも、しばらくは興奮がさめずボーッとしましたよ。

王雲霞：こちらを出る時もそうでしたけど、通化へ着いた時はまたすごい歓送だったわね。あの時の感動は、ほんとにいつまでも忘れられない。通化駅についたのは、ちょうど朝の五時、まだ暗いのに、駅はもうぎっしり黒山のような人で、それがみんなわたしたちを迎

えに来て下さった村の人たちなんです。何人ぐらいたったのかしら、もう本当に数え切れないくらい……。

許樹我：何万人という人だったそうよ。それが、みんな夜中の三時頃からもう駅へつめかけて……。

王雲霞：そうなのよ。なかには遠い村からわざわざ出迎えに来た人もあって、お爺さんのヒゲやお婆さんの髪の毛が霜でまっ白になってたわね。爆竹がにぎやかに鳴って、赤や青の紙吹雪がわたしたちの頭の上から、雪のように降ってくる。県委員会の書記や県人民委員会、郷人民委員会の人たちがわたしたちみんなとかたい握手をしてみられる。東北は寒い所だと聞いてたし、それにあの晩は零下三十二度だったそうだけど、寒さなんかどっかへふっ飛ばしちゃった。すごく興奮して村の人と抱きあって、とんだり跳ねたりしてる人がいるかとおもうと、嬉し泣きに泣いてるもある人もあったわね。

張緒衍：県の指導者の人たちからいたれりつくせりの世話をしてもらったですね。わたしたちが着いた時には、宿泊所の壁もすっかり塗りかえてあったし、ストーブはがらがら燃えている。そのうえ寒いから熱いお茶でもと、ちゃんと湯沸しの火までつけて。それから県政府の方でさっそく参観のスケジュールまでくむという大変なもてなしで、ちょっと面喰ったほどです。わたしは南方育ちですが、あの時生まれてはじめてスキー場を見せてもらって、それから、あのすごく大がかりな秧歌誦、あんなのは生まれてはじめてでしたね。村の人たちがあんまり楽しそうに踊っているの、私もついいっしょになって踊りましたがね。

本誌：それではこのへんで労働の方の話をしていただきますでしょうかね。

于友：通化へ行ったひとたちは演出家だとか、俳優、カメラマン、編集者、記者、翻譯者、文物関係の人といった、みんな肉体労働をしたことのない文化人ばかりです。文化人といえど昔から「四体勤めず、五穀分たず」という言葉もあるくらいで、体を動かすことのきらいな、穀物の見分けもつかぬ人種と相場がきまっていた。

陳蓮玉：クワを見たこともなくて、こりゃいったいなんだろうなんて、そんな人もあったわね(笑)。

于友：いや、笑いごとじゃないんだ、だから、わたしたちが村につくと、組合の方じゃさっそく各人に一人ずつ教え役をつけてくれたですよ。わたしたちは先生とよんでいましたが、つまり組合の人たちなんで、その先生が手をとるようにして教えてくれた。こうしてゆけば山を登るときころはずにすむとか、カマを使うときにはこうすれば手を切るようなことはないとかとね……。

陳蓮玉：最初の仕事は山に薪をとりに行く仕事でした。男の人たちが膝までうずまるような雪の中に立って木の枝を払う、それを女のわたしたちがふもとに運んでゆくんです。わたし、はじめて村の人たちが真白な雪の中をソリを走らせてゆくのを見たときには、すばらしい映画をみてるような気持ちになっちゃった。だけどいざ自分でやってみると、ボンボン雪の中にほうり出され、たちまち夢の世界から現実にひきもどされちゃった(笑)。村の人たちはそうしたわたしたちをととても辛抱よく教えてくれました。前の方には先生が乗って手綱さばきを教えてくれるし、後には助手の娘さんが乗って、わたしがソリから落ちこちないように支えてくれたりして。

王雲霞：はじめのうちは、ちょっと仕事をするともう疲れてしまうのね。だけど村の人たちは毎日こうして働いているんだし、いっしょにきた人たちもみんな元気にやってる。それをおもうとどんなことがあってもへこたれてはならないと、歯をくいしばって頑張りま

した。

張緒衍：まったくそのとおり、最初のうちは一日の仕事をすませてかえると、もう腰は痛むし、足は棒のようになっている。ときには足がはれあがり、手もまめだらけときている。それでも、まあ、何週間かすると、だいたい慣れてきますね。

許樹我：慣れてくると、仕事が面白くなるのね。

本誌：そういう仕事のなかで、いろいろお感じになったことがあると思いますが……。

張緒衍：仕事のなかで一番感じたのは、そういう労働に参加してこそ働く人たちと一体になれるっていうことですね。たとえば、はじめて仕事についた日、山に薪とりに行ったわけですが、行きには村の人たちともあまり話はずまなかった。けれど、帰りには薪とりのことから野良仕事のことなど、いろいろ話がはずむのです。つまり、仕事のなかからはじめて働く人たちとの共通の話題が見つかるわけですね。

王雲霞：村の人たちは、仕事を通じて人柄をみるのね。最初、村の人たちは、わたしたちが白い手をしていて、腕もほそいので、これじゃとても仕事なぞやれまい、と思ったそうです。けれどもそのうちわたしたちがどんどん仕事をやってゆきだすと、こんどはなかなか大したもんだってほめてくれるの。お婆さんたちはわたしたちにあうと言うんです。「えらいもんじゃなあ、あんたたち、ほんとうにようやりなさる」って。

于友：自分ではたらいってみて、はじめて労働の偉大さっていいですかね。一粒の米にもどれだけの苦労があるかということがよくわかりますね。自分で雪を踏んで山に薪とりについてからは、御飯をたくにも、部屋をあたためるにも「むだには燃やせないぜ、薪にやおれたちの汗がしみてるんだからな」というようになりました。秋の取り入れになると、夜中の三時から冷たい風のなかを田圃に出かける。霜で凍てついた稲は氷のように冷たくて、手がしびれる。昔学校で「誰カ知ル盤中ノ餐、粒々皆辛苦」という詩をならったけど、こんどやっと「始メテ知ル盤中ノ餐、粒々皆辛苦」というわけです。

張緒衍：そうですね。力いっぱい働いて、汗が土にしたたって、それが土の中にしみてゆくのをみるたびに、わたしは思いましたよ、もし自分がこんなに苦労してそだてたものを誰かにとりあげられるとしたら、どんな気持ちができるだろうってね。もともと私の家が地主です。解放後、わたしもどいに搾取階級であることを知るようになってきましたが、しかし今度農村へ行って、自分で働いてみると、こころの底から搾取階級というものを憎まずにはいられない。

王雲霞：労働をすると、気力の鍛錬になるわね。はじめて田において畦づくりをした時、田圃には薄氷がはっていて、その中にハダシではっていかなくちゃならない。男の人たちはお酒を飲んで体をあたためてからはいったけど、わたしたちはそんなことするわけにゆかないでしょう。だから田圃のそばにたってしばらくとまどっていたんけど、みるとほかの人はどんどん田圃の中へ入っていっちゃう。それでやっと決心して、わたしもとびこんだけど、働き始めたら、別に寒いなんて感じなくなっちゃった。こんなところにも鍛錬があったと思うんです。

張緒衍：それから労働してみると、集団の力の大きなことがよくわかりますね。私のような翻譯の仕事をしているものは、一日タイプに向いっきりで、「単独生産」ですからね(笑)。自分一人の力しか目にうつらない。ところが、田圃ではたらくとなると。田圃は広い、いくら三面六臂のはたらきをしたところで、とても一人じゃやれない。早バツ対策などなおさらそうですね。みんなの力でやればこそああいうこともできるのです。まあ、そんなことから、わたしは個人の力がどんなに小さく、集団の力がどんなに大きいかということ

しみじみ感じさせられましたね。

郝玉生：労働をすると、確かに考え方や気持ちが根っこから変わりますね。大衆と苦楽を共にするっていうけど、ぼくは今度農村へ行って働いて、はじめてその本当の意味がわかったような気がした。去年はひどい日照りで、田には地割れができるし、トウモロコシの葉は黄色くしぼんでしまうし、そうなるともうこっちも心配で心配でじっとしてられない。毎日毎晩、村の人といっしょに井戸を掘り、水汲みをし、畑に水をやった。一日何度雨雲のかけらでも見えないものかと、空をみあげたかしのれない。ぼくはカメラマンなんで、よくいったもんです。ぼくらの仕事は太陽様々で、雨など降られたらオジヤンだとね。ところが、村の人たちといっしょに窓にかけよって、まるで生まれてこの方雨のふるのをみたことがない人間みたいに、すっかり興奮して雨のふるのを眺めたもんです。雨がトウモロコシの葉にあたって、バラバラ音をたてる、その音を聞いたとたんに胸がグッとこみあげてきた。

于友：雨ばかりじゃなく、ウンコだって有難くなってきたものね。こくもつ一斤に肥一担とって、肥料がなければこくもつはとれない。いっしょにいった人のなかに生産隊長になった人がいますが、彼は追肥の任務完成のために寝てもさめてもそのことばかり考えているので、村の人たちからとうとう「肥気違い」というアダ名までつけられちゃってね。  
(笑)

陳蓮玉：考え方も変わるけど、体も健康になったわ。以前わたし、体が弱くて、二時間も踊っていると疲れてクタクタになったけど、今は丈夫になって、ピンピンしてるわ。朝から晩まで踊っても平気よ。

王雲霞：わたしもよ。農村へ行くまでは、体重が四十キロばかりしかなかったけど、むこうへ行ってまもなく四十五キロ以上になっちゃった。御飯もうんとたべられるようになったわ。

本誌：食べる話で思い出したが、皆さんむこうでは村の人たちと食事も、寝起も、仕事も一緒にされたわけですね。

于友：そうですね。この食と住と労働を共にするというこの「三共」が実にいい方法です。朝昼夜いっしょにくらしていると、いつでもどこでも農民たちの勤勉さ、素朴さ、誠実さ、着実さといったものを学べますからね・・・・・・・・。

本誌：まだいろいろ話があることと思いますが、時間の都合で、今日はこのへんで打ち切ることにしたいと思います。お忙しいところを大変どうも有難うございました。では、みなさんの御健闘をおいのりして、この座談会を終わることにしたいと思います。

（詞匯）

- 廃止（はいし）する＝作廢，取消。  
スマートな＝漂亮的，美观的。  
トロリーバス＝无轨电车  
乗客（じょうきやく）  
当時（といじ）＝……的时候。  
おんぼろ＝破破烂烂的。  
思いがけない＝想不到的，意外的  
電車公司（でんしゃこんす）。  
項世榮（こうせいえい）。  
経歴（けいれき）。  
前門外（ぜんもんがい）。  
刷子市界限（・・・かいわい）＝……一带。  
实直（じっちよく）な＝老实，诚实。  
名がとおっている＝出名，为人所知。  
項文采（こうぶんさい）。  
人力車（じんりきしゃ）。  
やしなう（養う）＝养活。  
空っ腹（すきっぱら）をかかえる＝空着肚子。  
飢え（うえ）＝饥饿。  
足がなえる＝腿软  
目がかすむ＝眼花。  
どうにか（副）＝勉强，总算是。  
大いそぎ（おおいそぎ）＝急忙。  
昼（ひる）すぎ＝过年。  
トウモロコシ＝苞米。  
せんべい（煎餅）。  
すする（啜る）＝喝（粥）。  
すます（済ます）＝完事。  
一食（いっしょく）＝一顿饭  
かせぎ（稼ぎ）＝做工，干活。  
せいぜい（精々）＝顶多。  
六十銭どまり＝最多六毛钱，六毛钱到头了。  
話にならない＝不像话，不值一提  
ふとん（蒲団）＝被褥。  
おまけに（副）＝加上。  
衣類（いるい）＝衣服。  
満足に（まんぞくに）（副）・・・ない＝没有太多。  
ちじ（縮）こまる＝蜷。  
燃料（ねんりょう）。

石炭（せきたん）＝煤。  
バラ買い（ばらがい）＝零碎的买。  
善良（ぜんりょう）な。  
のぞみを子供にかける（望みをこどもに掛ける）＝把希望寄托在孩子身上。  
唯一（ゆいいつ）。  
なぐさめ（慰め）＝安慰，慰藉。  
ささやかな＝微笑的。  
無残に（むざんに）＝可怜地，可悲地。  
打ちこわす（うち毀す）＝毁掉，打坏。  
末期（まつき）。  
しだいに＝逐渐。  
痩せ細る（やせほそる）＝瘦下去。  
仕方がない（しかたない）＝不得已。  
同業（どうぎょう）。  
若者（わかもの）＝年轻人。  
嫁ぐ（とつぐ）＝嫁给。  
貧乏ぐらし（びんぼう暮らし）＝过穷日子。  
気に染まぬ（きにそまぬ）＝不合心意的。  
縁組み（えんぐみ）＝结婚，亲事。  
あっけない＝不知怎么一下子就……。  
みすみす＝眼睁睁地。  
見殺し（みごろし）＝见死不救。  
重なる心痛（かさなるしんつう）＝接二连三的心痛。  
栄養失調（えいようしちょう）。  
心を鬼にする（こころをおににする）＝下狠心。  
養女（ようじょ）。  
養家先（ようかさき）＝送做养女的那家。  
いよいよのとき＝到了临头。  
決心がにぶる（けっしんが鈍る）＝下不了决心。  
膝元（ひざもと）＝膝前身边。  
世華（せいか）。  
・・・につく＝跟着。  
物売り（ものうり）＝小贩，小买卖。  
下働き（したはたらき）＝做杂活，打杂。  
日の目を見せる（ひのめをみせる）＝使他能见天日，使他能有出头之日  
思いきって（副）＝下决心。  
塾に入れる（じゅくにいれる）＝送到私塾去。  
たちまち＝马上，立刻。  
授業料（じゅぎょうりょう）＝学费。  
つまる（詰まる）＝行不通。  
塾通い（じゅくかよい）＝上私塾。  
露天商（ろてんしょう）＝摆摊。

くさりかける（腐り掛ける）＝开始腐烂的。  
あきなう＝买卖。  
他家（たけ）＝被人家。  
雑用（ぞつよう）＝另治。  
ひもじい（飢じい）。  
まだしも＝还算是好的。  
巡查（じゅんさ）＝警察。  
しょっちゅう（始終）。  
ける（蹴る）＝踢。  
なぐる（撲る）＝揍。  
酷い目に合わす（ひどいめにあわす）＝虐待。  
売物（ものうり）＝卖的东西。  
暮らしをたてる（くらしを立てる）＝维持生活。  
かせぎ手（稼ぎて）＝干活的好手。  
あだな（渾名）＝外号。  
あらまし（副）＝大概。  
根かぎり（こん限り）＝拿出全副的力量。  
おびやかされどうし（脅かされ通し）＝始终为……所威胁。  
相変わらず（あいかわらず）＝照旧。  
夜学（やがく）。  
こぎつける（漕ぎつける）＝勉强达到……地步。  
採用（さいよう）する。  
あけくれ（明け暮れ）＝朝朝暮暮。  
ねがってやまない（願って止まない）＝盼望得不得了。  
定職（ていしょく）につく（就く）＝有了固定职业。  
定収入（ていしゅうにゅう）＝固定的收入。  
なめつくす（嗜め尽くす）。  
ひとしお（一入）＝更加。  
愛着（あいちゃく）＝爱。  
きまって＝  
業務優良者（ぎょうむゆうりょうしゃ）。  
奨励金（しょうれいきん）。  
遅刻（ちこく）＝迟到。  
早退け（はやびけ）＝早退。  
あやうく（副）＝几乎很危险地。  
桂英（けいえい）。  
識字班（しきじはん）。  
あがる＝上升。  
配電工（はいでんこう）。  
奥さん（おくさん）＝妻子，太太。  
陳光英（ちんこうえい）。  
あくせくする（齷齪する）＝操心担忧。

家事（かじ）。 孫（まご）。  
お守り（おもり）＝看孩子。  
安楽（あんらく）。  
余生（よせい）。  
さしひく（差引く）＝除掉，減去。  
・・・前後（・・・ぜんご）＝……左右。  
被服費（ひふくひ）。  
雑費（ざつび）。  
あてる（当てる）＝做……用  
つぎつぎに＝一个接一个地。  
一人前（いちにんまえ）＝能够独立工作的，够格的。  
労働保険（ろうどうほけん）。  
各種（かくしゅ）。  
福祉事業（ふくしじぎょう）。  
適用（てきよう）。  
診察（しんさつ）。  
散髪（さんぱつ）＝理发。  
入浴（にゅうよく）。  
無料（むりょう）＝免费。  
直系（ちよっけい）。  
親属（しんぞく）。  
条例（じょうれい）。  
規定（きてい）。  
医薬費（いやくひ）。  
半額負担（はんがくふたん）。  
蒸しトウモロコシ（むしトウモロコシ）＝蒸苞米。  
ねだる＝（孩子）磨人要东西。  
ギョウザ＝餃子。  
腹鼓をうつ（はらつずみを打つ）＝吃得饱饱的。  
まるまる（副）＝肥胖的。  
ふとる（太る）＝肥。  
恵まれる（めぐまれる）＝被授予。  
初孫（ういまご）＝第一个孙子。  
宝泉（ほうせん）。  
いいお時世（いい御じせい）＝好时候，幸福的时代。  
口ぐせ（くち癖）＝口头语，不断讲起。

（1頁落丁）

まめ縁組みだったためか、まもなく病気になり、わずか一年あまりであっけなく死んでしまいました。つづいて世栄さんの第二人が病気にかかりましたが、医者にかけるお金もないところから、みすみす見殺しにするほかありませんでした。かさなる心痛に世栄さんの

母親は、それからの何年間かは頭が少しおかしくなっていました。世栄さんの妹は五つ六つの頃栄養失調のためか、来る日も来る日も眠ってばかりいました。両親は心を鬼にして養女にやることにし、養家先まできめました。いよいよの時になって両親の決心がにぶり「どうせ死ぬのならいっしょに死のう」と膝元にのこしました。もう一人の弟世華さんは七つの時から父親や兄について物売りをしたり、下働きに使われたりして働きました。

父親は、自分の一生はどうせもうだつはあがらぬ・だが、息子だけはなんとしてでも日の目を見せてやりたいと考えました。そこで世栄さんが十一になったとき、思いきって塾にいれました。けれどたちまち授業料につまって止め、止めては入り、入っては止めしながら何とか四年私塾通いをつづけました。そのあと世栄さんは小さな露店商をはじめてくさりかけた果物をあきなったり、他家の雑用を手つだったりしました。当時ひもじい思いをするのはまだしものことでした。国民党の巡査はしょっちゅう世栄さんをけったりなぐったりひどいめにあわせておきながら、売物の果物のいちばんよいのを黙って持ってゆきます。近所の人たちはみんな世栄さんに同情し、暮らしをたてるために一生懸命働くこの子を「かせぎ手」というあだ名でよんだりしました。

世栄さん一家の解放前の暮らしはあらましこういったものでした。文采さん夫婦は世栄さんをはじめ三人の子供を育て、煙草も吸わなければお茶ものまなないようにして根かぎり働きましたが、それでも飢えにおびやかされどうしてでした。

北京が解放されたとき、十八才の世栄さんはあい変らず露店商をしていましたが、夜になるとかならず夜学に通い、二年後には高等小学校卒業の程度にまでこぎつけました。そして間もなく労働局の紹介で北京電車会社の車掌に採用されました。こうして、世栄さんはあけくれねがってやまなかった定職につき、定収入がえられるようになりました。

世栄さんは、旧社会での苦しみをいやというほどなめつくしてきただけに、新しい生活にはひとしお深い愛着をもっています。彼は車掌を四年あまり、運転手を二年あまりつとめています。毎月きまって業務優良者にえらばれて、奨励金をもらっています。七年らい一度も遅刻や早退がなく、休んだこともありません。弟の世華さんはいまトロリーバスの車掌をしています。解放まえあやうく養女にやられかけた桂英さんは、解放後、町の識字班から初級中学にあがり、去年電車会社に採用されて、配電工になりました。一九四五年に世栄さんは結婚しましたが、奥さんは同じ電車公司につとめています。お父さんの文采さんは、暮らしのためにあくせくすることもいらず、家事の手つだいや孫のお守りで安楽な余生をおくっています。

一家の収入は月に一二〇元あまり、食費、家賃、水道料、電気料など七〇元あまりをさしひいたのこりの五〇元前後は被服費にあてています。五〇元でもし布地を買うとすれば、三五メートル以上買えます。世栄さんはまもなく正式運転手の給料がもらえるようになりますし、弟や妹も次々に見習工から一人前の労働者になってゆくので、一家の収入は今後ふえる一方です。仕事についている四人はみな労働保険と各種の福祉事業の適用をうけ、病気の診察、治療から散髪、入浴にいたるまでみな無料です。両親と子供は直系の親属なので、労働保険条例の規定にもとづいて医薬費は労働組合が半額負担してくれます。世栄さんがまだ小さかったころには、「お母さん、明日も蒸しトウモロコシ食べさせてくれる？」とよくねだったものですが、いまでは日曜ごとに一家そろって、好きなギョウザに腹鼓をうっています。二年度前に世栄さん夫婦はまるまるふとった男の子に恵まれました。文采さんは初孫に「宝泉」という名をつけ「この子供はいいお時世に生まれたもんじゃ」と口ぐせのように言っています。

(句形の例句)

- ① ……にとって
- この一週間ひどい雨が降り続いた。農民にとってこれは重大問題だ。
  - クラスから三好の学生が八人選ばれた。私達にとってこんな嬉しいことはない。
  - 岸内閣は「日米安保条約」を日本にとって、いっそう不平等なものにしようとしている。
- ② ……に対して
- 私たちは、中国人民が世界平和のために大きな貢献をしたことに対して深い敬意を表します。
  - 米日反動派の労働組合への弾圧にたいして、共産党員は先頭にたってたたかっている。
- ③ たんに……というだけでなく
- 私たちの仕事は、たんに翻譯というだけでなく日中友好のために大きな意味をもっているのです。
  - 保母の仕事はたんに子供のお守りというだけでなく、親たちの仕事を保障する役割を持っています
- ④ ……とも
- どんな人でも一日に少くとも七時間の睡眠はとらなければなりません。
  - 貴方は大学生ですから、少くともノートをとるぐらいの努力は必要でしょう。
  - 閲覧室から、本を借りる時、多くとも五冊をこえないようにして下さい。
  - この部屋には、多くとも六人以上は入れないでしょう。
- ⑤ ……しかない
- 映画のキップは皆に分けてしまったので、一枚しかありません。
  - 二十七寮では夏休みに家に帰らない人は五人しかいません。
- ⑥ ……するほかない
- 解放前まで貧農に息子たちはどんなにすぐれていても大学へ入ることはできなかった。それで、一生牛かいやした働きをするほかなかったのです。
  - 外国後をすらすら話せるようになるには毎日毎日練習するほかないでしょう。
- ⑦ どうせ……なら
- どうせ十三陵へ出かけるなら、ダムはぜひみていらっしやい。
  - 子供のものは、どうせ買うなら、じょうぶなほうがよいでしょう。
- ⑧ なんとしてでも……したい
- 北京へ行ったら何としてでも天安門と京劇をみたいと思う。
  - 彼はこの建設の途中で倒れたのだから、何としてでも完成したニュースをしらせてやりたい。
- ⑨ ……ては……ては……ながら
- 八人家族を養はねばならなかった彼は、肺が悪かったが寝ていられなかった。そこで働いては休み、休んでは働きながら死んでいった。
- ⑩ ……ようにする
- 陳さんは病気で休んでいるが傳染病なので見舞いに行かないようにしています。
  - 私は紅専計画を実行するため、少しも時間のむだがないように勉強しています。

- ⑪ …ようになる
- 中国の人民公社に疑問をもっている人たちも、自分の目で実際の状況を見れば分かるようになる筈です。
  - 解放後私の一家は生活がらくになり、米のごはんに肉や卵も食べられるようになりました。
  - 家のおじいさんは七十才になってから字を習い始めましたが、今では、新聞も読めるようになってよるこんでいます。
- ⑫ いやというほど・・・ただに
- 彼は解放前、地主に搾取をいやというほどなめつくしただけに、人民公社の役立には、すばらしい積極性をしめしました。
  - 黄明さんは、むかし語学の勉強に、いやというほど苦勞してきただけに学生たちの困難な点もよく理解することができます。
- ⑬ ……とすれば
- 一時間に六〇〇字翻譯できるとすれば、スピードの面では、水準に達しているといえるでしょう。
  - 日本へ留学するとすればもう少し話す力を強めておかなければなりません。
- ⑭ 毎日、毎月、毎年（きまって・・・）
- 毎月きまって、十日頃には母から手紙が来ます。
  - 毎年きまって六月には燕がやってきます。
  - 私は毎日決まって夕方散歩することになっています。

（练习）

造句：

1. ……につれて・・・つつある
  2. ……ことにした
  4. ……に対して
  5. ……というだけでなく
  6. ……とも
  7. ……ようにする
  8. ……ないようにする
  9. ……ないようにする
  10. ……するほかない
  11. いやというほど・・・ただに
  12. ……とすれば
  13. ……ごとに
  14. なぐさめ
  15. ささやか
  16. あっけなく
  17. いよいよのとき
  18. 膝元
  19. ……について
  20. つまる
1. スマートな

2. 思いがけない
3. 名がとおっている
4. やしなう
5. どうか
6. 大いそぎ
7. すます
8. 話にならない
9. おまけに
10. ちぢこまる
11. のぞみをかける
12. 思いきって
13. ひもじい
14. 毎月(毎日、毎年)きまって
15. しょっちゅう
16. ける、なぐる
17. ひどいめにあわす
18. 暮らしをたてる
19. 相かわらず
20. こぎつける
21. なめつくす

次の短句を中国に譯しなさい

1. 新入生が学校に来た時、私たちは荷物を宿舎に運んでやった。
2. 彼は実直という点で他の人にふかい印象を与えている。
3. 解放前、餓えと寒さのために死んだ人がどのぐらいいるか分からない。
4. 山田さんは父親の死によって中学へ行きたいというささやかな希望も打ちこわされてしまいました
5. 北京では新しい都市計画によって道路を広くするため、古い家を打ちこわしています。
6. いぜん物売りに歩いた街を通れば自然、貧乏ぐらしだった昔が思い出されます。
7. 養女にやられて育った光英さんは自分でその苦しみをなめつくしてきただけに、子供の教育について何より関心を持っています。
8. 労働に行ったとき、休みの時間には皆でつぎつぎに歌ったり詩を朗讀したりして楽しくすごしました。
9. 一九二八年、わたしはまだ十二才だった。わたしはおやじの部隊のあとについて歩いていった。「帰れ」といわれても、わたしは部隊について歩いていった。
10. こうして、私はあけくれねがってやまなかった赤軍に参加することができたのだ。
11. 解放前、私の父は失業者でした。いま人民政府のおかげで定職についたので一家の収入はふえる一方です。

次の短句を日本語に譯しなさい。

1. 即使是一个健康的青年，如果一天到晚学习，也会头晕眼花，所以需要适当的运动。
2. 我们的助学金最少是四元，最多是十二元五角。

3. 幸福院の老年人不住口地向来访的客人介绍他们的幸福生活。
4. 我国正以高速度进行社会主义建设，所以正在逐渐变成现代化的工业园。
5. 让他想学英文，然而别的工作很多，时间不够，所以决心就动摇了。
6. 西藏的农奴由于叛乱分子被平定才能重见天日。
7. 痢疾正在流行，所以请你们注意不要吃腐烂的食物。
8. 新年的时候，毕业生 陆续来先生家玩，所以非常热闹。
9. 西藏反动农奴主残酷的剥削，屠杀农奴。
10. 要为一个合格的翻译干部，一定要掌握听，说，写，读，译五会。

[閲読] わたしの家庭

(詞匯)

わりに＝

ときには＝

ふりまわす＝

ほう＝

議論(ろんぎ)する＝

世間(せけん)ばなし＝

あわせる＝

東方紅(トンフアンホン)＝

それに＝

耳がとおい＝听不清楚

いやになる＝厌烦

……かわりに＝和……相反

手におえぬ＝无法无天

腕白坊主(わんぱくぼうず)＝

……ようにと＝……ようにと 思ってあてる

へんなかのこう＝奇怪的服装

居住証明書(きょじゅうしょうめいしょ)＝身份证

なでる＝抚摸

腹がたつ(はらがたつ)＝生气

……でしかたがない＝……得了不得

どうにも＝无论如何也

稼ぎ(かせぎ)＝

墓場(はかば)＝

とりつける＝

官僚(かんりょう)＝

うえ＝

常雇(じょうやとい)＝

銀貨(ぎんか)＝

まる＝

たびたび＝

くりかえす＝  
無実の罪（むじつのつみ）＝莫須有的罪行  
ほうりこむ＝  
どうすることもできない＝毫无办法  
次男＝  
雑役夫（ざつえきふ）＝  
先妻（せんさい）＝  
厄介になる（やっかいになる）＝受照顾  
高粱（こうりゃん）＝  
糠（ぬか）＝ まぜる＝  
思い出ばなし（思い出ばなし）＝  
はげむ＝  
少年先鋒隊員（しょうねんせんぼうたいいん）＝  
くめんする＝  
かよう＝  
意地っぱりだ（いじっぱりだ）＝好胜，好强  
ひける＝  
採用試験（さいようしけん）＝  
優秀（ゆうしゅう）＝  
受験（じゅけん）＝  
資格（しかく）＝  
合格（ごうかく）＝  
予科（よか）＝  
動力大学（どうりょくだいがく）＝  
満点（まんてん）＝  
夜学校（やがっこう）＝  
しりあい＝  
西単区＝  
口数が多い（くちかずがおおい）＝爱说  
ひきあいにだす＝引证  
おりあいがよい＝关系好  
工場長（こうじょうちょう）＝  
手本（てほん）＝  
しんらつ＝  
農村の出（のうそので）＝  
うまくいく＝关系好，顺利  
つくろう＝  
面倒をみる（めんどうをみる）＝照顾  
ひきうける＝  
気（き）をつかう＝操心  
精力を（せいりょくを）かたむける＝  
いっせいに＝

日一日（ひいちにち）

わたしの家庭は、いつもは、わりに静かです。けれども、日曜日は、お祭りのように、にぎやかです。七十四の母から二つの孫まで、一家のものがみんなあつまってきます。ときには、友人も訪ねてきます。

母と妻は、みんなのたべものをきいて、ごちそうをつくります。いちばん末の息子と孫は、おもちゃをふりまわしながら、はしっています。三人の息子たちは、学校や工場のこと、本屋や映画館のことなどを話しあっています。ときには、小説のことで議論することもあります。

わたしのほうは、息子たちには仕事や勉強のことをききます。また、息子たちの質問にこたえたりします。ときには、友人と世間ばなしをしながら。酒をのむこともあります。

食事がすむと、みんなでラジオをききます。息子たちは、それにあわせて、おどったりします。そこには、母までがうたいたすしまつです。

母は「東方紅」をきくのが好きです。それに、四男のフィホン(惠恒)から話をきくのが好きです。ところが、この子は、おばあさんが耳がとおいので、すぐいやになってしまいます。フィホンは、今年十になったばかりです。頭がよいかわりに、手におえぬ腕白坊主です。母はこの子がもっと勉強するようにと、よくわたしの子供のころのことを、はなしでかかせます。

母は、わたしの古い写真をとりだして、フィホンにみせます。

「これ、だれだかあててごらん」

「あっ、おとうさんだ！何でこんなへんなかっこうしてるの？」

「この写真は、居住証明書というものにはってあったんだよ。日本軍と蒋介石の国民党のころは、ほんとにくるしくてね・・・」

母はフィホンの頭をなでながら、はなしはじめます。

解放前のことをおもいだすたびに、わたしは腹がたってしかたがありません。三十四年前のことです。わたしはまだ十いくつでした。家が貧乏で、どうにもくっていけないので、わたしが稼ぎにでなければなりません。

そのころ、シイヂンシャン(石景山) 一帯は墓場でした。わたしたちは、そこに、工場をたて、機械をとりつけました。しかし、この発電所は、官僚と資本家のものでした。日本帝国主義と国民党反動派が支配していました。おおくの労働者は、うえと寒さのために死んでいきました。

わたしは、さいしょ常雇として、この工場にはいりました。そして、ひと月六元の銀貨をもらいました。それからまる十年はたらいてやっと一人前の労働者になりました。けれども、一家のものは、あいかわらず、くうものにも、きるものにも、こまっていました。そこで、わたしたちと資本家や反動派のあいだには、たびたび斗争がくりかえされました。

一九四二年、わたしは、無実の罪で監獄にほうりこまれました。相手は日本帝国主義者です。また、ちょうどそのとき、いちばん上の息子も腕をおりました。いえのものは、どうすることもできません。そこで、まだ十にもならない次男を雑役夫として、工場へ働きにだしました。

母と先妻は、子供をつれて郷里にかえりました。親戚の厄介になったのです。一家は、正月やお祭りがくるとよそから高粱をすこしかりてきました。それに糠をまぜてたべていたのです。そのうちに、先妻は病気にかかってしんでしまいました。

この悲惨な思い出ばなしは、フィホンのはげみになりました。フィホンは、だんだん勉強するようになりました。そのため前学期はうんと成績があがりました。今では、少年先鋒隊員です。

わたしの長男は、今年二七才で、電気労働者です。この子は、小さい時から勉強がすきでした。けれども、ふるい社会では、労働者が子供を勉強させるのは、たいへんなことでした。わたしは、すこしばかりの金をくめんして、この子を小学校にかよわせました。けれども、卒業するとすぐ、工場の雑役夫にださなければなりませんでした。

ところが、長男は、なかなか意地っぱりでした。仕事がひけると、いつも数字や物理をひとりで勉強しました。とうとうこの子が勉強できる機会がきました。一九五一年の秋、人民政府は、ソ同盟におくる留学生の採用試験をしました。優秀な労働者や学生に受験の資格がありました。

長男は、この試験に合格して、その年の八月に、モスクワにいきました。

長男は、それから、半年もたたないうちに、大学の予科にはいり、まもなく動力大学にすすみました。成績はどの学科も満点をとっています。

長男の妻は、この人が労働者夜学校の教師をしていたころ、長男としりあいになった人です。みんなとのむすびつきもよく、いまでは、労働組合の書記をしています。まじめで、なんでもよくやるので、光栄な共産党員になりました。

次男は、いま、共産党の北京市西単位区委員会ではたらいています。三男はまだ中学生です。みんな仕事や勉強は真面目にやりますが、口数が多い。討論するときは、よくわたしのことをひきあいにだします。

わたしが三十数年の経験をつんで、工場内のことをよく知っていること、同僚たちとのおりあいがよく、解放されてから、労働組合の主席にえられたこと、さらに、今年の一月には、政府から工場長に任命されたことなどを、この子たちはよく知っています。だから、わたしがこの子たちの手本だとおもっているのです。

だが、息子たちは、とどき、わたしに意見をだすこともあります。しかも、その意見はなかなかしんらつです。

今の妻は、農村の出です。四男もこの人がうんだのではありません。けれども、二人のあいだは、ひじょうにうまくいっています。妻は、四男の着物をぬったり、靴下をつくろったり、よく面倒をみてやります。四男もいっしょうけんめいおかあさんの文化学習をたすけています。

わたしは、工場がひけて家にかえると、いつもおいしい食事をとることができます。家のことはぜんぶ、妻がひきうけているのです。わたしはすこしも気をつかうことはありません。すべての精力をかたむけて、工場の仕事ができます。まったく妻おかげです。

新中国が誕生してから、全国の工場や鉱山がいっせいに発展しました。わたしたちの発電所も、絶えず発展をつづけています。また新中国のすべての家庭がゆたかになり、幸福になりました。わたしの家庭も日一日とゆたかになり、幸福になっています。

### 第三課 働く人たちの詩

#### (詞匯)

一、自由労組の娘たち

自由労組（じゆうろうそ）＝自由公会。

友（とも）。

うそはない（嘘はない）＝不是，假话。

モッコ（畚）＝畚，用绳子编的搬土用的篮

スコップ（sohop）＝铲子。

にぎる（握る）。

ツルツバシ（鶴嘴）＝镐子。

ふるう（振う）＝挥起。

若々しい（わかわかしい）＝年轻活泼的。

姿態（したい）。

嵐（あらし）＝暴风雨。

負ける（まける）。

おしろい（白粉）＝粉。

口紅（くちべに）。

ぬる（塗る）。

真珠（しんじゆ）。

ピチピチした＝年轻敏捷活泼的。

荒れる（あれる）＝（手）輝。

手のひら（ての掌）＝手掌。

眉（まゆ）。

ひそめる（顰める）＝皱（眉）。

おまえ（お前）＝你。

坂本俊雄（さかもととしお）。

二、 ビイビイ草へ

ビイビイ草（そう）＝疲疲草。

よみがえる（甦える）＝甦生，又一次到来。

野ずら（の面）＝原野上。

枯草（かれくさ）。

おしわける（押し分ける）＝推开。

ウンと＝尽量地。

双手（双手）。

芽生える（めばえる）＝萌芽，发芽。

野山（のやま）＝原野。

一面（いちめん）＝遍满。

いろどる（色取る、彩る）＝染成……色。

摘む（つむ）＝摘取。

飢（うえ）をしのぐ＝充饥。

しのぐ（凌ぐ）＝克服，超过。

みじめな（惨めな）＝悲惨的。  
思出（おもいで）＝回忆。  
あと味（後あじ）＝余味。  
甘さ（あまさ）＝甜味。  
移り（うつり）＝流逝。  
爆音（ばくおん）＝飞机飞动的声音。  
ぎっくりと＝像针刺入似的。  
刺す（さす）、胸をさす＝刺着心坎。  
おびえる（おびえる）＝（在威胁之下感到）惊慌。  
瞳（ひとみ）＝眼珠，眼睛，眼神。  
あらたな（新たな）＝新的。  
そそぐ（注ぐ）＝注（视）。  
二度と（にどと）＝在一次地。  
生長（せいちょう）＝成长。  
妨げる（さまたげる）＝妨碍拦阻。  
断乎として（だんことして）＝坚决地。  
阻止する（そしする）＝摘阻，阻止。  
岡本重吉（おかもと・しげきち）。

〔課文〕

自由労組の娘たち 坂本 俊雄

友よ！

土方をやっている娘は—  
健康で美しいといった。

きみの言葉にうそはない。

モッコをかつぎ

スコップをにぎり

ツルッバシをふるう

娘たち。

その若々しい健康な姿態、  
働く者の美しさだ。

どんな生活の嵐にも負けない—

おしろいや口紅をぬらなくても、

真珠のような白い歯

リンゴの頬、

健康でピチピチした娘たち

その荒れた手のひらに

眉をひそめる者たちよ！

おまえたちもいっしょに

動いてみる、

彼女たちが

どんなに美しく  
すばらしいかを—  
そして彼女たちは  
闘うことを知っているのだ。

ピイピイ草へ                      岡本 重吉  
春がよみがえり  
野ずらに新しい風が吹けば、  
枯草をおしわけ  
ウン、と雙手を伸ばし  
おまえは今年も芽生えたのか？  
野山一面みどりにいろどって。  
おまえの名、  
だれがつけたのかピイピイ草。  
お前の名を  
だれもが知っている。  
形がよいのではない、  
花が美しいのでもない。  
かつて、おおくの人々が  
おまえを摘んで餓えをしのいだことがあるからだ。

戦争のみじめな思出とともに、  
あと味のわるい  
あの甘さを忘れえようか！  
年の移りとともに  
おまえは忘れられていい草だった。  
「平和」  
そのとき、だれがおまえを必要としようか！

飛行機の爆音が  
ぎっくりと、胸を刺すこの頃、  
戦争の声におびえながら  
おおくの瞳が  
あらたな思いでおまえにそそがれている

ビイビイ草よ、  
だが私たちは  
二度とおまえを摘まぬつもりだ、  
おまえの成長をけつして妨げぬつもりだ。  
断乎として戦争を阻止する！

(句型の例句)

- ① どんなに・・・・・・か
- 労働者の団結の力がどんなに強くすばらしいか、中国の社会主義建設をみればよくわかるはずだ。
  - 教学というものはどんなにむずかしいか、実際教えてみなければわからない。
- ②・・・・・・とともに
- 大学を卒業して社会へ出るのは嬉しいとともに心配でもある。
  - 語学は読み、書き、聞くとともに話せなければならない。
  - 此の夏休みは父とともに旅行に出かけるつもりです。
- ③・・・・・・ていい
- 学校も夏休みのあいだは夜おそくねていいことになっています。
  - 政治の試験は教科書をみていいのです。
  - 労働組合のテレビはじゆうにみていいそうです
- ④・・・・・・ではない・・・・・・でもない
- このおもちゃは、熊ではないし、猫でもない。パンダという動物だそうで、北京動物園にはほんものがいるそうだ。
  - このうつわは瀬戸物でもない、セルロイドでもない。プラスチックというものだそうだ。

(练习)

造句:

- 1.・・・・・・とともに
2. どんなに・・・・・・か
- 3.・・・・・・つもりだ

(閱覽)

詩; 水・馬

詞匯

やかん＝

もちあげる＝

とつくん、とつくん＝喝水的声音（咕嚕……）

のど＝

なる＝

による、による(副)＝蛇爬行貌，蜿蜒弯弯曲曲。

つめたい＝

いぶくろ＝

いき＝

とめる＝

すいつく＝

つぎこむ＝

ぶすつと＝一滴一滴地

もうひといき＝

なんのたしになるもんかしらんが＝不知道究竟有什么好处

しやんと(副)＝直，端正，笔挺。

すみからすみまで＝

まっさか＝  
えいっ＝赶马的声音  
こいつ＝愤怒  
こら＝（感）喂！表示愤怒或傲慢的喝声。  
びしり＝鞭子的声音。  
親方（おやかた）＝  
太い（ふとい）＝  
つな＝  
ふりあげる＝往上摇。  
　　いやがる＝  
首ったま＝  
なぐりつける＝  
あご＝  
あてがみ＝  
ばさばさに＝  
ぐいっぐいっど＝一下子一下子扭着脖子  
ふりたてる＝  
根っこ（ねっこ）＝  
すじ＝  
ふくれあがる＝  
とびつく＝  
ぶんなぐる＝  
炭（すみ）＝  
俵（たわら）＝  
くずれる＝  
つみあげる＝  
荷車（にぐるま）＝  
ひっぱる＝  
あともどり＝  
倉庫（そうこ）＝  
あとあし＝  
けりたてる＝  
いくら・・・でも＝无论怎么也  
こいつめ＝这个傢伙  
さける＝  
くびねっこ＝  
どうして・・・＝感叹，哪会  
もんか＝ものか＝表示强烈否定的汉语。  
いくら＝  
どんなに＝  
一足（ひとあし）  
さがる＝

むりじゃないか＝不是太岂有此理吗  
歯ぐき＝  
むきだす＝  
おこる＝おこっている＝  
きゅっと＝紧紧地  
つったてる＝绷着腿站着  
こぶこぶ＝正处肉球  
勝て（かて）＝  
負ける（まける）＝  
ひっげる＝  
らくらくと＝  
ぐるっと＝  
びゅうびゅう＝  
かける＝  
ほし葉（ほしば）＝晒干的叶  
ふりもぎそうになるほど＝几乎吹掉下来  
ゆすらかしている＝ゆする（摇动）

文章：

詩： 水

大關 松三郎

大きなやかんを  
空のまんなかでもちあげて  
とつくん、とつくん、水をのむ。  
とつくん、とつくん、とつくん、とつくん。  
のどがなって、  
によろ、によろ、によろ、つめたい水が、  
のどから、むねから、いぶくろへはいる。  
とつくん、とつくん、とつくん。  
によろ、によろ、によろ。  
いきをとめて、やかんにすいつく。  
自動車みたいに水をつぎこんでいる。  
のんだ水はすぐまたあせになって、  
からだじゅうから、ぶすつとふきでてくる。  
もういっぱい  
もうひといき、  
とつくん、とつくん、とつくん、とつくん。  
どうしてこんなに水はうまいもんかなあ。  
こんな水がなんのたしになるもんかしらんが、  
水をのんだら、やっと、こしがしゃんとした。  
ああ、空も、たんぼも、  
すみから、すみまでまっさおだ。

詩： 馬

えいっ こいつ えいっ こら  
びしり びしり  
びしり びしり  
親方は太いつなをふりあげて  
いやがる馬の首っ玉をなぐりつける  
馬はあごをふりあげ  
たてがみを ばさばさにして  
ぐいっぐいっ と 首ったまをふりたてている  
太い木の根っこのような血のすじがふくれあがっている  
そのところ親方は とびつくようにしてぶんなぐる  
びしり びしり  
びしり びしり

炭の表を くずれるほどつみあげた荷車をひっぱる馬を  
あともどりさせて倉庫へいれようとしているのだ  
馬は あとあしをがんばり  
前あしを けりたてて  
いくらたたかれても  
いくらどなられても 後もどりはしない  
こいつめ こらあ  
びしり びしり  
びしり びしり  
空気がさけるような音が  
ふりあげた首ねっこから出てくる

どうして、後へなんかいくもんか  
前なら進んでやる  
いくら重い荷物をひいてでも進んでやる  
だが 後へなんか  
どんなになぐられたって  
一足でもさがるもんか  
そうだ そうだ さがりはしないぞ  
むりじゃないか むりなことだ  
おれは心のなかで叫んでいた

びしり びしり  
馬はたたかれるたびに首をふりあげ  
赤い歯ぐきまでむきだしておこっている  
きゅっと後あしを土につたてて

大きな胸の筋肉をこぶこぶさせながら  
だまって だまって たたかっている

勝て 勝て 馬 馬  
おれは心の中で叫んでいた

びしり びしり

だが 親方はとうとうまけた  
たたくのをやめて前へひっぱった  
らくらくと車は進んだ  
そうして ぐるっとまわって倉庫の中へ入っていった  
おれは びっくりした  
ばんざいと さけびたかった  
北風がびゅうびゅう吹いてきて  
倉庫の戸にかけられた大根のほし葉を  
ふりもぎそうになるほどゆすらかしていった。

#### 第四課 人民公社の若干の問題に関する決議

(中国共産党第八期中央委員会第六回総会で採択、一九五八年十二月十日)

##### (詞匯)

若干 (じゃっかん)。  
採擇 (さいたく) = 通过。  
朝日 (あさひ) = 早晨的太陽。  
ひろびろとした = 広闊的。  
地平線上 (ちへいせんじょう)。  
むすびあわせる = 相结合。  
行政 (ぎょうせい)。  
合体する (がったいする) = 合一。  
出現する (しゅつげんする)。  
強大な (きょうだいな)。  
生命力 (せいめいりょく)。  
ひく (引く) = 引起。  
広はんな (こう汎な)。  
農家総数 (のうかそうすう) = 农户总数。  
産物 (さんぶつ)。  
間もない (まもない) = 不久。  
もたらす = 帶來。  
いちじるしい (著しい) = 显著的。  
見てとる = 看到。  
広範囲 (こうはんい) = 大的范围内。  
統一的に (とういつてきに)。  
按配する (あんばいする) = 安排。  
調達する (ちょうたつする) = 调度。  
効果的に (こうかてきに) = 合理地, 有效地。  
好都合 (こうつごう) = 便于……。  
林業 (りんぎょう)。  
畜産業 (ちくさんぎょう) = 畜牧业。  
副業 (ふくぎょう)。  
漁業 (ぎょぎょう)。  
密接に (みつせつに) = 密切。  
急速に (きゅうそくに) = 迅速地。  
発展をとげる = 得到发展。  
とりわけ = 特别是。  
いく千いく万 = 成千成万。  
ぞくぞく = 陆续大量。  
さしせる = 迫切。  
大量 (たいりょう)。  
共同食堂 (きょうどうしょくどう) = 公共食堂。

集団福祉事業（しゅうだんふくしじぎょう）＝集体福利事业。

おこす＝兴办，创办。

鍋釜（なべかま）＝锅灶。

かがみこむ＝屈服。

顔をほころばせる＝笑逐颜开。

賃金製（ちんぎんせい）＝工资制。

現物給与制（げんぶつきゅうよせい）＝供给制。

実施する（じっしする）＝实行。

飲食（いんしょく）。

薪（まき）＝柴。

味噌（みそ）＝酱。

酢（す）＝醋。

タダになる＝不要钱。

たしかな＝可靠的。

社会保険（しゃかいほけん）。

前代未聞（ぜんだいみもん）＝前所未闻。

改善する（かいぜんする）。

未来図（みらいづ）＝远景。

大々的に（だいだいてきに）＝大大。

深遠な（しんえんな）。

しだいに＝逐步。

移行する（いこうする）＝过渡。

おうじる＝按照。

報酬（ほうしゅう）。

支拂う（しはらう）＝付。

差異（さい）＝差别。

しまいに（は）＝最后以至于。

対内的な（たいないてきな）。

機能（きのう）＝职能。

さし示す（さししめす）＝指出。

政治局（せいじきょく）。

北戴河（ほくたいが）。

歴史的な（れきしてきな）＝历史性的。

### （課文）

一九五八年、一つの新しい社会組織が、のぼる朝日のように、アジア東部のひろびろとした地平線上にあらわれた。これがすなわち、わが国農村における大規模な、工業、農業、商業、文化、教育、軍事をむすびあわせた、行政と社務とが合体した人民公社である。それが出現すると、その強大な生命力で、ひろく人々の注意をひいた。

人民公社運動の発展はひじようにはやい。一九五八年の夏からはじまって、わずか数ヶ月のあいだに、全国七十四万余の農業生産協同組合はすでに、広はんな農民の熱烈な要求をもととして、二万六千余の人民公社に改組された。公社に参加したものは一億二千余万戸

に達し、全国各民族の農家総数の九九パーセント以上をしめている。この状況は、人民公社の出現が偶然ではなくて、それはわが国の経済、政治の発展の産物であり、当の社会主義整風運動。社会主義建設の総路線および一九五八年における社会主義建設の大躍進の産物であることしめしている。

農村の人民公社ができてからまだ間もないが、しかし広はんな農民はそのままらしたいちじるしい利益をすでに見てとっている。それは、労働力と生産手段をいっそう広範囲にわたって統一に按配し、調達することができ、これまでよりもいっそう合理的に、いっそう効果的に使用できるため、生産を発展させるのにより都合になったこと。工業、農業、商業、文化、教育、軍事の各事業（この中の事業には農業、林業、畜産業、副業、漁業の五つをふくむ）は、公社の統一的な指導のもとに、密接にむすびつき、急速に発展をとけ、とりわけいく千いく万という小工場が農村にぞくぞくとつくられたこと、公社は広はんな大衆のさしせまった要求にこたえて、大量の共同食堂、託児所、幼稚園、敬老院などの集団福祉事業をおこし、これによって、とくに、数千年らい、鍋釜のそばにかがみこんでいた婦人が徹底的な解放をかちとって、顔をほころばせるようになったこと、多くの公社は農業の大豊作のうえにたって、賃金制と現物給与制をむすびつけた分配制度を実施しており、広はんな男女農民ははじめて自分自身の賃金をうけとるようになり、そしていぜんいつも飲食の心配や、薪、米、油、塩、味噌、酢、野菜の心配をしていた家庭もこらからは「食事はタダ」になり、つまり、もっとも重要な、もっともたしかかな社会保険をうけるようになったことなどである。これらはすべて、農民にとっては、前代未聞のニュースである。農民の生活はすでに改善されており、しかも実際の経験と公社の発展の未来図によって、かれらはその生活がこんども大々的に改善されることを知っているのである。

農村の人民公社制度の発展には、さらにもっと深遠な意義がある。すなわち、それは、わが国の人民に、農村がしだいに工業化してゆく道、農業における集団的所有制がしだいに全人民的所有制へ移行する道。社会主義の「労働におうじた分配」（労働におうじて報酬を支拂うこと）からしだいに共産主義の「必要におうじた分配」（つまり、必要におうじて受けとること）へ移行する道、都市と農村との差異、工業と農村との差異、頭脳労働と肉体労働との差異がしだいに小さくなり、しまいにはなくなってゆく道、および国家の対内的な機能がしだいにちいさくなり、しまいにはなくなってしまう道をさし示していることで、これらはすべて、中国共産党中央政治局が一九五八年八月の北戴河会議で、大衆の創造にもとづいておこなった、農村に人民公社をつくることについての決議が正しいものであり、歴史的な意義をもつものであることを証明している。

#### 【句型】（プリント）

##### ①・・・もともととして（する）

○人民公社の組織原則は、民主集中制である。公社の仕事はすべてこの原則をもととしてすすめるなければならない。

○表音字母は広はんな人民がもとめているものです。識字教育、共通語の普及、少数民族の文字の創造などは、みなこれをもととして発展していくことができます。

##### ②・・・によって

○第一次五か年計画を完遂し、物質的技術的土台を築くことによって大躍進を実現することができたのである。

○先学期、私たちは紅專計画をたてた。これによって今学期はうんとがんばらねばなら

ない。

○ソ連政府の努力と全世界の平和を愛する人民の要求によって、米・英・佛三国は外相会議をひらくことに同意したのである。

③・・・にもとづいて

○各人民公社では昨年の経験にもとづいて今年はより一層の豊作をかちとろうとはりきっている。

○中国の六億人民は、より多く、より早く、より良く、より経済的という方針にもとづいて、一致団結し、積極性を発揮しています。

○一七カ条の協定の中には、農奴制度を人民の願望にもとづいて改革すると規定しているが、今まで実現できなかった。

④・・・について

○チベット人民チベット地方政府の解散とチベットの叛乱の平定についての国務院命令を熱烈に擁護すると表明した。

○プロレタリア革命とプロレタリアート独裁についてのマルクス・レーニン主義の理論はくりかえして勉強しなければならない。

[练习]

造句:

1. ……によって
2. ……にもとづいて
3. ……について
1. ひく
2. 間もない
3. ぞくぞく (と)
4. さしせまる
5. タダ
6. たしかな
7. しだいに
8. おうずる
9. しまいに
10. さししめす
11. 実施する

次の短句を中国語に譯しなさい。

1. 世界青年平和友好祭は各国の広汎な人民の関心と援助の下に、帝国主義と反動派のさまざまな破壊をうちやぶって、大きな勝利をおさめた。
2. 北京大学の学生は党のよびかけにこたえて、積極的に辛さを鍛えている。「労衛制」一級に合格した人はもう数千人にたっている。
3. こんどの試験に、一年の学生はのこらず五点と四点をとった。こらは半年以来先生と学生が協力して党の教育方針をつらぬき学習の面において、大きな成績をあげたことをしめしている。
4. 社会主義建設の速度をよりいっそうはやめるために、全国にわたって、数多くの小型工場をおこすことにした。

5. 医者のもんみつで、すぐれた治療によって、彼の病気は、はやくなおった。彼は医者に感謝せずにはおられなかった。
6. こんどの労働を通じての収穫は、農民と接触して、彼らの優れた品質をまなびとったこと。労働の苦しみと楽しみをこの身でおぼえたこと、集団の力の大きさをいっそうはっきりと認識したことなどです。
7. 京党员にとっては、党は人民の利益がなによりも大切なもので、個人の利益はちっぼけなものだ。だから党员は党と人民の利益にしたがうべきだ。

次の短句を日本語に譯しなさい

1. 随着批评和自我批评的开展，在我国人和人的关系上出现了很大的变化
2. 向秀丽不顾自己的生命，抢救国家的财产。这表现了毫无自私自利之心的共产主义精神。
3. 中国的大跃进在世界上是前所未有的新闻，他引起了争取和平民主，幸福生活的各国人民极大的注意。
4. 日语科的先生们在同学们做的卡片的基础上正在编「常用多义词汇集」（注：「常用多义词集」一）
5. 中国人民经过了百年来的英勇斗争，才取得了今天革命的胜利。
6. 一年来国际局势的发展更加清楚地证明了「东风压倒西风」的正确性。
7. 我国能在短期内恢复了受到破坏的经济，较快地进行大规模的社会主义建设是因为有党的领导，全国人名的努力和苏联的援助。
8. 在我国的高等学校中提高教学质量是一个迫切的问题。为此，先生和同学正在全力奋斗。
9. 人民公社是使我国从集体所有制过渡到全民所有制的最好形式，而且是从社会主义社会过渡到共产主义社会的最好形式。
10. 为了逐步促进(推动)从集体所有制向全民所有制的过渡，各县应普遍(注：普遍的に)建立县联社(注：県連各公社)
11. 党的建设社会主义总路线是根据马列主义的理论和中国革命的实践制定的，清楚地向全国人民指出了社会主义建设的规律(注：法則)
12. 因为从8月×日起举行世界青年联欢节(注：青年平和友好祭)世界各国的青年陆续来到了维也纳城。

## ( 閲読 )

### 人民公社について

中国の農村に人民公社がつくられてからもう一年になります。この一年間、人民公社は、すくすくと成長し、健全に強固になりました。

世界中の反動派が、どんなに中傷を加えても、人民公社は、びくともせず、中国共産党にみちびかれて、まるで昇る旭のような勢でたくましく成長し、巾ひろい農民に喜ばれています。

新中国を憎む人々の夢とはまったく反対に、人民公社は一つとして倒れなかったばかりか、そろって大地にしっかり根をおろしたのです。

中国共産党中央委員会の農村工作部の統計によりますと、今、全中国の農村の人民公社の数は、二万四千余りあって、一億二千万戸の農家、つまり、全中国の農家のうちの、九十九%以上がこれに入っています。ですから平均して一つの人民公社に、農家が五千戸ということになります。

人民公社は農業生産協同組合とちがって、みんな多角経営を行っています。つまり、農

業、林業、牧畜業、副業、魚業などを手びろく営み、また、小規模の工業もいとなんでい  
るわけです。

人民公社は、工業、農業、商業、文化教育と軍事を結びつけ、又、基礎行政機構と一体  
になったもので、農村での社会主義権力機構の基礎単位です。

全中国では、人民公社の整頓の仕事が数ヵ月に亘ってすすめられました。この仕事を  
通じて公社は人々も思想の面からいっても、組織や制度の面からいっても、今迄より一層  
健全になり、強固になりました。

人民公社のしくみはどのようなふうになっているかと申しますと、公社の下には、生産隊  
がいくつかあり、生産隊は、更にいくつかの生産小隊に分れます。もともと人民公社は農  
業生産協同組合から発展してきたもので、大体いくつか、あるいは何十かに高級農業生産  
協同組合が集まって一つの人民公社がつくられたのです。ですから生産隊が大体もとの協  
同組合に当たるわけです。

今段階では公社と生産隊と生産小隊は、それぞれ管理と独立採算制を行うことが決めら  
れており、生産資料の面では、公社生産隊、生産小隊の三つの級の所有制をとることが決  
められています。

まず生産隊は独立採算制をとる基本的な単位であり、生産隊クラスのもっている所有権  
は基本的なものです。

公社は自分で運営している公共経済を所有するほかに、毎年各生産隊の蓄積の一部を人  
民公社の一部とすることができます。

今のところ、公社の所有権は部分的なものにすぎませんが、しかし、将来はどんどん拡  
張されていくでしょう。又各生産小隊も一部分の所有権をもつ事が決められています。

人民公社化運動の始めの頃には経済の不足のために、若干、集中しすぎる現象や、平均  
主義や、浪費の現象が生まれましたが、人民公社の整頓を通じて、こういった缺陷は非常  
な早さで克服されました。

こうして、人民公社は、新中国の敵が、この一年間、呪いをあびせつづけてきたにもか  
かわらず、一層強固に発展してきたのです。

人民公社の指導に当たっている幹部と公社に参加している農民たちには、人民公社が今  
までの農業生産協同組合より規模が大きく、したがって、生産発展させるための人力、物  
力、経済力も大きいことがよくわかっています。

去年の冬、全中国の農村で人民公社が生まれるとすぐ、中型、小型の工業をおこし鉄鋼  
をつくる大衆運動が始まりました。そしてこの運動は、去年の鉄鋼や石炭を始めとする工  
業生産の大躍進を保障したのです。

この一年間に、中国の農産では農具工場、肥料工場、副業品の加工工場、鉱物の採掘場、  
小型発電所など、何百万という小型の工場が人民公社の手でつくられています。農村に工  
場がたてられ、高い煙突がそびえたったこと、これは人民公社によって農民にもたらさ  
れた新しいできごとであり、人々の心をふかくゆり動かすできごとでした。そして、この  
ことこそは五億農民が確信にみちて人民公社を立派に運営していこうと決意している重要  
な原因となっています。

一年來の農業生産にひきつづく躍進と、農業、林業、牧畜業、副業や漁業など、各分野  
の全面的な発展、とりわけ今度の早ばつや、水害との斗いで勝利を収めたということは、  
これ又、人民公社の威力がどんなに大きいかを物語っています。

今人民公社では何処でも農業のほかに、いろいろのものを作る生産隊や小隊が出来てい

ます。又、どの生産隊にも養豚場や牧場があり、又それぞれ苗床を持っていますし、森林や果樹園も着々とつくられています。

水利事業の発展にともなって今、北の方の人民公社でも淡水魚の養殖が盛んになっています。

こうして、将来、中国は、どこへ行っても果樹園があり、どこへ行っても魚や米が食べられるということになりましょう。これは農村のすばらしい未来を指し示す雄大な見取図の一つです。

今、一部の人民公社は、トラクターやトラック、それにいくつかの農業機械をもっています。今後人民公社は生産隊の積立金と国からの投資金を使って追々農業の機械化を計り、比較的規模の大きい工業などを興すこととなります。

このように人民公社が農業の機械化と電化のテンポを早めようとしていることは五億の農民の胸をいやが上にもおどらせています。

生産を発展させるうえで、人民公社は農業生産協同組合をはるかにしのいでいます

今まで土地がやせ、条件のそろっていない生産隊は公社と、ゆたかな生産隊からいろいろたすけをえて一年たらずでその貧しい姿を改めました。

このように人民公社は貧しかったものを富ませ、富んでいたものを更に富ませて、農産経済の姿を速やかに変えています。

生産の発展を土台にして、人民公社では集団の生活福祉と文化教育、医療衛生にも力を入れ、農民の生活をすみやかに改善すると共に農村の物資福祉を高めています。

一年来、人民公社は社員のために澤山の公共食堂や託児所をつくり、この面で豊かな経験をつんできました。河南省、四川省、湖南省や上海などの農村の食堂は、経営の面で、はじめた当初よりずっとよくなっています。

公共食堂と託児所をはじめたことで、農村の婦人が家庭内のこまごました仕事から解放されました。

これによって農村の労働力が大巾にふえ、生産の中での婦人の佔める位置と役割もグッと高まりました。

また、殆んどの人民公社に中学と病院ができており、電話や有線放送があります。

各生産大隊には小学校や診療所があり、診療所のないところでも衛生員がいます。

各生産大隊には又、商店或いは購買販売部、また郵便取扱所があり、郵便取扱所のない大隊でも、その仕事をする掛り員がいます。

ここ一年の間に一部の比較的条件の良い人民公社では農業関係の基本建設の外に体育場や講堂、学校などの公共の建物もたてています。中には社員たちのために、新しい家をたてたところもあります。

また個別的にモデルケースとして、体育、花園、クラブなどの設備を持った新しい村を作った人民公社もあります。勿論いまのところ、人民公社には、社員全部の家を新しく一度に建てる力はありません。

しかし、人民公社になってから中国の農村の福利施設が大巾に向上したという事実は、「男女は別々に強制収容所に入っている」という逆宣傳をみごとにうち砕くものです。中国の農民は、人民公社を通じて限りなく幸福な未来をみてとっています。そして、人民公社をもっと立派なものにしてゆき、早く農業の機械化と電化を実現し、偉大な社会主義建設を早く完成したいと心から希望しています。

## 第五課 馬宿の話

馬宿（うまやど）＝喂馬店。  
一軒（いっけん）＝一間。  
刘二眼＝  
金もち（かね持）＝有钱的人。  
規則（きそく）＝規則。  
定める（さだめる）＝規定。  
炕（カアン）。  
地べた（ちべた）＝地下。  
宿賃（やどちん）＝店钱。  
馬方（うまかた）＝赶牲口。  
番頭（ばんとう）＝掌柜的。  
おら＝我的俗称。  
きまり＝規則。  
腹がたつ（はらがたつ）＝生气。  
突然（とつぜん）。 はいよ＝好。  
えらそうに＝顶神气的。  
もうけをふやす＝多赚钱。  
手代（てだい）＝伙计。  
いいつける＝吩咐。  
はち（鉢）＝盆。  
かかえる（抱える）＝端。  
驢馬（ろば）＝驢。  
変なこと（へんなこと）＝怪事。  
あいつ＝ ばか＝傻子。  
ひっぱる（ひっぱる）＝拉，接。  
平気だ（へいきだ）＝不在乎。  
驢馬小屋（ろばごや）＝驢棚。  
……代（だい）＝……钱。  
ひきだす（引き出す）＝拉出去。  
いばる（威張る）＝摆架子。  
やっと＝勉强，好容易。

### （課文）

昔々、このあたりに大きな馬宿が一軒ありました。主人は二根とって、金もちにはたいへん頭をひくくする人間で、金持のお客に対する時と、貧乏なお客に対するときとは態度が違うのでした。彼の宿屋では一つの規則がさだめられていました。一一うどんを食べるお客は炕の上で寝て、粟を食べるものは地べたで寝る。地べたがいっぱいになったとき、たとえ炕の上に空いている場所があってもあがらせてくれない。けれども宿賃はどちらもおなじである。

ある年の冬、大雪の降っている中を七、八人の馬方が泊まりにやって来ました。入口を

入るとすぐ番頭がたずねました。『あんた方はうどんを食べるのかい、それとも粟を食べるのかい？』三人の馬方はいいました、『おらたちは皆貧乏人だからうどんは食べない、粟の飯を食べるよ』主人がいいました、『わたらの宿ではきまりがあつて、うどんを食べるものは暖かい炕の上で寝て、粟を食べるものは地べたの上で寝るんだ』みんなはこれを聞いて、ひどく腹がたつたけれど、どうすることもできないので、荷物を地べたにおきました。そのなかに一人、王老大というのがいて突然大声でいいました。『おら、うどんを食うぞ！』主人はにこにこしながらいいました。『はいよ、それでは、あんたは炕の上へ上つてなさい』つづいてまたたずねました。『あんたは、うどんを何斤食うかね？』王老大はとてもえらそうにいいました。『三斤』主人には彼が食べきれないことがよくわかつていたけれど、もうけをふやすためにすぐつくれと手代にいづけました。しばらくするとできあがつて、大きなちいっばいのうどんをかかえてきました。王老大は、まず腹いっぱい食べてから、残ったのを全部驢馬にやっつけてしまいました。主人は見ていて変なことをすると思いましたが、口に出さないで、あいつは少しばかなのだらうと考えていました。

寝る時になると、王老大は驢馬を部屋の中へひっぱつて来ました。主人はすぐさげびました。『あんたは驢馬を部屋の中へひっぱつてきてどうするんだ？』王老大は平気でいいました。『驢馬を炕の上でねさせるんだ！』主人はいいました、『驢馬には驢馬小屋があるんだ、炕の上は人だけしか寝させない！』王老大がいった、『あんたの宿屋のきまりは、うどんを食ったものは炕の上で寝ることになっている。おれの驢馬だつてうどんを食ったのだからな！』そういいながら炕の上へひっぱる。主人はすぐ声を出したがいう言葉がなく、タダお願いするばかりだ。『お客さん、あんたのうどん代はいりませんから、はやく驢馬を引き出して下さい』王老大はいばつていった。『だめだ。』『おれは、あんたのきまりどおりにやっているんだから！』主人は、あわててこういった。『いいですとも、あんたが驢馬を引き出してくださいさえすれば、あなたが何をしてもかまいません！』王老大は彼が弱くなったのを見て、やつとこういった。『では、あんたはおれたち粟の飯を食う労働者をみんな暖かい炕の上で寝させるんだ。』主人はさっそく承知していった。『はい、はい、よろしゅうございます。』地べたで寝ていた人たちは皆大喜びで言った。『これでやつと貧乏人も気持ちがよくなったわい！』

### (句型の説明)

#### 1. たとえ……でも

○共産党員はたとえ殺されても党の秘密を敵にもらすようなことはしない。

○運動選手たちは、たとえ負けても最後まで立派に闘う。

#### 2. どうすることもできなかった

○生産目標を完成しようと頑張ったか、途中病気でたおれてしまったのでどうすることもできなかった。

#### 3. ……きれない

○入学のお祝いにノートを澤山もらった。これは一年ではとても使いきれない。

○今学期になってから課目もふえたし、程度もむずかしくなったので指定された閲読を讀みきれないで困っている。

#### 4. ……ことになる

○北京大学の規則では授業は午前七時半から始まることになっている。

○私達は毎週土曜日には政治学習をすることになっている。

5. . . . . さえ . . . . . ば . . . . . てもかまわない

○翻譯さえできれば口語は話せなくてもかまわないという人は系の要求を理解していない証據

○彼は今でも、專業の学科さえ五分をとれば、労働や体育はできなくてもかまわないと云っています。

6. どうするんだ

○子供を教室へ連れて来てどうするんだ！皆の勉強の邪魔になるではないか。

○真夜中の一二時なのに今から小説を讀んでどうするんだ！明日は授業があるんだよ。

7. . . . . かい、それとも . . . . . かい

○僕が食事をとってきてやろう、マントにするかい、それともごはんにするかい。

○一夫！明日は日曜だから、どこかへ連れて行ってやろう。映画がいいかい。それとも動物園がいいかい？

(練習)

造 句：

- ① とうとう
- ② いっせいに
- ③ さっそく
- ④ たすかる
- ⑤ おおう
- ⑥ かぶる
- ⑦ ふせぐ
- ⑧ 水につかる
- ⑨ かくれる
- ⑩ にげてくる
- ⑪ いいつける
- ⑫ 平気
- ⑬ やっと

句 型：

- ① どうすることもできない
- ② . . . . . きれない
- ③ . . . . . ことになる
- ④ . . . . . さえすれば、. . . . . てもかまわない
- ⑤ . . . . . ていられない
- ⑥ . . . . . そうになる
- ⑦ . . . . . てあげる、. . . . . させてあげる

次の句を中国語に譯しなさい

1. えらそうに

帝国主義者は今までえらそうに中国の第二次五カ年計画はどうしても実現することができないといいました。けれどもいま、このでたらめは、もう事実によって徹底的に粉碎されました。

2. (とき)になると

ふだんは、よく勉強していたにもかかわらず、試験をうけるときになると、あわててしまって成績が悪かった。

〔閲読〕

八 郎（はちろう）

文章：

むかし日本がまだ、こんもりした、ふかい森でおおわれていたころ、北のくにの、あきたというところに、八郎という山男がすんでいました。八郎はせいがたかくて、そう、ちよūd、あのカシの木、あれくらいもありました。

その八郎がちいさいころ、たざわ湖のお魚からこんなはなしをききました。

「むかし、この湖のなかに、きれいなおひめさまがいました。ある年、雨がいくにちもふらないので、川という川の水はなくなり田もはたけもかわききって、人びとはたいそうくるしみました。ひめは、みていられなくなって、湖のかみさまに、どうかこの水を、ひあがった川におとして下さいとたのみました。かみさまはおゆるしになりません。そこでひめは、こっそり、よなかに、湖のつつみをきって、水を川におとしてしまったのです。それからは、ひとびとはたすかりましたが、わたしたちは、もう二度と、ひめのすがたをみることができなくなったのです。」

その時から、なんねんも、なんじゅうねんもたち、八郎は、りっぱな、おおきな山男になりました。ある日、八郎が海のきしに立っていると、ひとりのちっちゃい男の子が、海をみてないのを見ました。その子をつまみあげ。

「わらし、なぜなくのや」とききました、そのちっちゃな子は。

「まいとしまいと、海あれてな。おらが、おとちゃんの田んぼが、しおみずかぶってだめになるだ。」といいました。そこで八郎はいいました。

「なくなよわらしこ。おめえのなくの見ればおれもなきたくなる。なくなよわらしこ。」そういって、おしよせてくる波をふせぐため海のなかにかけこみ、かたまで、つかって、よせてくる大波を、そのひろい胸におしかえし、おしかえし、すすみました。けれども、よせてくる大波にまけそうになりました。そのとき、八郎は、あのおひめさまの話しをおもいしました。八郎は、山にとんでもどり、湖のそばのブナ山にいいました。

「オーイ、この山、もらって、いいかあー！」

するとブナの森たちは、いっせいに、こたえました。

「いいぞおー」

八郎はかおを、まっかにして、「ヨオーッ」と山をかつぎ、海のなかにはいっていきました。

むねがかくれ、かたがしずみ、とうとう頭だけになってしまったとき、八郎は、はまのほうをふりかえり、ちっちゃな男の子をみつけて、ニコニコと、わらいました。

そうして八郎のからだは、海のなかに、かくれてしまったのです。

それから、なんぜんねんたったでしょう。

あきたの八郎がたという海は、とても波がしずかで、あらしのときなどにげてきたたくさんのおふねを、やすませてあげています。

八郎は、きっと、いつまでも海のそばにがんばって、はまのひとたちの、くらしをまもっているかもしれませぬ。

（句型の説明）

1. ××という××

○国民党が支配していた頃は、山という山の樹をみな切ってしまったので雨期になるとこのあたりは毎年毎年、大水で大変でした。

○原子爆弾をおとされた広島の家という家はあとかたもなくこわれてしまいました。

2. ていられない

○朝からどうも頭が痛いと思っていましたが、午後はとうとうがまんしていられなくなって宿舎へ帰りました。

○労働に行った時。けがをした、医者から休むように云われました。けれども皆が一生懸命働いているのをみると寝ていられなくなって、またすぐ働き始めました。

3. もう二度と・・・できなくなる

○父が亡くなったという知らせを受け取りました。もう二度と父の顔を見ることができなくなったのかと思うと涙がでてしかなかった。

○彼は失明した、もう二度と文字を読むことができなくなったのだ。気の毒でたまらない。

4. ....そうになる

○朝から曇っていたが、午後からいよいよ降りそうになってきた。

○生まれたときは假死状態だった弟が現代医学のおかげで、此の頃は普通の赤ちゃんのように健康そうになってきました。

5. せて、させて) あげる

○ 誕生を迎えた弟は歩きたがるが、まだ一人で歩けないのでひまな時は歩かせてあげます。

○日本語が上手になったら自由に放送させてあげましょう。

次の句を日本語に譯しなさい

1. もう二度と・・・ことができなくなる

由于中国人民革命的胜利，帝国主义者和蒋介石集团再也不能剥削和压迫中国人民了。

2. ....たくなる

谁都说『青春之歌』这个小说好，所以我也读一读。

3. たとえ.....でも

革命者应该有这样的决心，为了革命即使牺牲生命也在所不惜。(註：在所不惜＝おしまない)

4. しばらくすると

虽然熄灯了，大家还是热烈地互相谈论着，过了一会儿，也许是因为睡着了。室内鸦雀无声。(註：睡着了＝ねこむ。 鸦雀无声＝ひっそりしてしまった。)

## 第五課〔閲読〕

### 漁夫と魚の話

(詞匯)

小屋(こや)＝小房子

網を打つ(あみ)を(う)つ＝撤网打魚

砂(すな)＝

掛(かけ)る＝上网

藻＝海草、水草

不思議（ふしぎ）にも＝奇怪的是  
声を出す（こえ）を（だ）す＝发出声音  
どうか＝どうぞ  
放す（はなす）＝  
無事（ぶじ）に＝平安地  
やさしい（優しい）＝温和的（地）  
憤る（おこ）る＝恼火，生气  
ばか（馬鹿）＝傻瓜  
せめて（副）＝至少，至不济  
おけ（桶）＝  
こわれる（壊れる）＝坏，损坏。  
けんまく（剣幕）＝凶恶的脸色，凌厉的的态度  
すごすご＝无精打采地  
なぐ（風ぐ）＝风平浪静  
かわいそうだ＝可怜  
むちゃくちゃ（無茶苦茶）＝胡乱地  
どなりつける（怒鳴）り（付）ける＝嚷嚷，责怪  
はたして（果）して（副）＝果然  
曇（くも）る＝陰  
手（て）をつく＝伏地行礼  
元（もと）の＝原来的  
白煉瓦（しろれんが）＝白色的磚  
煙突（えんとつ）＝烟囱  
檜＝橡树  
白木（しらき）＝（不涂油漆的）白木头  
門構（もんがまえ）＝正門、大門  
どこまで（何処）まで＝始移  
貴族（きぞく）＝  
邸（やしき）＝公馆，宅邸  
毛皮（けがわ）＝皮（衣類）  
階段（かいだん）＝楼梯  
錦（にしき）＝缎子，织锦  
冠（かんむり）＝帽子  
真珠のたま（しんじゅのたま）＝珠子  
巻きつける（まきつける）＝围上  
指輪をはめる（ゆびわを嵌める）＝带戒指  
鞭を振る（むち）を（ふ）る＝  
召（め）し使（つか）い＝仆人  
牛小屋（うしこや）＝牛棚  
番人（ばんにん）＝看守人  
追いやる（お）いやる＝撵  
叱りつける（しか）りつける＝斥责

気（き）まま放題（ほうだい）＝随心所欲  
笑（わら）いもの＝笑柄，嘲笑的对象  
ちゃんと＝早已，果然，的确确实  
宮城（きゅうじょう）＝皇宫  
大臣（だいじん）＝  
取り巻く（と）り（ま）く＝围绕  
酒宴（しゅえん）＝  
……の最中（さいちゅう）＝正在……着  
斧（おの）＝  
番兵（べんぺい）＝卫兵  
ものものしい＝森严的（地）  
護衛する（ごえいする）＝卫兵  
平伏する（へいふくする）＝俯伏在地上  
御満足（ごまんぞく）＝  
顎（あご）＝下领  
顎をしゃくする＝  
合い図（あいず）をする＝指使，指挥，法令  
つまみ出（だ）す＝撵出去  
倦（あ）きる＝厌倦  
女王（じょうおう）＝  
家来（けらい）＝臣下  
怖ろしい（おそろしい）＝可怕的  
大嵐（おおあらし）＝强烈的暴风雨  
逆巻く（さかま）く＝倒捲  
怒涛（どとう）＝  
雷（かみなり）＝  
轟（とどろ）きわたる＝响得很远的地方都听得见  
尾（を）＝  
振る（ふる）＝摇摆，摇动  
底（そこ）＝  
消える（き）える＝消失，不见  
待ち（倦）あぐむ＝等膩  
闕（しきい）＝门槛

（文章）

むかし海のそばに爺さんと婆さんが住んでいました。三十三年のあいだ古い土の小屋の中で、爺さんは海へ出て魚をとり、婆さんは糸を紡いで暮らしていました。あるとき爺さんが網をうちますと、初めには、砂だけしか掛ってきませんでした。次には藻が掛って来ました。その次に掛ったのは珍しい金の魚でした。ところが、不思議にもその金の魚は人間の声を出して「お爺さん、どうか私を海へ放して下さい。その代わりお礼にはどんなよい物でもお望みの物を差し上げますから。」

と、そういいました。お爺さんは三十三年のあいだ漁夫をしていましたけれど、まだ魚

がものをいうのは聞いたことがなかったものですから、驚いて、「ああ、いいとも、お礼なんかいらないから、無事に広い青い海へ帰りなさい。」

と、やさしくそう言って放してやりました。

爺さんは、うちへ帰って婆さんにその話をしましたところが、婆さんはひどくおこって、「まあ、お前さんはなんというばかだね。なぜお礼を貰って来なかったんだ。せめて桶の一つも貰ってくればいいじゃないか。ちょうど桶がこわれているところなのに」

と、たいへんなけんまくでどなりつけました。

爺さんは、すすろ海のそばへ来てみますと、海はよく凪いでいました。金の魚を呼びますと、すぐ出てきました。

「お爺さん、何か御用ですか」

「ああ、金の魚さん、私をかわいそうだと思って下さい。婆さんが、むちゃくちゃにどなりつけるんです。うちの桶がこわれているので、新しいのがほしいというのです。」

「お爺さん、そんなことなら心配することはありませんよ。安心してお帰んなさい。新しい桶をあげますから。」

帰ってみますと、やはり婆さんの所に新しい桶がありました。ところが、お婆さんは前よりもっとおこって、「お前さんくらいばかはない。桶なんかもたってどうするんだね。もういっぺん金の魚の所へ行って、いえをつくれとおいい。」

爺さんはまた海のそばへきてみますと、海の上は曇っていました。すぐ金の魚が出てきて、いいました。

「爺さん、何か御用ですか」

爺さんは手をついて、

「金の魚さん、私をかわいそうだと思って下さい。婆さんが、まだおこっていて、家がほしいというんです。」

「お爺さん、心配することはありませんよ。お帰んなさい。おのぞみのおりにしますから。」

帰って見ますと、もう元の家はなくなって、その代わりに白い煉瓦の煙突檜の白木の門構えのついたたくさん部屋のある立派な家が違っていました。ところが、婆さんはまた、窓の下で爺さんにどなりつけました。

「どこまでお前さんはばかなんだね。家なんかつくってもらったってなんになるんだ。金の魚の所へ行って、そうおいい。百姓なんかいやだから、貴族になりたいって。」

爺さんが海のそばへ来ますと、海は静かでありませんでした。すぐ金の魚が出てきました。

「お爺さん、何か御用ですか」

「どうか私をかわいそうだと思って下さい。やっぱり婆さんがどなりつけるんです。百姓はいやだから、貴族になりたいというんです。」

「お爺さん、そんなことは心配することありませんよ。安心してお帰んなさい。」

帰ってみますともう立派な邸が出来ていて、婆さんは、毛皮の着物を着て、階段の上に立って、頭には錦の冠を頂き、首には真珠の玉を巻きつけ、指には金の指輪をはめ、足には赤い靴をはいて、鞭を振って召使いを使っていました。

「婆さん、今度はお前も満足したろう」

と、そういいますと、婆さんはおこってお爺さんを牛小屋の番人に追いやってしました。

それから七日たちますと、婆さんはまた爺さんと呼んでしかりつけました。

「行って金の魚にそうおいい。貴族なんかより、なんでも気ままほうだいにできる女王にな

りたいからって。」

爺さんは驚いて、

「婆さん、お前気がちがったのではないか。人の笑いものになるよ。」

と、いいましたが仕方がないので、また海のそばへ来ますと海の上はまっくらになっていました。すぐ金の魚が出てきました。

「お爺さん、何か御用ですか」

「どうぞ私をかわいそうだと思って下さい。婆さんはまたなんでも気ままほうだいにできる女王になりたいというんです。」

「心配することはありませんよ。お婆さんを女王にしてあげますから」

帰ってみますともうちゃんと宮城が出来て、婆さんは大臣や貴族に取り巻かれて酒宴の最中で、まわりには斧をかついだ番兵がものものしく護衛していました。爺さんはびっくり平伏して、

「女王さま、今度は御満足でございますか。」

と、いいますと、婆さんはただ顎をしやくって合図をしました。すぐ番兵が爺さんを外へつまみ出してしまいました。

それからまた七日たちました。婆さんは又も爺さん呼びにやりました。

「もういっぺんいって金の魚にそうおいしい、もう女王も飽きたから、今度は海の女王になりたいって、あの金魚が家来になるようにそうおいしい。」

爺さんはなんともいいようがありませんでした。海の上は恐ろしい大嵐で、逆巻く怒涛は雷のように轟きわたっていました。又金の魚が出て来ました。

「お爺さん、何か御用ですか」

「どうぞ私をかわいそうだと思って下さい。婆さんはまたなんとも仕様がありません。女王も飽きて、今度は海の女王になって、あなたを家来にしたいというんです。」

ところが、今度は金の魚はなんともいいませんでした。黙って尾を振って深い海のそこへ消えてしまいました。爺さんは待ちあぐんで家へ帰ってみますと、家は元の古い土の小屋になって、その闕のところで婆さんが泣いていました。婆さんの傍にはこわれた桶が一つあるきりでした。

## 第六課 不滅の兄弟的連帯——米帝国主義必ず打倒

広州製紙工場歓迎会における宮本団長のあいさつ

(五九年三月一七日アカハタ)

### (詞匯)

不滅 (ふめつ) = 不朽。

打倒 (だとう)。

製紙工場 (せいしこうじょう) = 造纸厂。

ふかめる (深める) = 加深。

見学する (けんがくする) = 参观。

おとずれる (訪れる) = 访问。

もてなし (持成し) = 款待招待。

感銘する (かんめいする) = 非常感动。

孫中山 (そんちゅうさん)。

広東省 (かんとんしょう)。

当面 (とんめん) = 当前。

見解 (けんかい)。

一致 (いっち) する。

かつ (且つ) = 并且。

共通 (きょうつう) = 共同。

連帯 (れんたい) = 连带, 团结。

確認する (かくにんする)。

鄭州 (ていしゅう)。

調印 (ちょういん) する = 签订。

共同声明 (きょうどうせいめい) = 联合声明。

文書 (ぶんしょ) = 文件。

断固 (だんこ) = 断然, 坚决。

半 (なか) ば占領 (せんりょう) する。

自国 (じこく) = 本国。

はげます (励ます) = 鼓励。

暴虐 (ぼうぎゃく) = 残暴。

立上 (たちあげ) る = 行动起来, 站起来, 投入。

罪悪 (さいあく)。

追随 (ついでい) する。

隣邦 (りんぼう)。

敵視 (てきし) する。

おかしな = 奇怪, 可笑。

ひとにぎり (一握) = 一小撮。

グループ = 集团。

結ぶ (ぶすぶ) = 缔结。

復活 (ふっかつ)。

いそぐ (急ぐ) = 急于, 忙于。

再び（ふたたび）＝再，又一次。  
導く（みちびく）＝引导。  
与党（よとう）＝与党，执政党。  
副総裁（ふくそさい）。  
合衆国（がしゅうこく）。  
恥知らずな（はじしらずな）＝恬不知耻的。  
放言（ほうげん）＝信口开河，叫嚣。  
事態（じたい）＝局势。  
とうてい＝无论如何。  
がまん（我慢）＝容忍。  
当然（とうぜん）。  
前進する（ぜんしんする）。  
総評（そうひょう）。  
統一行動（とうしつこうどう）。  
戦列（せんれつ）＝战斗的队伍。  
かためる（固める）＝巩固。  
結集（けっしゅう）する＝团结。  
奮闘する（ふんとうする）。  
右翼（うよく）。  
分裂策動（ぶんれつさくどう）＝分裂的阴谋。  
たえず（絶えず）＝不断。  
一定（いっぺい）。  
間もなく（まもなく）＝不久。  
決意（けつい）＝决心。  
最終的な（さしゅうてきな）＝最后的。  
してき（してき）する＝指出。  
圧する（あつする）＝压倒。  
めざす（目指す）＝把……作为目标，争取。  
敗北（はいぼく）。  
确实だ（かくじつだ）＝确实。  
租界（そかい）。  
いっそうする＝肃清。  
親善（しんぜん）。  
表明する（ひょうめいする）。  
信ずる（しんずる）＝相信。

（課文）

親愛な労働者のみなさん！

私たち日本共産党代表団にたいするあなた方の兄弟のような熱烈な歓迎に対して心から感謝します。

私たちは、日中人民の友情をふかめ、日中両国共産党の兄弟的団結をいっそう発展させ、又あなた方のすばらしい社会主義建設を見学するため、中華人民共和国をおとずれました。

私たちは訪問いらい、中国共産党と中国人民のあたたかいもてなしをうけ、非常に感銘しています。

そしてまた今日、私たちは偉大な中国革命の発展および偉大な孫中山先生や毛澤東同志らの斗争とふかく結びついた広東省と広州市をおとずれることができ、労働者のみなさんとうこうしてお会いできたことを非常によろこんでいます。

私たちは、毛澤東同志をはじめ中国共産党の指導者たちと会談して、多くのものをまなぶことができました。そしてまた、当面の諸問題についても日中両国共産党の見解が完全に一致しており、かつ共通の目標と共通の敵に対する斗争において、両党の兄弟的連帯が非常に強いものであることを確認しました。

三月三日、鄭州で調印された日中両国共産党の共同声明は、日中両国人民の友情と国際連帯の発展にとって、大きな歴史的意義をもつ文書であります。またそれはアメリカ帝国主義の侵略に対する日中両国人民の断固とした斗争の文書であります。アメリカ帝国主義に半ば占領された状態から自国を解放するためのたたかっているわが日本共産党と日本人民は、この共同声明によっていっそうはげまされ、いっそう大きな勇気をもってたたかいをすすめるでしょう。

今日、日本の労働者階級と人民は、アメリカ帝国主義および岸内閣を中心とする日本反動派の暴虐にたいして、広範な斗争に立ち上っています。ますます多くの大衆が、アメリカ帝国主義の日本にたいする支配こそ反動支配の罪悪のみなもとであることを強く感じるようになっていきます。そして、アメリカ帝国主義に追随している日本の反動勢力は、隣邦であり、歴史的に密接な関係にあるあなた方の中華人民共和国を敵視して、国交回復に反対しています。かれらは、おかしなことにひとにぎりの台湾の蒋介石グループのあいだに条約を結んで、これを中国を代表する政府だといっています。また日本の反動派は、軍国主義復活の道をいそぎ、日本人民を再び危険な侵略の道にみちびこうとしています。日本の政府与党の副総裁は、雑誌のうえで、朝鮮、台湾、日本をあわせた日本合衆国をつくるという恥しらずな放言をしています。このような事態にたいして日本の愛国民主勢力がとうていがまんができないのは当然であります。

この半年間、日本の愛国民主勢力のたたかいは前進しました。日本政府の中国敵視政策に反対し、日中国交回復をもとめる運動には日本共産党、日本社会党、総評その他の多くの労働組合、平和団体、民主団体が参加しています。この運動は、これらの団体の統一行動として、昨年秋ごろから、いっそう大きく前進しています。

日本共産党は、昨年七月の第七回大会いらい、党の戦列をかため、大衆のあいだの活動をつよめつつあります。そして、アメリカ帝国主義からの日本の独立の旗をたかくかかげ、平和、中立、民主、人民生活の向上のためにたたかっています。民族民主統一戦線にすべての愛国民主勢力を結集するために奮闘しています。右翼社会民主主義者の分裂策動がたえずあるにもかかわらず、私たちはアメリカ帝国主義と岸内閣に対する広範な人民の統一行動をつくるうえで一定の成果をおさめることができました。

私たち代表団体も、問もなく東京にかえりますか、私たちは今後ともこれらの斗争をいっそう発展させるため奮闘する決意であります。

みなさん、中日両国人民と両国兄弟党は、共同の敵にたいする斗争で最終的かつ全面的な勝利をおさめるでありましょう。両党の共同声明も指摘しているように、すでに東風が西風を圧しています。平和、民族解放、社会進歩をめざす各国人民の側に最終的に全面的勝利がおとずれることは、帝国主義者の敗北とともに確実であります。

私たち日本共産党は、どのようなことがあろうとも、すべての愛国民主勢力を結集してたたかいつづけるであります。

あなた方中国人民が外国帝国主義者の租界をあなた方の領土から一掃したとおなじように、わが日本からアメリカ帝国主義者の支配と軍事基地を一掃するであります。諸民族と友好親善関係を持つ独立、民主、平和、中立の国家としてわが国を建設するであります。この道を実に通ってこそ、わが国の労働者階級と人民は、社会主義による最後の解放へすすむことができるのです。

最後に、つぎのことを表明させていただきます。私たちは、あなた方の社会主義建設の事業が今後とも大きな成功をつづけることを心からねがい、かつ信じています。そして私たちは日本にかえってのち、日本人民にあなた方の建設の成功と日本共産党と日本人民に対する深い友情をかならずつたえるであります。

(句型の例句)

1. がまん

○アメリカは一九五〇年六月以来台湾を武力で占領している。その上台湾海峡の緊張した情勢はアメリカがつくり出したものである。こういう状況にわれわれががまんできないのは当然ではないか。

○解放前、私は徒弟をしていた。親方が私のあやまちをひどく責め立てるので、がまんできなくなって親方の家をとび出してしまった。

2. ……になる

○同志の関係になる私達は、親しい間柄であり、もっとも信頼すべき間柄である。

○社会主義社会は共産主義社会の第一段階である。この段階になる人民公社の分配は「各人は能力に応じて働き、労働に応じて分配をうける」原則になっている。

3. ……にもかかわらず

○今度の地方選挙では、反動派の妨害があったにもかかわらず日本共産党は、議席数と得票数において前進を示した。

○河北は今年ひどい水害に見舞われた。それにもかかわらず各人民公社は今年の生産目標を完成することができた。

4. どのようなことがあっても

○共産党員はどのようなことがあっても党の規約と規律をかたく守らなければならない。

○日本の労働者たちは、どのようなことがあっても、日米『安保条約』改定を阻止し、廃棄しなければならないと闘っている。

5. うえで

○生産を発展させる上で人民公社は農業生産協同組合をはるかにしのいでいる。

○日本語を勉強するうえで困難なことがあったら先生に率直に話しではやく解決した方がよい。

6. ……による

○社会主義陣營の協力と団結、ならびにその一貫した平和政策は帝国主義の武力によるおどかしと、戦争の準備を食い止めて世界の平和を守る力となっている。

○アメリカによる日本の支配はさまざまな形で行われている。サンフランシスコ講和条約、日米安保条約、行政協定などがその中となっている。

7. . . . . させてもらう

○光栄ある建国十周年の大会に参加させてもらい心からお礼申し上げます。

○中国共産党の全党员と中国人民を代表し皆さんの党大会に熱烈な兄弟の挨拶をのべさせてもらいます。

### (练习)

造 句：

1. とうてい
2. たえず
3. . . . . にある
4. . . . . にもかかわらず
5. どのようなことがあっても
6. . . . . によって . . . . . され
7. . . . . うえで
8. . . . . による
9. . . . . させてもらう
10. . . . . をあわせた (て)
- 11.

次の短句を中国語にやくしなさい。

1. アメリカ帝国主義者の社会主義国家を轉覆しようという妄想はとうてい実現できないことである。
2. 帝国主義とその手先は社会主義建設の総路線と大躍進と人民公社にあくらつな中傷と攻撃をくわえました。しかし、彼らの恥しらずな陰謀はもうみごとにうちくだかれました。
3. 中国人民は決して岸政府の二つの中国をつくる陰謀をがまんすることができない。
4. わが国は十年来、平和、民主、人類の進歩をめざす斗争のなかで大きな役割を果たしました。
5. わがくにの社会主義革命と社会主義建設が勝利できるのは、国内的には党の指導と全国人民の団結、国際的には、ソ連を始めとする社会主義陣營と各国人民の援助によるものである。
6. 総路線の輝かしい光のもとに、中国人民は十年あまりの時間で主な工業製品の生産量の面でイギリスに追いつき追いこすであろう。
7. 中国は社会主義国の大国として、国際政治舞台で、ますます主要な役割を果たしている。
8. 知識は社会主義国であろうと資本主義国であろうと、生産斗争による知識と階級斗争による知識の二通りしかない。
9. 十三陵ダムをおとずれ人は、誰一人としてこの工事の偉大さに感激しないものはない。

次の短句を日本語に譯しなさい。

1. 向秀丽为了保护国家财产而牺牲了生命但是她的名字将和无数革命烈士一起永垂不朽。

2. 訪問人民公社的時候受到了农民的款待，我們不能不表示感謝。
3. 在中国建成社会主义社会是光荣而艰巨的任务。
4. 中国民主革命的胜利把中国人民从三大敌人的压迫与剥削中解放出来。
5. 他們夫婦二人都在北京大学工作，而且被选为先进工作者。
6. 請允許我代表学生致以新年的祝賀，祝先生們身体健康。

( 閱 読 )

適視政策の陰謀つづく

( 詞 匯 )

日華事変 ( にっ・か・じ・へん )

ひきつづく =

償 ( つぐな ) いきれないほど = 几乎偿还不起。

おかす = 犯，侵犯，进攻

隣邦 ( りん・ぼう ) =

耳 ( みみ ) をかさない = 不听，不理

それどころではなく = そればかりでなく

内閣調査室 ( ない・かく・ちょう・さ・しつ )

公安調査庁 ( こう・あん・ちょう・さ・ちょう )

共同通信 ( きょう・どう・つう・しん )

朝日新聞 ( あさ・ひ・しん・ぶん )

軍事施設 ( ぐん・じ・し・せつ )

スパイ =

強要 ( きょう・よう ) する =

暴露 ( ばく・ろ ) する =

ぶちこわし =

一派 ( いっ・ぱ ) =

妨害 ( ぼう・がい ) =

……を口実 ( こう・じつ ) にする = 借口，以为 口实

しぶる =

あげく = ……結果

ようやく =

民間通商代表部 ( みん・かん・つう・しょう・だい・ひょう・ぶ ) =

認める =

侮辱 ( ぶ・じょく ) = する

条件 ( じょう・けん ) をつける = 附帯……条件

背景 ( はい・けい ) =

当然 ( とう・ぜん ) =

公然 ( こう・ぜん ) =

残虐 ( ざん・ぎゃく ) =

なまなましい =

抗議 ( こう・ぎ ) する =

あとをたつ = 絶迹

強調（きょう・ちょう）する＝  
説得（せつ・とく）につとめる＝努力去説服  
お月（つき）さまとスッポンのちがいだ＝天淵之別  
せっかく＝  
大陸反攻（たい・りく・はん・こう）＝  
国連復帰（こく・れん・ふっ・き）＝  
攻撃目標（こう・げき・もく・ひょう）＝  
したてる＝准备  
する＝企图  
中断（ちゅう・だん）＝  
くりかえす＝  
言論（げん・ろん）＝  
停止（てい・し）する＝  
主張（しゅ・ちょう）＝  
『誤解』（ごかい）のとける＝消除误会  
静観（せい・かん）する＝  
あたる＝  
非難（ひ・なん）する＝  
迎合（げい・ごう）する＝  
自主制（じ・しゅ・せい）＝  
失（うしな）う＝  
きめつける＝  
けっして……ない＝决不……  
かげにかくれる＝藏起来，藏在背后  
改定（かい・てい）する＝  
核武装化（かく・ぶ・そう・か）＝  
訪中（ほう・ちゅう）する  
宮本（みや・もと）＝  
指摘（し・てき）する＝  
ことなしに＝ことをしないで、如果不……  
打開（だ・かい）＝  
もとより＝  
いままでになく＝前所未有的，空前  
あり方（あり・かた）＝  
容易（よう・い）＝

〔文 章〕

戦後十三年たつが、いまだに日本と中国との国交は回復されていない。日華事変からひきつづいて太平洋戦争にいたるまで、日本は中国に償いきれないほどの罪悪をおかしてきた。日本国民は、二千年来の隣邦である中国との国交回復を要求している。しかし、岸内閣はこの国民の要求に耳をかさない。いやそれどころではなく、中国を敵視する政策を一貫してとっている。最近では、内閣調査室と公安調査庁が、中国を訪問した共同通信や朝

日新聞などの記者にたいし、中国の軍事施設を中心とするスパイを強要した事実まで暴露されている。

岸内閣の中国敵視政策が国民のまえにハッキリあらわれたのは、昨年三月五日に調印された第四次日中貿易協定ぶちこわしだ。岸内閣は蒋介石の妨害を口実にして、協定に対する同意をしぶったあげく、一ヶ月以上たって四月九日ようやく同意をあたえたが、それには「中共のいわゆる国旗を民間通商代表部がかかげることを権利として認めない」と、協定そのものをふみにじり、中国を侮辱する条件をつけた。長崎国旗事件は、こうした岸内閣の中国侮辱を背景として当然おこるべきものとしておこったのだ。一方、これよりさきにひらかれた武漢、広州日本商品展覧会の会場には、日本国旗が公然とかかげられ、日本軍の残虐な侵略行為のなまなましい記憶から、これに抗議する人びとがあとをたたなかつたのにたいし、中国の関係者たちは、日中友好の意義を強調して説得につとめた。この中国の態度と岸内閣の態度とをくらべると、お月さまとスッポンのちがいだ。

こうして岸内閣はせつかく日中両国人民がきずきあげた貿易や文化交流のルートをぶちこわしたあと、アメリカ帝国主義と結んで大陸反攻を呼ぶ台湾の蒋介石を支持し、中国の国連復帰を妨害し、日本を中国、ソ連を攻撃目標とする原子戦争の基地にしたてようとしているのである。

中国側は「日中関係中断の責任は、中国敵視政策をとっている岸内閣政府にある」とくりかえし説明し、日中関係打開のためには、日本政府は、①ただちに中国を敵視する言論と行動を停止し、ふたたびくりかえさないと、②「二つの中国」をつくる陰謀を停止すること、③日中両国の正常関係の回復を妨げないこと、という原則に基づいて公然とその態度を改め、この政策の実行を保証することが必要であると主張している。これにたいして、岸内閣は一貫して「中国側の『誤解』のとけるまで敵視する」という態度をとり、そのうえ、こんどの選挙にあたって、『中国の高圧的態度』を非難し、「社会党は中国に迎合して自主性を失っており、社会党こそ日中関係中断の責任者だ。」ときめつける態度さえとっている。

岸内閣と自民党の日中関係『静観』の政策は、けっしてただの『静観』ではない。それは、『静観』というかげにかくれて、反共反中国宣傳を徹底的につよめながら、日米安保条約を改定して日本の核武装化をすすめる政策なのだ。

さきごろ訪中した宮本共産党中央委員会書記長が参加して発表した日中両国共産党の共同声明が指摘しているように、このような岸内閣をたすけて日本核武装化をおしすすめているアメリカ帝国主義は、日中両国人民の共同の敵である。これとたたかうことなしに中日関係の打開の道はひらかれない。このたたかいはもとよりけっして容易ではない。しかし、日中関係のあり方について、今までになく広範囲の日本人民が正しい理解をもちはじめ、いまこそ、岸内閣、自民党のこうした中国敵視政策をうちやぶるときである。

## 第七課 文章を正確にいきいきと書くために

郭沫若氏の談話

### (詞匯)

- いきいき (生き生き) = 生动。  
総合 (そうごう)。  
連合会 (れんごうかい)。  
郭沫若 (かく・まつ・じゃく)。  
新観察 (しんかんさつ)。  
編集部 (へんしゅうぶ) = 编辑部。  
求めに应じて (もとめにおうじて) = 应……的要求。  
同誌 (どうし) = 该杂志。  
要旨 (ようし) = 主要大意。  
所載 (しょさい)。  
要約 (ようやく) = 缩写。  
都合 (つごう) = 情况, 关系。  
一部 (いちぶ)。  
あらためる (改める、他下一) = 改正。  
根本 (こんぶん) = 骨干。  
わかりやすい (分かり安い) = 清楚易懂。  
相当 (そうとう) = 相当的, 一决的。  
自体 (じたい) = 本身。  
技巧 (ぎこう)。  
論理 (ろんり)。  
いいあらわす (云い表す) = 表达。  
そのまま (その儘) = 如实地, 照样地。  
ありあり = 清楚地。  
目に浮かぶ (めにうかぶ) = 出现在目前。  
誠実 (せいじつ)。  
苦心 (くしん) する。  
かざる (飾る、他五) = 修饰。  
ふだん (普段) = 平常。  
却って (かえって) = 反而。  
まずい (不味い) = 拙。  
ひけつ (秘訣)。  
好む (このむ) = 爱好。  
ならべたてる (並べ立てる、他下一) = 堆砌。  
胡風 (こふう)。  
冯雪峰 (ひょうせつほう)。  
構成 (こうせい)。  
法則 (ほうそく)。  
常用 (じょうよう)。

あいめい（曖昧）＝模稜两可。  
とれる（取れる）＝理解。  
段落（だんらく）。  
節（せつ）。  
力強い（ちからつよい）＝有力。  
唯物弁証法（ゆいぶつべんしょうほう）。  
まとまる（纏まる、自五）＝系統。  
ばらばら＝分散，不联系。  
関連（かんれん）＝联系。  
本質（ほんしつ）。  
適當（てきとう）。  
表現（ひょうげん）。  
枠（わく）＝范畴，框框。  
ぬけだす（抜け出す、他五）＝脱离。  
一定（いってい）。  
決定する（けつていする）。  
用具（ようぐ）。  
ぴったり＝完全（一致）。  
一致する（いっちする）。  
親しみやすい＝（平易）近人。  
形象化（けいしょうか）する。  
俗（ぞく）にいう＝俗语说。  
深入浅出（しんにゆうせんしゅつ）。  
つつこんで（突っ込んで）。  
人となり（ひとと成り）＝为人。  
まして（況して）＝何况。  
削る（けずる、他五）＝剪裁。  
あってもなくてもよい＝可有可无。  
価値（かち）。  
きまる（決まる、自五）＝決定。  
万里の長城（ばんりのちょうじょう）。  
圧倒（あつとう）する。  
だらだら＝冗长。  
一種の（いっしゅの）。  
犯罪行為（はんざいこうい）。  
浪費する（ろうひする、他サ）。  
植字工（しょくじこう）＝排字工人。  
損失（そんしつ）。  
簡潔（かんけつ）。  
むだをはぶく（無駄を省く）＝省。  
どうしても＝总是，非……不可。

〔句型の例句〕

1. 単に・・・・・・ではなくて  
○話というのは単に言語の問題ではなくてその人の政治性、思想性をもあらわしている。
2. 必ずしも・・・・・・ない  
○仕事をはやく完成するのが必ずしもよいとはいえない。なぜなら、その仕事の質が悪ければ、国家の要求を満たしたことになるからである。  
○文学作品の言葉は、まず第一に人民大衆のことばでなければならぬ。しかし、必ずしも地方語をやたらにとり入れる必要はない。
- 3.・・・・・・ことはいうまでもない  
○どんな文芸作品も、一定の社会生活が人間の頭脳に反映して生み出されたものであることはいうまでのない。その文芸作品がまた逆に生活と生産斗争を推しすすめる役割を果たしている。  
○現在、中国では全国的な一大水利建設運動がくりひろげられている。これは人民大衆の中にある力と中国共産党の正しい指導が結合してすすめられていることはいうまでもない。
- 4.・・・・・・は別として  
○×月×日から密雲へ労働に行くことが発表されました。東語系では、老人とからだの弱い人は別として全員行くと張り切っています。  
○教育と生産労働を結びつけるというプロレタリアートの教育方針はごく一部の右派分子は別として全人民から擁護された。
- 5.・・・・すべきものは・・・・し、・・・・すべきものは・・・・しなければならない  
○科学研究をする場合多くの本を讀まなければならないがメモすべきものはメモし、整理すべきものは次々に整理しなければならない  
○資本主義国の技術でも、わが国のいろいろな状況を考え利用すべきものは利用し、とりのぞくべきものはとりのぞかなければならぬ。

次の短句を日本語に譯しなさい。

1. 最近农业部首长将要应学校的邀请来校作报告。
2. 他經常晚起（註：ねぼうする），并且不想改变这个坏习惯。
3. 由于党的教育和大跃进的事实，我們拜托了迷信，保守的思想
4. 我們初步学习了八中全会的决议，但是还有必要更深入地联系袭击的思想来学习。
5. 面人儿（註：シンコ細工）是中国民間艺术之一。到了面人艺人（註：シンコ細工師）的灵巧的（註：器用な）手里，立刻从色彩鲜艳（註：色とりどりの）的里面，产生了各式各样的人物，花鸟，动物。
6. 因为你很忙，是否可以去掉一些可做可不做的工作。
7. 如果很好的参加体力劳动不仅可以养成劳动的习惯也有助于（有利于）培养共产主义思想。
8. 我們人民只要高举总路綫和毛澤东的紅旗，就能不断跃进。
9. 你身体很弱，参加劳动的时候最好别过分。

次の短句を中国語に譯しなさい。

1. 彼はごはんをたべてから、静かな校庭で散歩することをこのむ。

- 2、張さんは中学時代、私と一番仲のいい友達だった。わかれてから、もう二年になるが、彼を思い出すたびに彼のほがらかな顔がありありと私の目にうかんでくる。
- 3、全国大躍進の教育によって、彼はいままでのだらだらしたやり方を改めて大いに意気こんで前進している。
- 4、長い間、彼と一緒に生活していたので、彼の人となりをよく知っている。彼はどんな困難にぶつかっても頭を下げない人だ。
- 5、私たちは日本語をならってからもう一年半になるが、一般的な文章なら、讀めるようになりました、けれども文学作品ともなれば、もっと高度の理論とこうはん知識がなければなりません。
- 6、体をよくするためには、まず、十分な睡眠をとり、栄養にとんでいる食物をたべ、適当な体育活動に参加するようにしなければならない。
- 7、この頃は、おとしよりでさえ、たちおくれぬように努力している。まして、若い人が、馬力をかけてすすむのは当然である。
- 8、密雲ダム現場では、機械をつかっているから、十三陵ダムの建設の時にくらべ、多くの労力をはぶくことができた。

#### 〔閲 読〕            口 語 に つ い て

……ところに＝正在……的时候

姚淑華（よう・しゅく・か）。

ちょうどいいところに来てくださいました＝你来得正好。

評判（ひょう・ばん）＝

秘訣（ひけつ）＝

おちつく＝

なるだけ＝

自然（し・せん）＝

できるだけ＝

自信（じ・しん）＝

それで＝

……うとする＝想……

ことがら（事柄）＝事件，事項。

ごまかす＝

じゃまにまる＝

組（く）み立てかた＝

間（ま）のおきかた＝

声（こえ）をだす＝

なるほど＝

心（こころ）がけ＝

順序（じゅん・じょ）＝

すらすら＝

……方がいい＝……最好

なくなってしまう＝

……ようです＝似乎是……

尊重（そん・ちょう）する＝  
うけいれる＝  
なれる＝  
ぶつつかる＝  
書（か）きとめる＝  
とにかく＝  
たゆまぬ＝不倦的

新しい学期が始まるので、学生たちはそれぞれ今後の勉強の方針や方法について考えています。今日もそのことで呉平さんと郝維新さんが話しあっているところに、四年生の姚淑華さんがやってきました。

姚：こんにちは！

呉：いらっしゃい！

姚：なにを話していたんです？

呉：日本語の口語のことを話していたんです。

郝：ちょうどいいところに来てくださいました。あなたは発音もきれいだし、調子もいい、日本語科でもいちばんうまいという評判です。何か秘訣があったら聞かせてください。

姚：秘訣なんてありませんよ。ただ、わたしはふだんから先生の話しかたに注意しています。言葉のえらびかたや組みたてかたはもちろん、話の調子や間のおきかたにも気をつけています。そして、あとでそれを思いだしながら、声をだして練習するのです。

呉：なるほど、そういう心がけが必要なんですね。

郝：話すときはどうなんですか？

姚：まず話の順序を考えて、言葉をえらび文章を組みたてます。これはひじょうに短い時間にやるのです。それから、おちついて、なるだけ自然に話します。また、できるだけ自信をもって、はっきり話すようにしています。

呉：つまり、自然に、しかもはっきり話すのですね。それであなたの話のわかりやすいわけがわかりました。

郝：わたしは自分の口語に自信が持てないばかりでなく、話そうとすることがらにも自信が持てないことがあります。それで大きな声で話せないし、おしまいの方をごまかしてしまうのです。

姚：まちがいはしないかと心配ばかりしては、口語はうまくなりません。勇敢にどんどん話すことが大切です。まちがった恥ずかしいという気持ちは、会話の勉強のじゃまになります。

呉：わたしは、言葉や文章を考えているうちに、だんだんむずかしくなり、すらすらと話せません。

郝：そう、呉さんの話はむずかしいね。

姚：正確に話すことは必要ですが、はじめからうまく話そうとすると、すらすら話せません。また、相手にもわかりにくくなります。やさしい言葉と簡単な文章で、どんどん話した方がいいと思います。

郝：わたしは話すのもへたですが、聞くのはもっとへたです。話のなかにしらない言葉がでてきて、それを考えているうちに、あとがわからなくなってしまいます。

姚：多くの人が、話すことより聞く方がやさしいと考えているようです。しかし、会話の

程度がすすむにつれて、聞くことがむずかしくなってきます。それは、自分で話すときは、自分の使いやすい言葉と話し方で話せばいいのですが、ほかの人はそれぞれその人の使いやすい言葉や話し方を持っているからです。

呉：たしかにそうでしょうね。しかし、あまりそれを強調すると、おたがいにはなせなくなるのではないのでしょうか。

姚：だからまず相手の立場や考え方、気持ちなどを理解することが大切です。こちらから話すときも、相手の考えや気持ちを十分尊重しなければなりません。そうすれば相手はこちらの話がうけ入れやすくなるのです。

呉：相手の話をよく聞かないで、自分のいいたいことばかりをいおうとすると、相手の話もわからないし、こちらの話もわかってもらえなくなりますね。

郝：わたしは日本語を話すときも聞くときも、一度国語で考えてからやります。だから、時間がかかるし、後が続かないのです。

姚：それは国語だから、はじめは仕方がないと思います。だけど、なれるとその時間がだんだん短くなります。そして、しまいには、直接日本語で考え、直接日本語ではなせるようになりますよ。

郝：やはり、くりかえしで練習し、どんどん話さなければうまくならないんですね。

呉：そのほかに、なにか大切なことはありませんか。

姚：そうですね。わたしは、まず、よく本や新聞や雑誌を讀んで、話の材料を豊富にすることが必要だと思います。それから、人の話を聞いたり、本を讀んだりして、新しい言葉にぶつかったら、書きとめておくことです。そのほか、単語を覚えるだけでなく、よく出てくる句は、国語と比較してはっきり覚えておきます、こうすれば、話し方や文章がただしくゆたかになります。

呉：とにかく、たゆまぬ努力が大切なんですね。

## 第八課 中国で感激したこと

アンナ・ルイズ・ストロング

### (詞 汇) 設立

設立 (せつりつ) = 成立。

心をひかれる = 吸引人, 引人注意 (感兴趣)。

在来の炉 = 旧式 (土产) 炼铁炉。

鄭州 (ていしゅう)。

校庭 (こうてい) = 校園。

ハンマー (hammer) = 铁槌

石灰岩 (せっかいがん)。

炉口 (ろぐち)。

デレッキ =

溶けた (とけた) = 溶化了的。

かきまわす (掻回す、他五) = 搅拌。

地面 (じめん) =

膝をつく (ひざをつく) = 跪下。

転炉 (てんろ) =

傾けた (かたむける、他下一) = 倾, 歪。

湯 (ゆ) = 鉄の湯 = 鉄汁。

いくらか (幾らか) = 多少地, 有些 (点)。

有益 (ゆうえき) =

人力 (じんりょく)。

ついやす (費やす、他五) = 花费。

上昇 (じょうしょう)。

ありとあらゆる = 所有一切 (的)。

津々浦々 (つづうらうら) = 全国各个角落。(各地)。

不足 (ふそく) =

うったえる (訴える) = 喊, 叫喊。

多忙 (たぼう) = 忙碌。

やりくりする (遣繰する) = 安排。

すてる (棄てる) =

仲間入りをする (なかまいりをする) = 参加。

年齢 (ねんれい)。

炊事係 (すいじがかり) = 炊事科。

班長 (はんちょう)。

カマド (竈) = 灶, 炉灶。

屑鉄割り (くずてつわり) = 砸废铁。

攪拌 (かくはん)。

ひとつおり (一通り) = 大概 (的)。

作業 (さぎょう) = 工作。

手を出す (てをだす) = 做, 着手做。

ゆるす (許す、他五) = 允许。

槌（つち）。  
想像（そうぞう）。  
薄い（うすい）＝  
鉄片（てっぺん）  
あずかり知る＝参与，插手。  
たしか（確か）＝的确。  
こす（越す、自五）＝超过。  
扉（とびら）＝門。  
遮光眼鏡（しゃこうめがね）。  
鉾滓（こうし）（こうさい）。  
白熱（はくねつ）。  
透明体（とうめいたい）。  
なす（基礎をなす）＝（成为）构成基础。  
鋏（はさみ）＝  
木槌（きずち）。  
塊（かたまり）。  
燃える（もえる、自下一）。  
浸ける（つける、他下）＝浸。  
鋼（はがね）。  
かたわら（傍）。  
鋼塊（こうてつ）。  
推しやる（おしやる、他五）＝推开。  
熱量（ねつりょう）。  
あらたに（新たに）＝重新。  
見直す（みなおす、他五）＝重新看，（认识）。  
とうとう（到頭）＝终于。  
そこそこ＝左右。  
年産高（ねんさんだか）＝年产量。  
月産高（げっさんだか）＝月产量。  
レベル（lever）＝水平。

#### （文章）

わたしは中国に来てから、とくに二つの大衆運動——製鋼運動と人民公社設立運動に心をひかれました。

わたしが中国在来の炉で鋼鉄をつくっているのをはじめて見たのは鄭州でした。大学の校庭で、男女の学生たちがハンマーで鉄や石灰を割ったり、小さな炉口からデレツキで溶けた鉄をかきまわしたりしていました。みんな地面に膝をついたり、腹ばいになったり、見たところ大変不自由な姿勢です。少し離れたところに転炉がありましたが、この方は傾けて鉄の湯を出せるので、いくらかよいようでした。そこからさらに先にゆくと、小さな、けれどわりに近代的な炉ができていました。こうした物から、わたしが最初にうけた印象は、これは学生教育には有益かも知れない。が、鋼鉄製さんという点からいうなら何の役にも立つまい。おおくの人力と時間をついやしながら、鋼鉄はいくらもできはしない

のだから、ということでした。

ところが数週間たって、鋼鉄と鉄の生産量を示す数字が上昇し、そしてありとあらゆる種類の炉が全国の津々浦々にできてゆくのをみるようになると、わたしは、中国はこうした方法で相当数量の鉄と鋼鉄をつくりだすことができるかも知れない、と考えはじめました。けれども、わたしはやはり、こうした方法では労働力がたいへんな浪費になる。中国がこうした方法をとれるというのも、つまりは失業者が沢山いるためだろう、と考えていました。ところがあとになって、私は、いたるところで労働力の不足をうったえ、また、もつとも多忙な人たちまでが時間をやりくりして製鋼に参加しているのを知り、この考えもすててしまいました。

まもなく、わたしは自分でも製鋼の仲間入りをしたくなりました。けれど、はじめのうちは、誰もうんといってくれません。ひとつにはわたしの年齢のため、もうひとつはわたしが「お客さん」であるためだったのでしょう。それでも最後には、わたしの友人のある心理学の教授が同意してくれました。彼女は心理学研究所の構内で自分が製鋼に出る日に、いっしょに出たらよいといってくれました。その日は研究所の炊事係の人が製鋼班長でした。というのは、「ほかのものよりかまどのことをよく知っている」からです。班長さんは、わたしが屑鉄割り、石灰岩割り、熔鉄の攪拌など、ひととおりの作業に手をだすことをゆるしてくれましたが、どの作業もあまり長い間続けることはゆるしてくれませんでした。この日の労働はどんなに愉快だったことか、そしてわたしは、いろんなことを学びました。

まず、わたしは槌で屑鉄を割ることが、今まで想像していた以上にやさしいことを知りました。ただし、わたしが割るようにいわれたのが、いちばん薄い鉄片だったことはたしかです。それから、石灰岩は、七十をこしたお婆さんにでも割れることがわかりました。しかし、なんといってもいちばん大きな収穫は、鋼鉄というものが、実に簡単なもので、何も大工業家でなければあずかり知ることのできぬような神秘的なものではない。ということを知ったことでした。

わたしたちの原始的な炉の口には扉がついていないので、みんなはわたしに遮光眼鏡をかけて熔鉄の攪拌作業をし、そして火のなかで熔鉄がどんな風が変わってゆくかをよく見るようにいいました。鉍滓が流れ出ると、白熱した透明体が炉の中にのこりました。それが鋼鉄——近代世界の基礎をなす鋼鉄でした。まもなく、鉄の鋏でその白熱した透明体がひき出されると、婦人たちがそれを木槌で叩いて塊にしました。木槌が燃えると水に浸けてまた叩きます。白熱した鋼が、やがて赤くなり、灰色になると、木槌でそれをかたわらの鋼塊の山の方へ押しやります。

いってみればこんな簡単なことなのですが、そこから、鉄、木、水、熱量と人間との関係があらたに見直されるようになります。つまり、「六億の中国人民が製鋼をやっている。製鋼はどこでももう神秘的なものではなくなっている」ということです。

そしてとうとう十一月にはいると、製鋼運動は、わずか二ヶ月そこそこで、中国の鋼鉄生産量を——もちろんまだ年産高においてではなく、月産高においてですが——イギリスのレベルにまで高めたことがはっきりしてきました。

(句型の例句)

1. いくらかよいようでした。

○今日午後から朱さんの見舞いに行つて来ましたが、このまえよりいくらかよいようで

した。

○今、学生たちの翻譯ノートを見終わったところです、全体としては、大体、前回と変わりありませんが、二、三の人はこの前よりいくらかよいようでした。

2. いくらも（でき）はしない

○宿題に対して「練習問題がむずかしすぎて、一時間にいくらもできはしない。」という皆の意見です。

○私は学生たちの生活をみていい「あんなに忙しければいくら頑張っても課外閲読の方はいくらも讀めはしないだろう。」と書いていたところ、学生たちはひとりのこらず全部讀んでいました。

3. うんといってくれません

○長い間の病気もどうやらよくなったので、お医者さんに半日だけ仕事をするのを申し出たのですが、うんといってくれません。

○解放前、老三は作男をしていました。母が病気なので一日仕事を休ませてくださると願っても地主は、うんといってくれませんでした。

4. . . . . したらよい

○封建的な祖母は恋愛に反対していましたが、新しい婚姻法が発表されてからは「すきなようにしたらよい」というようになりました。

○小刘は八才のとき父について紅軍に参加したいと願ったのですが、許してもらえませんでした。けれども、小刘は紅軍の隊伍のうしろについてどこまでも歩いていきましたので「ついてこられるなら、ついてきたらよい。」といわれました。

5. . . . . 以上に

○はじめて労働に参加した私は、労働するにはどんなに協力が必要か、それから考えていた以上に愉快だということを知りました。

○もともと健康に無関心な殷さんは、今度の身体検査の結果想像以上に視力の弱っていることを知りびっくりしています。

6. . . . . ようにいわれた

○先生から語学を勉強する人は毎日どんなに忙しくても時間をみつけて復習するようにといわれたのですが、実行しなかったのでよい成績を上げることができません。

○胸が悪くて病院に行った時、お医者さんから規律ある生活をするようにといわれました。

7. なんといっても

○中国はいろいろな面ですばらしい発展をとげています。とくに社会主義建設のために喜々として働いている人達の顔がどこにいてもみられました。これがなんといっても一番深い印象でした。

○蒋介石とその支持者たちはいま、アメリカの「強大さ」でもって中国人民をおどしています。だがなんといってもアメリカの反動派はハリコの虎であることが誰の目にもあきらかになってきました。

8. . . . . でなければ . . . . . ことができない

○新中国では知識人でなければ工場長になることができないという考え方はもう、とっくになくなってしまいました。

○青年であり、金もちでなければ大学へ進むことができない時代はすぎ去りました。

9. なんにも . . . . . ものではない

○マルクス・レーニン主義の科学というのはなにもむずかしいものではない。だが、これを身につけるといことは、そう簡単にできるものではない。

○アメリカ帝国主義はなにもおそろしいものではない。うわべは強そうに見えるが中身はからっぽである。それで私達はハリコの虎とよんでいる。

#### 10. いってみれば

○中国の小説の民族的な傳統についてみれば物語や筋が生々とかかれており、たいていの場合登場人物の行動や会話を通じて人物の性格や思想感情が表現される点にある。

○階級斗争=ある階級が勝利し、ある階級が消滅する。いってみればこれがすなわち歴史であり、この観点から歴史を解釋するのを史的唯物論というのである。

### (練習)

#### 造句:

1. 見たところ
2. わりに
3. ひととおり
4. かたわら
5. いくらかよいようでした
6. いくらもできはしない
7. . . . . . ようにいわれた
8. なんととっても
9. . . . . . でなければ . . . . . ことができない
10. なにも . . . . . ものではない

次の短句を中国語に譯しなさい。

1. 北京大学の東南方に物理楼ができかけていますが、あそこで授業を始めるようになあるのは、おそらく来年になるでしょう。
2. 彼は仕事がどんなに忙しくても忙しいとさわがずに、うまく時間をやりくりして、学習もすれば、鍛錬もし、休息もとれば観劇にも行く。
3. 楊さんは文学が好きです。クラスメートたちが政治学習をするようにと参考文件を貸してやっても、それをおしゃって小説ばかり読んでいて、政治学習の討論の時は少しも発言しないので皆から批判されました。
4. 今年農村では、ひどい災害にみまわれたが、やはり大豊作をかちとりました。これは人民公社がどんなにすばらしいかを説明している。
5. 等の総路線を貫徹するには、ありとあらゆる積極的な要素を動員し、団結できるすべての人と団結するようにしなければならない。

次の短句を日本語に譯しなさい。

- ① 馬克思写「資本論」花费了畢生的時間 and 精力。
- ② 母親一看見在自己身旁睡得很熟的孩子的可愛的小臉儿，什么辛苦都会忘掉。（註：睡得很熟=すやすやとねている）
- ③ 虽然先生說你們最好經常通过赤旗报和人民日报学习日本问题，可是没有时间很难做到。
- ④ 密云水库的规模比我们想象的还要大，我们已能在这个伟大的工程中贡献出自己的力量

感到最大的光荣。

- ⑤ 走过天安门广场的时候我的心被耸立在那里的雄伟壮丽的人民大会堂和历史博物馆建筑所吸引。（註：雄伟壮丽＝雄大で壮麗な）
- ⑥ 在昨天的会议上我和他展开了热烈的辩论，谁也不服谁的意见。后来我冷静地考虑了一下他的意见，才心服了。
- ⑦ 新中国贯彻了为人民服务的精神所以到处都备有暖壶，杯子，剧场，百货公司当然不用说，在公共汽车里他也能喝道茶。
- ⑧ 老李，明天在会上怎么发言才好呢，请提出意见。
- ⑨ 英雄行为不只是在理论上而且是要在实际行动中保卫人民的生命财产的安全。
- ⑩ 党的领导人不仅注意工作人员的工作和健康（甚至）还关心到他们的家属。
- ⑪ 越是学习八中全会决议就越懂得党的路线是多么正确，右倾社会主义是多么危险。
- ⑫ 我几次劝他吃饭，但是他无论如何也（说什么也）不吃就回去了。
- ⑬ 如果不是新中国就不可能在十个月里建设像人民大会堂这样的宏伟的建筑物。

## 〔閲 読〕

### 中国で感激したこと

アンナ・ルイズ・ストロング

……ぶりで＝隔了，多久。

ずいぶん＝

影がうすれる（かげ・かうすれる）＝

環境（かん・きょう）＝

めまぐるしい＝

すぎ去る＝

至極（し・ごく）＝

あたりまえ＝

天壇（てん・だん）＝

二度と＝

もう……ない＝已经不……

園内に（えん・ない・に）＝

あふれる＝

親しげな＝

ビケニック＝

車代（くるま・だい）＝

見（み）もの＝

風格（ふう・かく）＝

勤勉（きん・べん）＝

鋭敏（えい・びん）＝

友情にあつい（ゆう・じょう）＝怀着深厚的友情

清潔（せい・けつ）＝

マーケット＝

おどろくほど＝惊人的。

樹齡（じゅ・れい）＝

樹木 (じゅ・もく) =  
並木道 (まみ・き・みち) =  
享受 (きょう・じゅ) =  
たしかに =  
貨幣賃金 (か・へい・ちん・きん) =  
けるかに =  
価値 (か・ち) =  
尊厳 (そん・げん) =  
絵画 (かい・が) =  
美的鑑賞力 (び・てき・かん・しょう・りよく)  
ひけをとる = 劣于, 亚于。  
役人 (やく・にん) =  
腐敗 (ふ・はい) =  
極に達する (ごく・に・たつする) = 达到极点。  
すみすみに =  
傳染 (でん・せん) =  
サービス =  
例外 (れい・がい) なく = 无例外地  
タクシー =  
雨の夜道 (あめ・の・よ・みち) =  
アドレス =  
ボーイ =  
職務 (しよく・む) =  
ほどです = 甚至于…… (表程度)  
強要 (きょう・よう) される =  
……おかげで = 由于……, 多亏  
なおさら =  
区別する  
ちやんと =  
もてなす =  
出会う (で・あ・う) =  
たいてい =  
おそるべく = 可怕的, 巨大的。  
……を目にする = 眼看  
……におよんで = 到了……时候  
幅 (はば) のある =  
すさまじ勢い (いきお・い) =  
河川 (か・せん) =  
治水事業 (ち・すい・じ・ぎょう) =  
……もたためうち = 不到……  
人類史上 (じん・るい・し・じょう) =  
おそらく =

最大（さい・だい）＝

三ヶ月まえ、十二年ぶりで中国にかえってきたわたしは、これはずいぶん変わったものだという強い印象を受けました。しかし、そうした印象もいまはほとんど影がうすれています。あたらしい環境のもとでめまぐるしい日をおくっていると、すぎ去ったものはすぐ忘れてしまうものです。北京の町の通りがずっと広くなり、また清潔になっていたことや、マーケットの蠅がおどろくほど少なくなっていること、郊外の道路が樹齢十年にみたぬ若い樹木の並木道になっていることなどいろいろ眼にうかべてはみても、しかし、そうしたものもいまは至極あたりまえのものにみえて、昔の街がどんなだったかは、はっきり思い出せません。

そういえば、天壇がちゃんと城内にあって、ひどく近いのに気がついてびっくりしたことを思い出しました。むかし天壇に遊びにいった時は、人力車にのっていったので、そのために遠いように感じられたのでしょう。あの搾取されていた人力車夫たちはもう二度と姿をみせないでしょう。あの人たちはいま工場で働いています。頤和園もずいぶん近くなったような気がします。園内には人があふれていました。その人たちはまたなんと親しげな、そしてたのしそうな様子だったでしょう。十三陵も今では日曜日のピクニックの場所になって、きれいな自動車道路がついています。以前は道がわるく、車代もかなりかかったので、わたしなどもいったことはなかったのですが、その十三陵も、いまは陵そのものより、新しくつくられた貯水池の方が見ものになっています。この貯水池は北京全市民がその建設に参加したというので有名ですが、大躍進のなかではこうしたやり方もめずらしくなくなっています。

今日、わたしがもっとも深い印象を受けるのは、中国人の風格です、彼らはなんと勤勉で、鋭敏で、親切で友情にあつく、またなんと正直で、そしてほがらかでしょう。アメリカ人の訪問者がよくやるように、賃金や物質的享受の点をくらべるなら、たしかに彼らの賃金はまだアメリカや西方諸国の貨幣賃金にはるかによばないでしょう。けれども人間の真の価値においては、——人間としての尊厳、安心、生活の喜びという点において、また詩歌、絵画、哲学思想、に示されている文化と美的鑑賞力においてさえ、中国人はずでに世界のどこの国の人にもひけはとりません。

中国人はもともと勤勉ですが、いまはそのうえに鋭敏でもあり、創造的でもあります。一般の人のもともと正直ですが、しかしむかしは、役人の世界が腐敗の極に達していたので、それが社会のすみずみにまで伝染し、どんなちっぽけなサービスにたいしても例外なく袖の下やチップが強要されたものです。いまは、タクシーの運転手が雨の夜道に車からおりてアドレスをさがしてくれたり、ホテルのボーイさんが自分の職務以上のことをいろいろ手傳ってくれたりしますが、けっしてチップはうけとりません。その親切には、こちらが困ってしまうほどです。

いま中国では、どこへいっても親切にされるので、旅をするのがひじょうにたのしみです。わたしは一人のアメリカ人として、とくにその点を強く感じました。というのは、わたしの国の外交政策のおかげで、アメリカ人はほとんど世界のどこでも歓迎されないからです。中国ではなおさら歓迎されないのが当然なはずなのに、中国人たちは一人のこらず、ダレス氏の政策と「友人であるアメリカ人」とをはっきり区別してくれています。わざわざ自分の方から友人であることを名乗り出たりしなくても、中国に来さえすれば、中国の人たちはちゃんと友人としてもてなしてくれます。紹介してもらった人たちだけが友好的

な態度をしめしてくれるのではありません。船のなかや電車なか、通りで偶然出会った人びともみなそうです。それからまた、中国に来た人は、今日の中国人は新聞を読むことができるし、たいいていの国の人よりも新聞を注意して読んでいることに気がつくでしょう。わたしなども写真が新聞にのってからというもの、どこへいってもすぐに気づかれました。

こうした個々人についての印象は、中国人民のおそるべき力を目にするにおよんで、たちまちいっそう幅のあるものとなりました。そうした力は、大躍進の大きな運動に、すさまじい勢いでくりひろげられている河川の治水事業に、大豊作と鋼鉄増産のためのたたかいのなかにしめされ、また人民公社をつくる運動のなかにしめされています。人民公社が成立して三ヶ月もたたぬうちに、おおくの農村では三度の食事がただになりました。人類史上のあらゆる変化のなかで、おそらくこれは、もっとも短い期間内に、もっと多くの人びとにもたらされた最大の経済的変化といえるでしょう。

## 第九課

## 新しい中国をささえる庶民像

丸岡 秀子

ささえる＝維持。

庶民像（しょうみんぞう）＝人民形象。

丸岡秀子（まるおか・ひでこ）。

旅（たび）。

疲労（ひろう）。

回想（かいそう）。

落ちこむ（おちこむ）＝陷入。

バランス＝平衡。

意気地のない（いくじのない）＝无聊。

整理がつく（せいりがつく）。

逮える＝抓住。

輪郭（りんかく）。

がっしりした＝结实，粗壯。

親（した）しみやすい＝易于接近。

宣武区（せんぶく）。

自兴路（じこうろ）。

居民（きょみん）。

モクモクした＝肥大的。

背後（はいご）。

ひかえる（控える）＝在。

道端（みちばた）。

人力車夫（じんりきしやふ）。

石畳（いしだたみ）＝石阶。

練炭（れんたん）＝藕节碳。

壁（かべ）ぎわ＝屋子的一角。

地域（ちいき）＝地区。

こぼれる（溢、零れる、下）＝掉。

拾う（ひろう）。

役所（やくしょ）＝官厅。

人間扱い（にんげんあつかい）＝人的待遇。

いったい（いったい）＝究竟。

まじまじと＝盯着。

ひかえめ（控目）＝慎重。

きめる（決める）＝決定。

真直ぐな（まっすぐな）＝坦率，直率。

姿勢（しせい）。

重み（おもみ）＝庄重。

かぶさる（被さる）＝盖上。

ぶこつな（無骨な）＝粗大。

にぎる（握る）。

手にする＝手拿着。  
帳面（ちょうめん）＝笔记本。  
ニコリする＝微笑。  
一画一画（いっかくいっかく）。  
ていねいに＝郑重的。  
きざむ（刻む）。  
こめる（籠める）＝充满。  
手つき＝手的姿勢。  
おしすすめる（押し進める）＝推進。  
触れる（ふれる）＝接触。  
親孝行（おやこうこう）＝孝顺父母。  
町村（ちょうそん）＝村镇。  
天下（てんか）。  
いい方（云いかた）＝说法。  
意識（いしき）。  
おしつける（押付ける、下）＝強加。  
辛棒強い（しんぼうつよい）＝有耐心。  
説得する（せつとくする）＝说服。  
向く（むく）＝对，向。  
慎しむ（つつしむ）＝谨慎，节制，抑制。  
雪かき（ゆきかき）＝扫雪。  
動（どう）じない＝沉着。  
彫（ほり）のある＝轮廓鲜明。  
ちらちらと＝稍稍。  
二重写しに（にじゅううつしに）＝二重像。  
好意（こうい）。  
謝する（しゃする）。  
眠りにつく（ねむりにつく）＝入睡。

#### 〔文章〕

中国での五十日の旅から帰り、その疲労や感動や回想に、長い間落ち込んでいて、肉体的にも精神的にもバランスがとれないまま、最近まで過ごしていた。意気地のないことと笑われるかもしれないけれど、近ごろ、やっと少し整理がつきはじめてみると、その上で、強く私をとらえている人間や問題が輪郭をはっきりしはじめています。

そのひとりに劉徳祿さんがいる。がっしりした体格の親しいみやすい六十六才のおじいさんである。旧正月を過ぎて間もなくのある日、私は北京市内の宣武区自兴路にある居民委員会を訪ねた。このとき委員会の主任であるという劉さんが、モクモクした綿入れの昔のままの型をした中国服で迎えてくれた。背後には、副主任だという徐さん、韓さん、陸さんの三人の婦人がひかえている。三人とも五十七才であるという。それこそこの道端でも、どの電車の中でも見かけられる平凡な、しかし生活者らしいたしかな風貌の四人であった。

昔は人力車夫今は人民代表

きれいに掃除された石畳の上には、メーチャル〔練炭の小さいもの一註〕が二つおかれており、お茶やアメが用意されている。その部屋の壁ぎわに通されて、私はこの四人から、この居民委員会つまり五六四戸、二・九四五人の地域組織について詳しい話をきくことができた。

その話の途中で、劉さんはこんなことをいった。

「解放前、私は人力車夫でした。当時、八人の家族を持っていました。冬は石炭がなく、道にこぼれているのを拾うようなしまつでした。私の子供は一人も独立できるものはなく、午前食べられても、午後はどうなるかわかりませんでした。また、今日食べられても、明日はわかりませんでした。ところが、どうでしょう。解放後、私たちは三度食べられるのです。今は石炭も冬中あります。メリケン粉もあります。こんなことは夢にも考えられないことでした。

また、私たちは役所や警察からも、人間扱いされていませんでした。ところが、いま私は人民代表です。居民委員会の主任もしています。こんなことも、私は夢にも思いませんでした。

これはいったい、どういうわけでしょう。

といって、彼は私の顔をまじまじとみつめた。態度はひかえめだったけれど、言葉は正確だった。

「それは私たちが国家の主人公になったからなんです。ということは、国家のすべては人民のためにあるということです。そして毛主席も私たちが選びました。だから私たちは毛主席を愛さずにいられません。そして私たちは憲法も作りました。政権も持てたのです。そして私たちは、みんなで相談し、話し合い、人民の意見を集め、採用して仕事をきめます。だから、私たちは政府のよびかけ、政策を擁護します。それは私たちの意志だからです。」

働くものの真直ぐな姿勢

働く者らしい真直ぐな姿勢は、まるで人民の決定力を代表しているような重みで、きいている私にかぶりさり、私の手は彼のぶこつな大きな手の中に、にぎられていた。

「あなたのお名前をここに書いて下さい」

私は手にした帳面を出した。

「私は最近まで文盲でしたが、今は名前を書くことができます」といって、彼はニッコリする。ほんとうに嬉しそうだった。何分かつたか、一画一画ていねいに、まるで字を刻むように力をこめた手つきで、書いてくれた「劉徳祿」の三字は、いま私の机の上に置かれている。

そのあと、居民委員会の仕事の内容や、婦人の五好運動（五つの生活目標を推し進める運動）、また男女平等の問題や、学校における三好の精神、五愛の思想などについても、話は触れた。

私はこの人から、親孝行の問題について話してもらいたかったが、劉さんはこんふうに語った。

「親孝行の話は、実際の例を申し上げます。共産党の指導で、人民解放軍は、どこの町村に行っても愛されました。どこの家の父母も尊敬しました。なぜなら、天下の父母は私たちの父母だからです。いま小学校でも老人を尊敬するように教えています。私は町で老人が重いものを持っていると、すぐそれを持ってくれる子供、そして家まで持ってきてくれる子供の姿を、自分で経験し、この目で見てきました。共産党の政策は、老人を尊敬

し、子供を愛そうという政策で、これは人民の心の中を表現する政策です」と語ってくれた。

生活のなかから生まれた知恵

このいい方は、庶民のものだろうと思う。それは日常の生活経験から生まれたもので、まず理論があってそれから意識がおしつけられるというものでないことを、この言葉は示している。

そして最後には彼はいった。

「私たちの仕事は、辛棒強いことが何より大切なことです。しかもいちばん大切なことは説得することです。民衆の方を向いて命令することを慎むことです。

もう一つ大切なことは、みんなの力を集めて、仕事の成績をあげることです。私たちは、いま国家の主人公になったのですから、自分たちが何でもやらなければならないということです。例えば衛生面でも、一人ならやりたくないがみんなと一緒にやらなくなります。雪が降ってくれば、誰でも、みんなと一緒になら、外に出て雪かきをします。大切なことは、この場合に自分の意志によってすることです。」

私はそれから十日ばかりあと周恩来さんに逢ったがその動じない姿勢や、彫りのある顔の奥に、劉さんたちの顔がちらちらと二重写しに見えるような気がしてならなかった。

劉さんは一緒に、ぎょうざを食べてかえるようにすすめてくれたが、好意を謝してかえった。しかし、この夜は複雑な思いでなかなか眠りにつけなかった。

#### [句型の例句]

##### 1. . . . まま

○抗日戦争の頃、私の息子は「しばらく会えないかもしれない。」と云って、家を出たままでしたが、解放後はじめて便りがあり生きていたことが分かりました。

○身体がぐあいが悪いといいながら医者にみせないままほうっていたので、とうとう入院しなければならなくなりました。

○日中関係をこのままにしておくことは、両国人民の意思に反するばかりか、世界の平和を守るうえでも大きな障害となっている。

##### 2. しまつ

○解放前、私の家は貧しく、とくに冬の生活は苦しいものでした。綿入れが無いばかりか二枚のふとんに家族五人がねるといふしまつでした。

○私が密雲へ労働に出かけている留守に子供は病気になるし、おばあさんは怪我するし、夫は一人でたいへんでした。仕事や学習をつづけながら食事を作ったり、看病したりするしまつでした。

##### 3. 夢にも考えられないことでした

○働きさえすればその労働に応じて報酬がもらえるなんて過去の中国では夢にも考えられないことでした。

○貧農の家から大学へ行けるなどは、十年前までは夢にも考えられないことでした。

##### 4. . . . にはいられない

○いま私の一家は皆それぞれの能力を好みに応じて働き、独立した生活をしています。ですから暮らしはますますよくなる一方です。党と毛主席に感謝せずにはいられません。

○党と国家からの援助で何の心配も無く勉強していると思うと学習ばかりでなく、どんなことにも一生懸命にならずにはいられない。

##### 5. . . . なら

○私は一人で勉強するならとてもこんな成績を納めることはできません。先生をはじめ皆さんが援助してくださるのでどうやらやってゆけるのです。

○人から意見を求められた時、出来るなら出来る、出来ないならできないとはっきりこたえ方がよい。

6. . . . . てならない

○劉同士が亡くなったという知らせをうけて悲しくてならない。劉同士は私を指導してくれた最初の同志であり、みなし子の私を両親に代わって育てくれた同志でもあるからだ。

○十日四日のアカハタに北京大学の記事が出ているときいてから早くみたくてならない。しかし、私の手に入るのははやくとも廿日後になるだろう。

[練習]

造 句：

1. . . . . まま
2. はじめている・はじめてみる
3. しまつ
4. . . . . なら
5. ということです
6. おちこむ
7. がっしり
8. みかける
9. つつしむ
10. おしつける

次の短句を中国語に譯しなさい。

1. 北京大学では、来年の二月、先進的な単位と先進的な人物の代表大会をひらくことになった。これは党の大衆路線を学校に運用する主要な措置の一つである。だからこの会議は学校の各方面の仕事を新しい段階へおしすすめるにちがいない。
2. 系統的に句型の整理をしようと計画しているのだが、時間の関係で句型についての整理がまだついていない。
3. 彼はつねにスポーツをやっているので仁王さんのようながっしりした体になってきた。  
〔註：仁王さん＝哼哈二将，山神〕
4. 建国十周年記念にあたり周総理は北京の専門家を招待し、「中国人民はソ連と社会主義各国の兄弟のような援助に感謝しています。」と真心こめて挨拶をのべられました。
5. 彼はとても寒がりやだ、農村へ労働にいった時年よりでさえまだ裕を着ていたのに彼はモクモクした綿入れのズボンをはいていた。私達は彼の姿をみて笑い出してしまった。〔註：寒がりやだ＝怕冷的人，裕＝夹衣〕
6. 廖世鋼は有名な先進労働者だ、彼はひじょうに熟練した手つきで機械を操縦している。これは長年の努力によるものだ。
7. 人間扱いにされなかったチベットの農奴たちは、叛乱の平定と民主改革によって目のみることができたのだ。
8. 彼は観劇というと食事をしないでも出かける程好きです、今週はつづげさまに三回も

見に行ったので、予習復習が不十分だったばかりか、宿題も間に合わなかったし、授業中にいねむりするしまつでした。

次の短句を日本語に譯しなさい。

1. 做工作的时候，不管怎么忙也应该仔细地做保证工作质量。
2. 最近我参观了历史博物馆，好像整个儿学了一遍中国历史。
3. 我拾起了丢在路旁是台阶上的一本书拿在手里看了看，但是书上没有写名字，于是我就把它扔进了拾物箱（註：拾物箱＝遺失箱）
4. 如果美帝国主义把侵略战争强加给中国人民，我们必将为了和平正义，为了保卫祖国而坚决斗争到底。
5. 这几年来由于党的教育他在克服自己的缺点方面有了很大的进步，隔了好久再一见面，看起来好像是另一个人。（註：隔了好久＝しばらくぶり。 另一个人＝別人）
6. 他在过去的运动会上一直保持（取得）着优异的成绩，而在这次运动会上失败了，究竟是什么原因呢。
7. 这里有两本参考书。一本是英文的还有一本是日文的。如果读这些文件费时间的话，读中文的参考书也可以。
8. 本来应该騰清了再拿去印刷的，可是因为时间来不及，就决定把原稿拿去印（原封不动）。请原谅。（註：原谅＝了解する）

#### 〔閲 読〕

#### 毛主席についていった長征の時の思い出

陳 昌 奉

勞農赤軍（ろう・のう・せき・ぐん）

第一方面軍（だい・いち・ほう・めん・ぐん）

ほとり＝

たどりつく＝

突破（とっぱ）する＝

でくわす＝

総參謀長（そう・さん・ぼう・ちょう）

劉伯承（りゅう・はく・しょう）

検討（けん・とう）する。

岩山（いわ・やま）

……そうもない＝不像……，不可能是……

洞穴（どう・けつ）

じめじめする＝

敷板（しき・いた）

敷きわら（しき・わら）

……もなければ、……もない＝

防水布（ぼう・すい・ふ）

敷く（し・く）

毛布（もう・ふ）

かさねる＝

寝床 (ね・どこ)  
激流 (げき・りゅう)  
波 (なみ)  
猛 (たけ) りくるう=  
あせり気味 (ぎみ) =  
渡河 (と・か) する=  
夜あけ (よ) あけ=  
どうやら=  
事務用品 (じ・む・よう・ひん)  
秘書 (ひ・しょ)  
とりだす=  
即製 (そく・せい)  
だいいち=  
どうにもしょうがない=无论如何也没办法  
もろい=  
どうしても……ない=无论如何也不……  
時分 (じ・ぶん)  
沸かす (わ・かす)  
のめないとあっては 申しわけがない=のめない状態では 申しわけがない  
なにか……ようすだ=好像是……様子  
板 (いた)  
……ようとしたら=正要出去…… (另一动作接着发生)  
呼びもどす (よびもどす)  
歩みよる (おゆ・みよる)  
こもる=  
口調 (く・ちょう)  
どうだっていい=どうでもいい=可有可无, 不要紧  
……にかかわる=  
……かえす=  
早鐘 (はや・がね) をうちだす=  
……のかわりに=  
板ぎれ (いた・ぎれ)  
……でもいい=……也可以  
はっと=  
方々 (ほう・ぼう) =  
いじる=  
罰 (ばつ) =  
まかない=  
座 (すわ) りこむ=  
ひっきりなしに=  
電話 (でんわ) がかかる=来电话  
……目にあう=思いをする=遇到……情况

なくれすむ＝用不着……  
くせ＝  
傍（そば）＝  
コリコリ＝  
冗談（じょう・だん）  
きまりがわるい＝难为情  
……といたら、なかった＝……といえば……ようなことはない（……ほど……ことはな  
い）  
さがしまわる＝  
ひきかえる＝  
くみたてる＝  
思（おも）いつく＝  
さっそく＝  
行きかける＝いこうとする＝正要去(動作刚要发生)  
……とたんに＝  
呼びとめる＝  
処分（しょ・ぶん）する＝  
……なきやならん＝なければならない  
おだやかな＝  
悔いる（く）いる＝  
上着（うわ・ぎ）  
端（はし）＝  
冷やす（ひ）やす＝  
なでる＝  
まぶた＝  
けんかする＝  
それまでに＝そのときまで  
ボロボロこぼれる＝  
批判する＝  
わるさをする＝做坏事  
叱る（しか・る）  
……と思いのほか＝意外  
これからしなければ、それでよい＝以后不这样做就行了  
つらい＝  
わけもなく＝没有理由，无缘无故  
胸がドキドキする（むね・がドキドキする）  
横になる（よこ・になる）

一九三五年四月のある日の晩、中国労農赤軍の第一方面軍と党中央機関は金沙江のほとりにたどりついた。この河は烏江を突破していらい最初にでくわした大きな河だった。金沙江は激流で、大きな波は猛りくるっていった。舟が少ないので、みんなあせり気味だった。毛主席はとくにいそがしく、各軍の指導者たちと、どうして部隊を渡河さすか、それ

について研究しておられた。

そのころ、私は毛主席の護衛兵だった。夜あけがちかずいたころ、私は毛主席について金沙江を渡った。舟からおりた主席はすぐその足で、当時の総参謀長劉伯承將軍と、部隊の渡河ののちどのように前進するかを検討しに出かけられた。私は主席のための宿舎をさがしにいった。

河岸は岩山で、家らしいものはひとつもなく、とても人など住めそうもない洞穴が四つ五つあるだけだった。洞穴のなかは、じめじめしていた。だが、敷板もなければ、敷わらさえ見つからない。しかたがないので防水布を一枚敷き、その上に毛布をかさねた。こうしてできあがった主席の寝床をみながら私は、主席はここ数日ひじょうに疲れておられる、帰ってきてちょっと休まれたらいいのとおもった。

寝床はどうやらできたが、書類や地図など主席の事務用品はまだだしてない。いつもなら宿営地につくと、すぐ私と秘書の黄有風同志でこれらのものをとりだして、即製の机の上にきちんとならべておいたものだ。だが、今日はだいいち机らしいものもないし、それに黄有風同志もまだ河を渡ってきていないので、どうにもしょうがない。私は地図をとりだして壁に掛けようとしたが、壁がもろい土なのでどうしても掛からない。机がないので、事務用品もならべようがなかった。その時はもう河を渡ってから、三、四十分たっていた。主席もそろそろ劉総参謀長のところから帰ってこられる時分だ。ところが、私はまだお湯さえ沸かしていない。主席は一晩じゅう仕事をしてつかれておられるのに、帰ってきてもお湯一ぱいのめないとあつては申し譯がない。私は事務用品はそのままにしておいて、お湯をわかしにいった。

夜が明けはなたれたころ、主席はかえってこられた。呼ばれていってみると、主席は洞穴のなかに立ったまま、なにかかんがえていられるようすだった。「お帰りなさい」という、主席は「うん」とひとこといったきり、すぐに「ちゃんとできたろうね？」といわれた。私は寝床を指していった。「できました。ここらには板一枚ないので地べたにそのまま敷きました。ちょっと休んでいてください。お湯もすぐ沸きますから」そういつて出ようとしたら、入口のところで呼びもどされた。「仕事をするところは？」「実は黄秘書もまだ来ていませんし、それに机になるようなものもここにはないんです。ちょっとお湯でものまれてから」主席は私のいうのが耳にはいらなかったように一歩前へ歩みよられ、きびしくて同時にやさしさのこもったいつもの口調でこういわれた。「いま大切なのは仕事なんだよ。御飯やお湯のことはどうだっていい。河のむこうには二、三万の同志たちが待っている。仕事のほうはこの何万という同志たちの生命にかかわることなんだ」私は主席のまえにじっとたったまま、かえすことばかなかった。胸は早鐘を打ち出した。主席は私の肩をたたきながら、「机のかわりに小さな板ぎれでもいいんだがね」といわれた。はっとわれにかえった私は、いそいで洞穴を出ていった。

方々がしまわったあげく、やっとなある洞穴の入口のところで小さな板をみつけた私は、それをもって大いそぎで主席のところへひきかえした。主席は私に手傳わせながら、自分でその板を机にくみため、そのうえに事務用品をならべられた。私はお湯がもう沸いているだろうと急に思いついてさっそく取りにいこうとした。ところが、行きかけたとたんにまた主席から呼びとめられた。「はい」といつて立止ると、「こちらへきなさい」といわれるので、また「机」の前にひきかえした。「今日はひとつ君を処分しなきゃならん」主席がいわれた。いつものおだやかな声ではあり、やさしい眼の色ではあつたが、私は急に固くなった。自分のやるべき仕事をはたさなかつたことが悔いられた。どうしてよいかわか

らず、私は両手で上着の端をいじりながら、主席の顔を見つめていた。主席はつづいてこういわれた。「罰として君は今日一日寝ないでここに座って私と一緒に仕事をするんだ、いいかね。」私は笑いながら、「はい、いいです。」とこたえて、主席のまむかいに座りこんだ。主席の「机」の上には書類や電報が山のようにつまれ、電話もひっきりなしにかかってきた。主席が一秒間もじっとおちついていられないくらい忙しいのを見て、私は胸がいっぱいになり、涙がでそうだった。もっとはやく板をさがしていたら、主席もこれほど忙しい目にあわれなくてすんだらうに。

私はまえからすぐ眠くなるわるいくせがあつて、主席が仕事をしておられる傍に座って、いつもコクリコクリやったものだ。さっき主席が罰に寝てはいけないといわれたのも冗談だとはわかっていたが、しかし、主席が熱心に仕事をしていられるのを見ると、ちっとも眠気などおきなかった。主席はときどき私の方を見てはニッコリ笑われた。きまりがわるいといったらなかった。私はお湯をくんできて、主席のために一杯冷やし、それからまた前のところに座った。三、四十分の時間がたつたろう。主席はたちあがると、私の方を向いて話しかけられた。「君はもうそうとうながく私といっしょにいるんだし、仕事の大切なことがわからないはずはない。今後はどこへ着いても、まず仕事の場所をちゃんと準備するのが大切だ。そのあとでもしひまがあれば、食うことや休むことをかんがえたらよい、いいかね？いつどんな時でも、われわれにとって、いちばん大切なのは仕事なんだからね」それから、主席は私の頭をなでながら、「もういいから、はやくいって休みなさい。ほら、上のまぶたと下のまぶたが、けんかしてるじゃないか」といわれた。そういわれると、ますますその場を動きたくなかった。「はやくおやすみ！」とまた主席がいわれた。それまでにたまっていた涙がそのときポロポロこぼれた。主席から批判されたための涙ではなかった。そのときの私は、小さいときよく家でわるさをして、親から叱られると思いのほか、「こらからしなければそれでよい、さあ遊びにいっておいで」といわれる。その時の嬉しいようなつらいような気持ちで、わけもなく胸がドキドキしていたのをおぼえている。

私は主席からすこしはなれた寢床に横になったが、なかなか眠れなかった。主席とともにすごした数年来のことが、つぎつぎと頭にうかんできた。

## 第十課

## 核爆発は隠せない！

核爆発（かくばくはつ）＝原子核的爆炸。

ノーベル賞（しょう）＝诺贝尔奖金。

談話（だんわ）。

隠す（かくす）＝掩盖，隐藏。

アカデミー（academy）＝（科学）院。

受賞者（じゅしょうしゃ）＝受奖者。

軍縮（ぐんしゅく）＝裁军。軍備縮小（ぐんびしゅくしょう）の略語。

第一歩（だいいっぽ）

世紀（せいき）。

中頃（なかごろ）。

大量殺りく兵器（たいりょう・さつ戮へいき）。

地点（ちてん）。

攻撃（こうげき）する

距離（きょり）。

むつまじい（睦じい）＝和睦＝むつまじくくらす＝和睦共处。

軍備（ぐんび）。

縮小（しゅくしょう）する

正常化（せいじょうか）。

原水爆（げんすいばく）。

糸口（いとぐち）＝第一歩，开端。

永久（えいきゅう）に。

けわしくする＝恶化。

平時（へいじ）。

そこなう（損う）＝破坏。

待ちのぞむ（まち望む）＝盼望，等待。

核実験（かくじっけん）＝

西方諸国（せいほうしよこく）。

禁止協定（きんし・つきょうてい）。

遂行（すいこう）＝实行，实施。

監視（かんし）する。

停止（ていし）。

ひきのばす（引き伸ばす）＝拖延。

相互監督（そうご・かんとく）。

周知（しゅうち）＝众所周知。

現（げん）に＝事实上现在。

探知（たんち）する。

専門家（せんもんか）。

確実（かくじつ）な

満場一致（まんじょう・いっち）。

袋（ふくろ）＝口袋。

錐（きり）＝锥子。  
諺（ことわざ）＝谚语。  
炸裂（さくれつ）する＝爆炸。  
特殊（とくしゅ）。  
つきとめる＝正确地找出，发现。  
空中（くうちゅう）。  
衝撃波（しょうげきは）。  
音波（おんぱ）。  
ひろがる（広がる）＝蔓延。  
四方（しほう）。  
電場面（でんばめん）。  
電磁波（でんじは）。  
照射（しょうしゃ）。  
電波シグナル（でんぱ signal）＝电波信号。  
光（ひかり）  
放射能（ほうしゃのう）。  
放出（ほうしゅつ）。  
伴う（ともなう）＝附带（发生），同时（发生）。  
大気（たいき）。  
よごす（汚す）＝污化，弄脏。  
地下（ちか）。  
振動波（しんどうは）。  
閃光（せんこう）。  
浸透（しんとう）。  
判断（はんだん）。  
高々度（こうこうど）＝超高度。  
さい（際）＝时候。  
強力（きょうりょく）な。  
水中音響波（すい・ちゅう・おん・きょう・は）。  
判定（はんてい）。  
確（たしか）める＝正确地发现。  
楽（らく）だ＝容易。  
キャッチ（catch）＝发现。  
小型原爆（こがた・げんぱく）。  
地震（じしん）。  
大地（だいち）。  
似る（にる）。  
陸地（りくち）。  
計器（けいき）＝测计仪器。  
地中（ちちゅう）。  
観測所（かんそくじょ）。  
水準（すいじゅん）＝水平。

侮辱する（ぶじょくする）。  
それでいて＝  
信用（しんよう）。  
世論（よろん・せろん）。  
おとす（落す）＝贬低，降低。  
みつける（見付ける）＝发现。  
使える（つかえる）＝服务。  
都合（つごう）のいい＝有利于。  
まげる（曲げる、枉げる）＝歪曲。  
現地監査（げんちかんさ）＝就地监察。  
併用（へいよう）する＝同时并用。  
記録（きろく）する。  
言分（いいぶん）＝说法，辩解。  
成りたつ（なり立つ）＝站得住脚，成立。  
締結（ていけつ）＝鉴定。  
ことわる（断る）＝拒绝。  
危険（きけん）＝  
ソ連邦（ソれんぽう）。  
重（かさ）ねて＝再一次地。  
原子（げんし）。  
水素（すいそ）＝氢。ロケット  
兵器（へいき）＝火器，武器。  
死（し）の兵器＝毁灭人类的武器。  
製造（せいぞう）。  
使用（しよう）。  
予備（よび）＝准备，储存。  
福祉増進（ふくし・ぞうしん）＝福利的增加。  
提案（ていあん）＝提议。  
条約（じょうやく）。  
用意（ようい）＝准备。

## 〔文 章〕

### 軍縮の第一歩

二〇世紀の中頃に科学と技術が大いに進歩し、大量殺りく兵器が発明され、地球のどの地点でも正確に攻撃することができるようになりました。このために、いまでは距離の観念がかわり、世界の国民が“せまいながらも、むつまじく暮らす”ことが、きわめて必要になってきました。

こういうときにあたって、軍備が縮小され、原水爆が禁止されるならば、国際情勢の正常化を大いにたすけるにちがいありません。この問題解決の糸口となるのは、すなわち世界各地で核実験を永久に禁止することです。原水爆の実験というものは、国家関係をけわしくし、平時にさえ何百万という人の健康をそこないます。それで、世界中の国民が核実験の禁止を待ちのぞみ、またそれを要求しているわけです。

西方諸国は、禁止協定を結んでも、その遂行を監視するたしかな方法がないとあって、核爆発の停止を長いあいだひきのばしてきました。しかし、相互監視をしなくても、他国で行われる核爆発は発見できます。これは周知の事実です。現にそれは探知されています。去年の夏の八カ国ジュネーブ専門家会議でも、確実な監視は可能であり、実施できるという結論を万場一致で出しています。科学はますます進歩していますので、核爆発を探知する方法も改善され、いっそう確実になっているのです。

#### 袋の中に錐はかくせない

これはよくいわれる諺ですが、核実験にしてもこれと同じことで、外国に知られないように、こっそりやることはできません。原子爆弾や水素爆弾が炸裂するときには、特殊の現象がおきますので、数千キロ離れていても、実験が何時、どこでおこなわれたかをつきとめることができます。

この現象の一つに、空中に起きる衝撃波があります。これはしだいに音波にかわり、音の速さで四方へひろがります。また核爆発があると、電波面に強い電磁波の照射がおこり、この電波シグナルが光りの速さで地球をまわります。さらに核爆発は大量の放射能物質の放出をとめない、広い地方と大気が汚染されます。地下で炸裂するばあいにはつよい震動波がおこります。さらに、原水爆の炸裂は、閃光と核放射の浸透によっても判断できます。これは、どんな高々度でおこなっても同じことです。

水中の核実験のさいには、強力な水中音響波が起きますので、その判断は空中のばあいよりもっと楽です。小型原爆の水中炸裂でさえ、一万キロの地点にいて確かめることができます。

地下の爆発には強力な震動波がとめない、一〇〇〇キロから三五〇〇キロの距離でキャッチできます。

#### 地震と間違ふことはない

地下の核爆発でおきる震動波は、地震のさいの大地の震動に似ています。けれど、陸地に地震のおきる場所は世界でも限られています。その上、地震による震動波と核炸裂による震動波は同じではないのです。計器は地震と地中の核爆発を区別してくれます。さらに、いくつかの観測所で震動波を測ってみると、この区別がいっそうはっきりしてきます。

#### 核実験禁止の道は開かれた

いまの科学水準では核爆発をたしかめる確実な方法がないという人がいます。これは科学者を侮辱するものであり、その信用を世界の世論の前でおとすものにほかなりません。おそらく世界の国民はいうでしょう——“あなたたち科学者は原子爆弾をつくった。それでいて、爆発をみつける方法がないというのか。そんなことは信用できない”と。そうです、発見できないことはないのです。そんなことをいう学者は頭がないか、じぶんの仕える人に都合のいいように事実をまげているか、どちらかです。

現在の核炸裂探知法と、それに現地監査を併用すれば、原水爆実験がどこで行われてもたとえ地下で行われても、爆発を記録し、探知することができます。

ですから、核実験禁止協定の実行を監視する方法はないという言分は、もう成り立たないわけですから。それで、西方諸国がこの協定の締結をことわっているのは、危険な核実験をやめたくないからだという外はありません。ソ連邦の立場については、フルシチョフ第一

書記が二一国党大会で、重ねてつぎのように声明しています。“われわれは、アメリカ、イギリス、フランスに原子、水素、ロケット兵器の実験、製造、使用を永久に禁止しようではないか、この死の兵器の予備をなくしてしまおうではないか、人類の知恵のこの偉大な発見を平和目的と人類の福祉増進だけに利用しようではないかと重ねて提案している。ソ連政府はこのような条約を明日でも結ぶ用意がある”。

〔句型の例句〕

1. . . . にあたって

○周恩来総理はベトナム民主共和国の成立十四周年記念日にあたって祝電を送りました。

○彼女はソビエトへ留学生として、行くことに決まりました。出発にあたって、此の春留学から帰ってきた先輩にいろいろ注意をきかせてもらいました。

2. . . . といっても

○楊さんは東北の人です。風邪が流行しているから、綿入れを着るよう注意をうけても、彼女は、東北より寒くないから大丈夫だといってセーターだけしか着ません。

○新しくこられた印度の留学生にお国のおどりをおどって下さいといいますが、彼女は、「私は、踊りは苦手ですから」といって歌を歌ってくれました。

3. . . . にしても

○ロシア語や英語を学ぶとき、一番はじめに先ずアルファベットを習い発音を覚える。

日本語にしても同じことで、先ず五十音を覚え、片仮名、平仮名を書く練習から始める。

○今日の会話の時間、わたしは傍聴の番です。それにしても、気をゆるしていることはできない。学友たちの誤りを指摘し、お互いに学び合わねばならないからです。

4. . . . ほかならない

○最近西方諸国は中印国境紛争についてさわぎたてているが、これは、アジアの二大国、中国とインドの間にクサビをうちこもうとしているにほかならない。

○三十才を出たばかりのソ連ピアニスト・レフ・ブラセンコが日本を訪れた。彼の演奏は現代の新進ピアニストの国際水準を示している。これは、ソビエト社会の演奏芸術を代表したものであり、ソビエトの新しい世代のもつ人間像を示したものに外ならない。

5. . . . か . . . . かどちらかです

○われわれに中間の道というのはありえない。社会主義の道を進むか、それとも没落しつつある資本主義の道を歩むかどちらかです。

○各学部には、いくつかの専攻科がある。計画を実行するためには、先ず自分の専門を選び着実に勉強することです。東語系でいうなら、例えば、文学を選ぶか言語をえらぶかどちらかです。

6. . . . しようではないか

○来年の二月に先進的な単位と先進人物の代表大会がひらかれます。今私達はそれぞれ計画をたて、実際行動をもって大会を迎えようではないかと、張り切っています。

○全中国の労働者たちは、今年の生産計画を1ヶ月くりあげて完成しようでなないかと、戦闘的精神を発揮して生産にとりこんでいます。

〔練習〕

造 句：

1. まちのぞむ

2. たしかめる
3. それでいて
4. かさねて
5. ひろげる
6. ひろがる
7. ……といて
8. ……にしても
9. ……にほかならない
10. ……か……かどちらかです
11. ようではないか

次の短句を中国語に譯しなさい

1. 彼は今まで思想生活の面では、あまり活発でなかった。しかし、今度の政治学習を通じて、もしこの点で自分を高めないと、時代の発展においつかなくなるということを認識して、努力しはじめた。これが彼の進歩の新しい糸口になるかもしれない。
2. 姚さんは政府からは生活を保証してもらい、同僚や先輩たちからは仕事の面でいろいろ配慮してもらい、個人で勉強する時間をたっぷり与えられていた。しかし、彼は毎夜のように知人の家を遊びまわっていた。それでいて進修ができなかったといえるだろうか。
3. 解放前、王さん一家はその日の食料にもことかく有様だった。解放後は、人民政府のおかげで定職につくことができた。今では、王さんばかりでなく、息子や娘たちの労働による収入で一家は余裕のある生活を送っている。
4. 張さんは体が弱いといて労働のときはいつも軽作業の方にまわしてもらっているが、観劇やピクニックには、ひんぱんにでかけるし、相当高い山へ登っても疲れた様子が見えない。
5. 語学を勉強する時、もしも、理論だけにとどまり、実際の練習をしないなら、言葉の使い方がしっかりとつかめない。

次の短句を日本語に譯しなさい。

1. 越南民主共和国范文同总理再一次发表谈话说「越南民主共和国不承认日本岸政和南越之间签订的越南赔偿协定，这个协定是无效的」。(註：无效的=無効である)
2. 党委会等五团体关于先进代表大会的决议发表以后，东语系的先生，学生当然不用说，无论是打字员无论是共有都热烈拥护它。(註：打字员=タイピスト。工友=掃除のおじさん)
3. 在向共产主义过渡的时期，思想战线上的阶级斗争是异常激烈的不是资产阶级思想战胜无产阶级思想，就是无产阶级思想消灭资产阶级思想。
4. 进来一直很忙哪儿也没去，好容易这个星期天有空，正想到城里去的时候来了很久不见的客人，所以就决定不去了。
5. 你在群众面前公开进行自我批评也不会降低自己的威信，恐怕反而会得到群众更大的信任。
6. 非常喜欢看电影的他最近完全不去看了，我觉得很奇怪，私下问了一下朋友，原来是他利用这个时间在练习乒乓。(註：私下=そっと)

7. 我哪一天都可以，请你在你方便的日子里来商量吧。
8. 不管你怎么说(怎么听你的意见)我也不能赞成。
9. 在进行批评的时候最好不要伤害对方自尊心的提法。
10. 他虽然在参加会议，可是没有听别人的发言，只是专心考虑个人的事，所以一点也不知道会议的结论。(专心=もっぱら)
11. 先进工人和我们一样是普通的人，他们创造了伟大的事迹只是因为他们具有高度的觉悟和发挥了冲天的干劲和无限的创造力。(註：冲天=天をつく。无限=かぎりない)

(閲 讀)

安井理事長歓迎大会〔北京〕における演説

日本の原水爆禁止運動は中日関係打開の基礎である

安 井 郁

〔詞 匯〕

(文 章)

安井郁 (やすい・かおる)  
 理事長 (り・じ・ちょう)  
 打開 (だ・かい)  
 尊敬 (そん・けい) する  
 廖承志 (りょう・しょう・し)  
 親愛な (しん・あい・な)  
 久 (ひさ) しい  
 このたび=  
 親切 (しん・せつ) な  
 御招待 (ご・しょう・たい)  
 めでたい=  
 春節 (しゅん・せつ)  
 時期 (じ・き)  
 空港 (くう・こう)  
 到着 (とう・ちやく) する  
 協議会 (きょう・ぎ・かい)  
 被害者 (ひ・がい・しゃ)  
 敬意 (けい・い)  
 謝意 (しゃ・い)  
 ……とともに=和……同时  
 実情 (じつじょう)  
 かくて (副) =如此。  
 盛大な (せい・だい・な)  
 まことに=  
 活用 (かつ・よう) する。  
 驚異的な (きょう・い・てき・な)  
 念 (ねん) をもつ=  
 いたく=

平和共存（へいは・きょうぞん）  
バンドン  
……を見ても……かがわかる＝看不……就可知道。  
いかに……か＝多么……  
裏付ける（うら・ず・ける）  
矛盾論（む・じゅん・ろん）  
著作（ちょ・さく）  
ひとり  
指針（し・しん）  
のみならず＝ばかりでなく  
宝庫（ほう・こ）  
切（き）りひらく  
中心勢力（ちゅうしんせいりよく）  
方法（ほう・ほう）をつくす  
協力（きょう・りよく）  
貢献（こうけん）  
従事（じゅうじ）する  
名において＝以……的名义  
お礼（れい）を申（もう）しあげます  
温（あたた）かい  
慰問（い・もん）  
手（て）をさしのべる  
多額（た・がく）  
救援金（きゅう・えん・きん）  
なによりもまず＝  
力づけられる＝  
尊い（とうと・い）  
長崎（なが・さき）  
有意義（ゆう・い・ぎ）な  
使用（し・よう）する  
行為（こう・い）  
契機（けい・き）  
激励（げき・れい）  
乙女（おと・め）  
……てよかった＝多亏……，幸亏……  
つぶやく  
……に代って＝代表……  
機会（き・かい）  
動向（どう・こう）  
お許しねがいたいと思います＝请原谅，请允许  
投下（とう・か）する  
一瞬（いっしゅん）にして＝一瞬之间

奪う  
非戦闘員 (ひ・せん・とう・いん)  
幼い子 (おさないこ)  
悲惨 (ひ・さん)  
死 (し) をとげる=siqu  
集団殺害兵器 (しゅう・だん・さつ・がい・へい・き)  
深刻な (しん・こく・な)  
恐怖 (きょう・ふ)  
激しい (はげしい)  
憤る (いきどおる)  
制約 (せい・やく)  
群圧 (ぐん・あつ)  
屈する (くつする)  
ことなく (接动词连体形) =不…… (而……)  
さまざまな=  
ストックホルム=  
アピール=  
血 (ち) みどろ  
絵画 (かい・が)  
残忍性 (ざん・にん・せい)  
抗議 (こうぎ) する  
特殊 (とくしゅ) な  
例 (れい) をあげる  
画家 (が・か)  
丸木位理 (まるき・いり)  
俊子夫妻 (としこ・ふさい)  
惨状 (さん・じょう)  
原爆の図 (げん・ばく・の・づ)  
描く (えがく)  
切 (き) りなける  
移動展覧会 (い・どう・てん・らん・かい)  
たずさえる  
お土産 (おみやげ)  
積 (つ) み重 (かさ) ねる  
信 (しん) じる=  
ビキニ=  
盛 (も) りあげる=  
マーシャル=  
群島 (ぐん・とう)  
環礁 (かん・しょう)  
漁業 (ぎょ・ぎょう)  
大五福龍丸 (だい・ご・ふく・りゅう・まる)

死（し）の灰（はい）をふらせる  
乗組員（のり・くみ・いん）  
放射能（ほう・しゃ・のう）  
傷（きず）つける  
久保山愛吉（くぼやま・あいきら）  
悲劇（ひ・げき）  
平時（へい・じ）  
ついに＝  
爆発する（ばく・はつ・する）  
ながらく＝  
せきとめる＝  
水流（すいりゅう）  
せきをきる＝  
一時に（いち・じ・に）  
流（なが）れだす＝  
奔流（ほんりゅう）  
提唱（ていしょう）する  
ウイーン＝  
こえる＝  
きわめる  
評価（ひょうか）する  
みごと＝  
これをともに喜びたいと思います＝共欢乐

## 【文 章】

尊敬する廖承志先生。親愛な友人のみなさん

私は久しい以前から中国を訪問することを熱心に希望していましたが、このたび中国人民保護世界平和委員会の親切な御招待によってその希望が実現し、めでたい春節の時期にみなさんにお会いできましたことを、心から嬉しく思っています。

北京空港に到着したときの御挨拶のなかで述べましたように、私は、原水爆禁止に本協議会と日本原水爆被害者団体協議会を代表して、中国人民とその政府に敬意と謝意を表するとともに、日本の原水爆禁止運動の実情を報告し、中国人民と日本国民との今後の共同行動についてみなさんと、平和の同志として話し合うために、ここにまいりました。その私を皆さんが温かく歓迎し、かくも盛大な大会をひらいてくださって、まことにありがとうございます。

新しい中国において、解放された六億人民の生産力と創造力がみごとに活用され、偉大な建設と驚異的な躍進がなされていることを、私たちは尊敬の念をもって見つめています。

私たちはまた、中国人民とその政府の世界平へのたゆまぬ努力にたいして、深い敬意を抱いています。平和共存の五原則とバンドン十原則の成立について中国が果たした役割ひとつを採りあげて見ても、世界平和にたいする中国の貢献がいかに大きいものであるかがわかります。

それらの中国の国内的、国際的実践はすべて正しい理論によって裏付けられています。

とくに毛沢東主席の「実践論」、「矛盾論」その他の多くの著作に示されている理論は、ひとり中国人民にとって最高の指針であるのみならず、世界諸国の人民がそれから貴重な教訓を学びとるべき宝庫であります。

私たちは、中国人民が人民公社の成功によってさらに輝かしい未来への道を切りひらき、世界平和の中心勢力とすることを、心から期待しています。

親愛な友人のみなさん。

日本の原水爆禁止運動にたいして、中国人民は、原水爆禁止世界大会への代表派遣その他あらゆる方法をつくして、熱烈な支持と協力をあたえられました。それは日本の原水爆禁止運動の発展に大きな貢献をしました。私は、原水爆禁止運動に従事している日本国民の名において、中国人民にあつくお礼を申し上げます。

中国人民はまた、日本の原水爆被害者に温かい慰問の手をさしのべられました。中国陣民保衛世界平和委員会、中国アジア、アフリカ団結委員会、中華全国総工会、中華人民共和国全国婦女連合会、中華全国青年連合会、中国紅十字会、中国人民救済総会の七団体は、中国人民の名において、一九五五年いらい毎年多額の救援金を原水爆被害者に贈られました。

日本の原水爆被害者は、中国人民の温かい慰問によって、なによりもまず精神的に力づけられました。尊い救援金は、原水爆被害者の治療、広島、長崎、東京の原水爆被害者福祉施設の建設、原水爆被害者団体の組織と活動、その他の有意義な目的のために使用されています。

中国人民のこの温かい行為が契機となって、原水爆被害者の救援運動は国内的にも国際的にも、発展しました。このような同情と激励の中で、広島原爆乙女のひとりが「生きていてよかった」とつぶやいたのであります。私は、日本の原水爆被害者に代って、中国人民にあつくお礼申し上げます。

親愛な友人のみなさん

この機会に日本の原水爆禁止運動の歴史と現状およびその今後の動向について報告することをお許しねがいたいと思います。

一九四五年八月、アメリカが広島と長崎に投下した原爆は、一瞬にして数十万の生命を奪いました。その大部分は非戦闘員であり、多くの幼い子どもたちも悲惨な死をとげました。

この残忍な集団殺害兵器に対して、日本国民は最初は深刻な恐怖を感じましたが、やがてその恐怖は激しい憤りに変わりました。そのころアメリカの占領は日本国民にきびしい制約を加えていましたが、日本国民はアメリカの弾圧に屈することとなる。さまざまな形で原水爆反対の意志を表明しました。

そのもっとも重要な例は、一九五〇年原爆禁止のストックホルム・アピールが出されたとき、日本において六百万の署名が集められたことでもあります。この署名の数は決して多くありませんが、それは朝鮮戦争当時に陰悪な情勢のもとで、アメリカの弾圧と血みどろの闘争しながら集められた貴重な署名であり、歴史的な意義をもっています。

もうひとつ、絵画という芸術をつうじて原爆の残忍性に抗議した特殊な例をあげたいと思います。日本の画家丸木位里、俊子夫妻は広島を「原爆の図」に描き、アメリカの弾圧を切りぬけながら全国各地をまわり、移動展覧会をひらいたのであります。

丸木夫妻は先年「原爆の図」をたずさえて中国を訪問し、みなさんの温かい歓迎をうけました。原水爆禁止日本協議会と日本原水爆被害者団体協議会がこのたび中国人民へのささやかなお土産として、丸木夫妻の描いた画を贈りましたのは、アメリカ帝国主義に勇敢に抵抗した日本の芸術家の作品をみなさんが愛してくださると信じたからであります。

これからの抵抗と闘争と数年にわたって積み重ねたのちに、日本国民の原水爆反対はビキニ事件を契機として全国民的な大衆運動にまで盛りあがりました。

一九五四年三月一日、アメリカがマーシャル群島のビキニ環礁でおこなった水爆実験は、太平洋で平和に漁業に従事していた日本漁船第五福龍丸のうえに死の灰をふらせ、二十三人の乗組員を放射能で傷つけ、そのうちでひとり久保山愛吉氏を殺しました。広島と長崎につづく三度目の悲劇は、平時において水爆実験のために人間の生命を奪ったのであります。

このビキニ事件によって、日本国民の憤りはついに爆発しました。ながらくせきとめられていた水流が、せきを切って一時に流れ出したのであります。この国民感情の奔流は原水爆禁止の署名運動になり、書名の総数は三千五百万に達しました。

日本からはじまったこの原水爆禁止の署名運動は、一九五五年一月、世界平和評議会の提唱したウイーン、アピールによって世界各国にひろがりました。そのとき中国人民が四億をこえる大量の署名を集められたこと、日本国民きわめて高く評価しております。平和のための世界諸国の人民の共同行動、とくに中国人民と日本国民その共同行動が、署名運動という形でここにみごとに実践されたのであります。私たちは平和の同志としてこれを共に喜びたいと思います。